

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

平成 31 年 3 月
朝日町

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書をみる際の注意	1
II. 就学前児童アンケート調査結果	2
1 お住まいの地域について	2
(1) 居住地区	2
2 お子さんご家族の状況について	2
(2) お子さんの年齢	2
(3) お子さんを含めたきょうだいの人数	3
(4) 回答者の続柄	4
(5) 回答者の配偶関係	4
(6) 子育ての主な担い手	5
3 育ちをめぐる環境について	5
(7) 子育てに日常的に関わる方	5
(8) 子育てにもっとも影響を与えると思う環境	6
(9) 子どもをみてもらえる親族・知人	6
(10) 親族に子どもをみてもらう状況	7
(11) 友人・知人に子どもをみてもらう状況	8
(12) 子育てについての相談者の存在	9
(13) 子育てについての相談先	10
4 保護者の就労状況について	11
(14) 保護者の就労状況	11
(15) フルタイムへの転換希望	16
(16) 就労希望	17
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	19
(17) 定期的な教育・保育事業の利用	19
(18) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	19
(19) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度	20

(20)	希望する延長保育の最長時刻.....	22
(21)	平日の定期的な教育・保育事業の実施場所.....	23
(22)	平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由.....	23
(23)	平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由.....	24
(24)	平日の定期的な教育・保育事業の実施場所.....	25
(25)	平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所.....	26
(26)	幼稚園の強い利用希望.....	26
6	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	27
(27)	地域子育て支援拠点事業の利用状況.....	27
(28)	地域子育て支援拠点事業の利用希望.....	28
7	休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	30
(29)	土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	30
(30)	土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由.....	32
(31)	長期休暇中の幼稚園の利用希望.....	32
(32)	長期休暇中に幼稚園をたまに利用したい理由.....	33
8	病気の際の対応について.....	33
(33)	病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験.....	33
(34)	子どもが病気の際の対処方法.....	34
(35)	病児・病後児保育施設等の利用希望.....	37
(36)	病児・病後児保育施設等を利用しない理由.....	38
(37)	父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか.....	39
(38)	父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由.....	40
9	不定期の事業・宿泊を伴う一時保育の利用について.....	41
(39)	不定期な教育・保育事業の利用状況.....	41
(40)	不定期な教育・保育事業を利用しない理由.....	43
(41)	不定期な教育・保育事業の利用希望.....	44
(42)	不定期な教育・保育事業の望ましい事業形態.....	46
(43)	泊りがけで家族以外に預けた経験.....	47
(44)	泊りがけで家族以外に預けた際の困難度.....	49
10	5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方について.....	50
(45)	小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所.....	50
(46)	小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所.....	53
(47)	土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望.....	56
(48)	長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望.....	58
11	職場の両立支援制度について.....	59
(49)	父母の育児休業の取得状況.....	59
(50)	育児休業給付金の支給や保険料免除の認知.....	62

(51) 育児休業取得後の職場復帰状況.....	63
(52) 育児休業から職場復帰したタイミング.....	64
(53) 職場復帰をした時期と希望していた職場復帰の時期.....	65
(54) 職場の制度内における育児休業取得の希望時期.....	66
(55) 希望の時期に職場復帰しなかった理由.....	67
(56) 短時間勤務制度の利用状況.....	68
(57) 短時間勤務制度を利用しなかった理由.....	69
(58) 育児休業の取得希望.....	70
12 朝日町の子育て支援サービスについて.....	71
(59) 子育ての環境や支援への満足度.....	71
(60) 子育て支援事業の認知とニーズについて.....	72
(61) 町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み.....	73
(62) 町の子育て支援施策に重要だと思うサービス.....	74
III. 就学児童アンケート調査結果.....	75
1 お住まいの地域について.....	75
(1) 居住地区.....	75
2 お子さんご家族の状況について.....	75
(2) お子さんの年齢.....	75
(3) お子さんを含めたきょうだいの人数.....	76
(4) 回答者の続柄.....	77
(5) 回答者の配偶関係.....	77
(6) 子育ての主な担い手.....	78
3 保護者の就労状況について.....	79
(7) 保護者の就労状況.....	79
(8) フルタイムへの転換希望.....	84
(9) 就労希望.....	85
4 病気の際の対応について.....	88
(10) 病気やケガで学校を欠席した経験.....	88
(11) 子どもが病気の際の対処方法.....	89
(12) 病児・病後児保育施設等の利用希望.....	91
(13) 病児・病後児保育施設等を利用しない理由.....	92
(14) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか.....	93
(15) 父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由.....	94
5 お子さんの放課後の過ごし方について.....	95
(16) 小学校の放課後過ごさせたい場所.....	95

(17) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望.....	100
(18) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望.....	102
6 朝日町の子育て支援サービスについて	103
(19) 子育ての環境や支援への満足度.....	103
(20) 子育て支援事業の認知とニーズについて.....	104
(21) 町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み.....	105
(22) 町の子育て支援施策に重要だと思うサービス.....	106
IV. 調査結果からみた課題.....	107
(1) 育ちをめぐる環境について.....	107
(2) 保護者の就労状況と教育・保育事業について.....	107
(3) 子育て支援事業利用について.....	107
(4) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用について.....	107
(5) 職場の両立支援制度について.....	107
(6) 子育ての環境や支援への満足度について.....	108
(7) 子育て支援事業の認知とニーズについて.....	108
(8) 今後重要だと思われる取組について.....	108

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「これから必要な量」を算出し、また、町民の皆様の教育・保育・子育てに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握する目的として実施しました。

2 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。なお、就学前児童と就学児童の両者がいる世帯には、それぞれに配布し、また、就学前児童同士のきょうだい、就学児童同士のきょうだいがいる場合には上の児童に配布しました。

調査の種類	調査対象	実施方法	調査期間
就学前児童アンケート	町内の就学前児童（0～5歳）の保護者	就学前児童のいる269人 郵送による配布・回収 保育所等を通じた配布・回収	平成30年 12月
就学児童アンケート	町内の就学児童（小学1～6年生）の保護者	就学児童のいる314人 郵送による配布・回収 小学校を通じた配布・回収	

3 回収結果

調査の種類	配布数	回収数	有効回収数
就学前児童アンケート	269人	186人 (回収率 69.1%)	186人 (回収率 69.1%)
就学児童アンケート	314人	172人 (回収率 54.8%)	172人 (回収率 54.8%)

4 報告書をみる際の注意

- ・回答項目の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順となっています。年齢や日数等、数量で回答していただいた問については、数量増加に伴う割合の変化がわかるよう階級順の棒グラフとなっています。
- ・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。

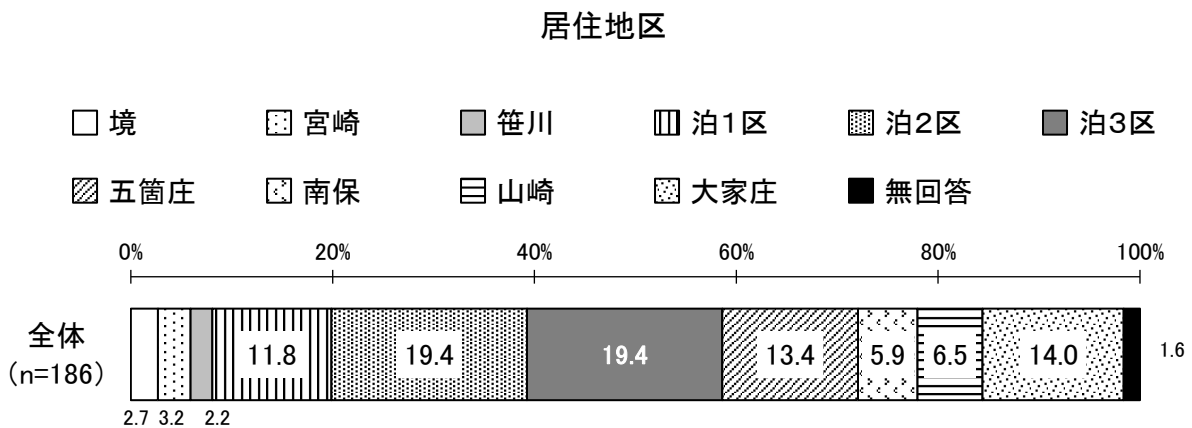
Ⅱ. 就学前児童アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「泊2区」と「泊3区」の割合が同率で19.4%と最も高く、次いで「大家庄」(14.0%)が続き、以下「五箇庄」(13.4%)の順となっています。

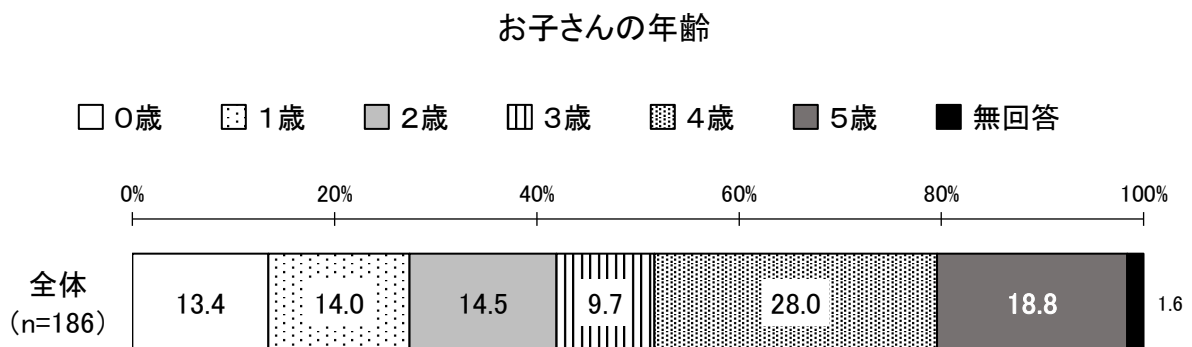


2 お子さんのご家族の状況について

(2) お子さんの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢は何歳ですか。

お子さんの年齢については、「4歳」の割合が28.0%で最も高く、次いで「5歳」(18.8%)が続き、以下「2歳」(14.5%)、「1歳」(14.0%)の順となっています。



(3) お子さんを含めたきょうだいの人数

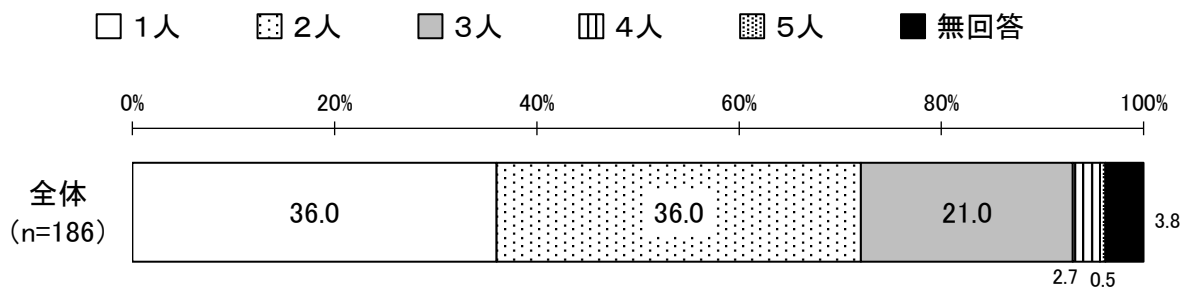
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数

※お子さんが2人以上の場合は、末子の年齢をご回答ください。

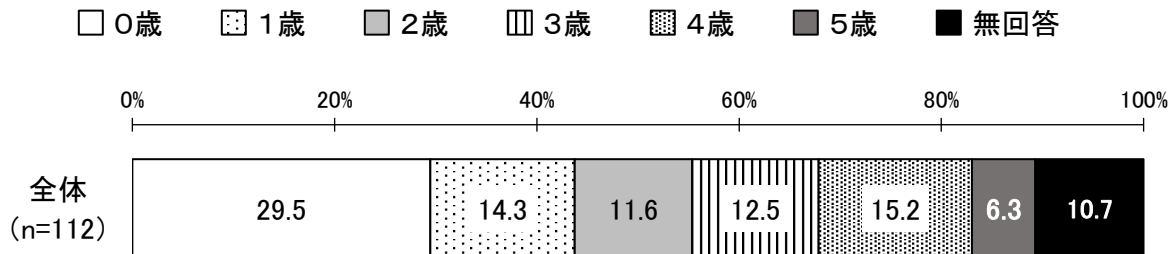
お子さんを含めたきょうだいの人数については、「1人」と「2人」の割合が同率で36.0%と最も高く、次いで「3人」(21.0%)が続き、以下「4人」(2.7%)の順となっています。

お子さんを含めたきょうだいの人数



末子の年齢については、「0歳」の割合が29.5%で最も高く、次いで「4歳」(15.2%)が続き、以下「1歳」(14.3%)、「3歳」(12.5%)の順となっています。

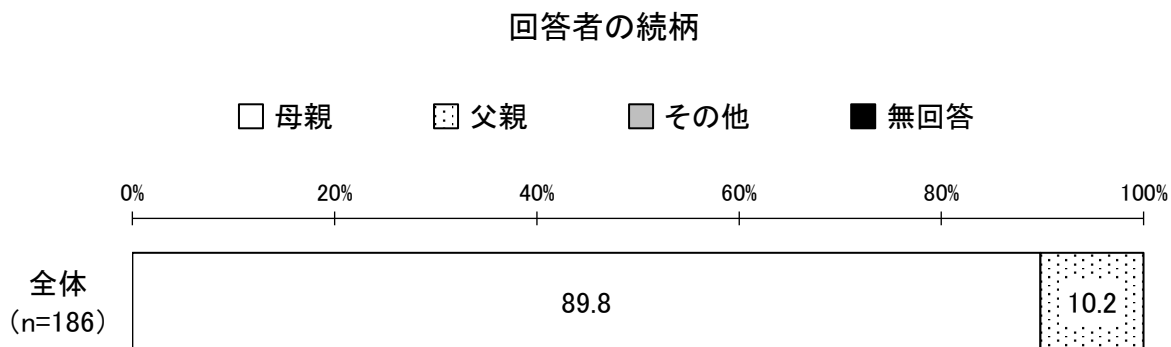
末子の年齢



(4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

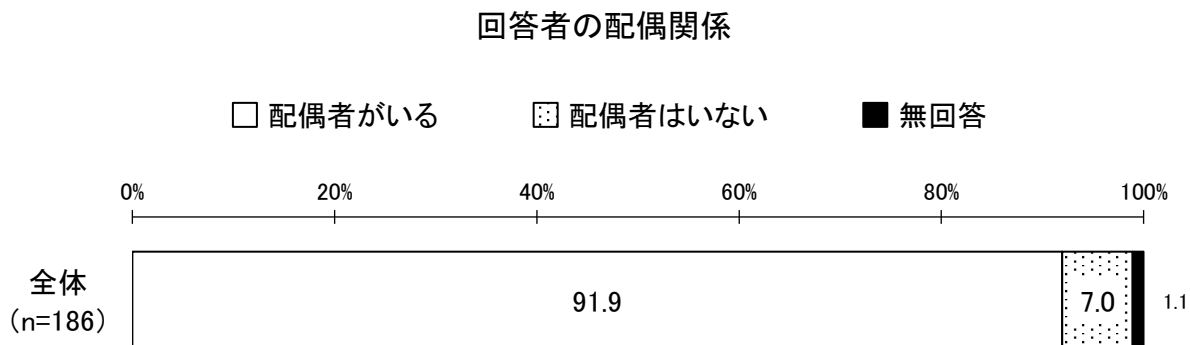
回答者の続柄については、「母親」の割合が89.8%で「父親」(10.2%)の割合を大きく上回ります。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が91.9%で「配偶者はいない」(7.0%)の割合を大きく上回ります。

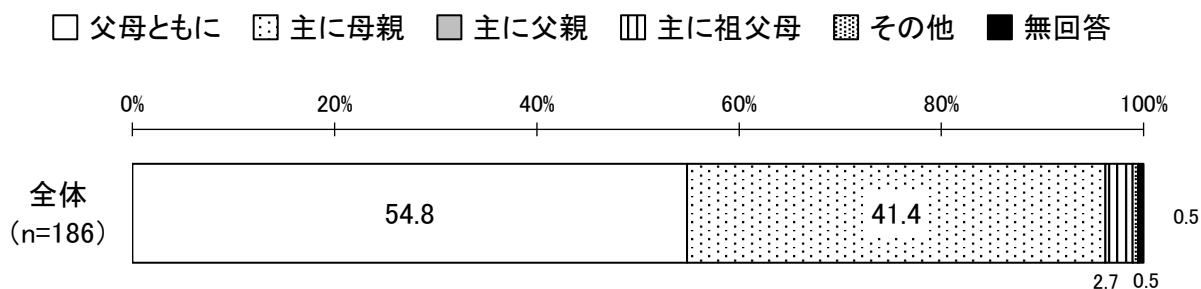


(6) 子育ての主な担い手

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が54.8%で最も高く、次いで「主に母親」(41.4%)が続き、以下「主に祖父母」(2.7%)などの順となっています。

子育ての主な担い手



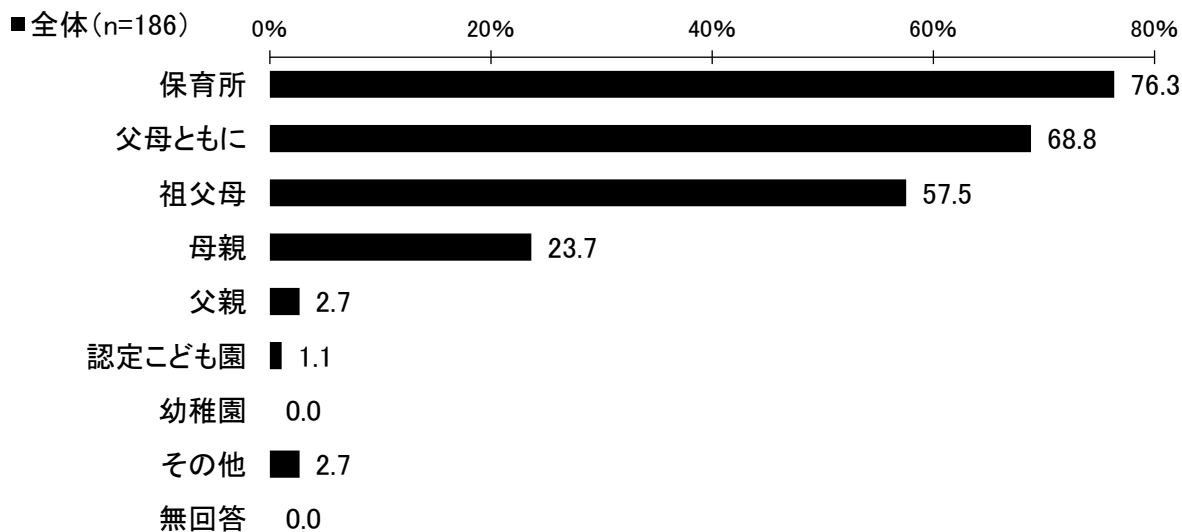
3 育ちをめぐる環境について

(7) 子育てに日常的に関わる方

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。【複数回答】

子育てに日常的に関わる方については、「保育所」の割合が76.3%で最も高く、次いで「父母ともに」(68.8%)が続き、以下「祖父母」(57.5%)、「母親」(23.7%)の順となっています。

子育てに日常的に関わる方【複数回答】

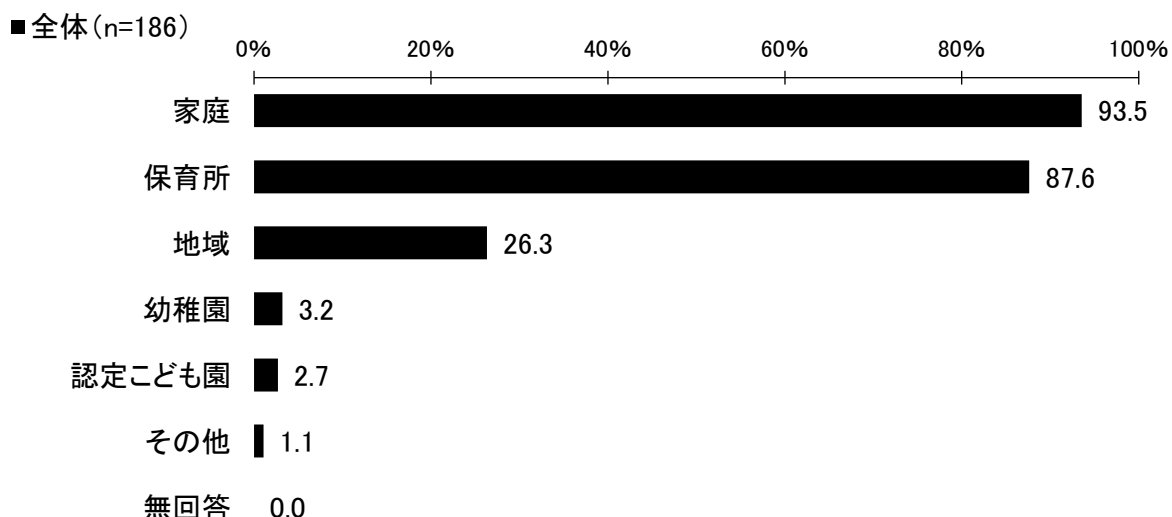


(8) 子育てにもっとも影響を与えると思う環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。【複数回答】

子育てにもっとも影響を与えると思う環境については、「家庭」の割合が93.5%で最も高く、次いで、「保育所」（87.6%）が続き、以下「地域」（26.3%）の順となっています。

子育てにもっとも影響を与えると思う環境【複数回答】

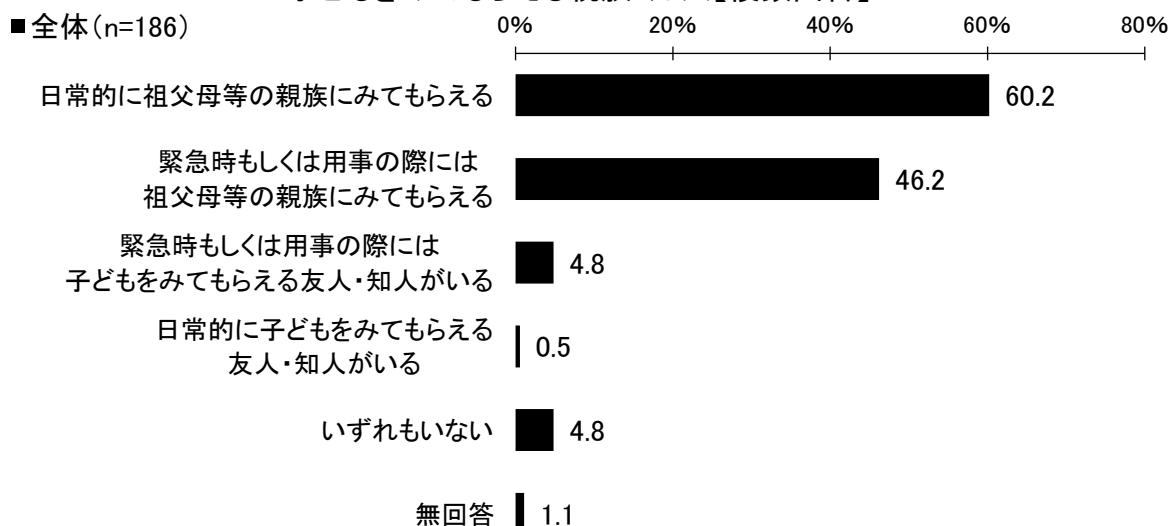


(9) 子どもをみてもらえる親族・知人

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.2%で最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（46.2%）が続き、他を引き離します。

子どもをみてもらえる親族・知人【複数回答】



(10) 親族に子どもをみてもらう状況

問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

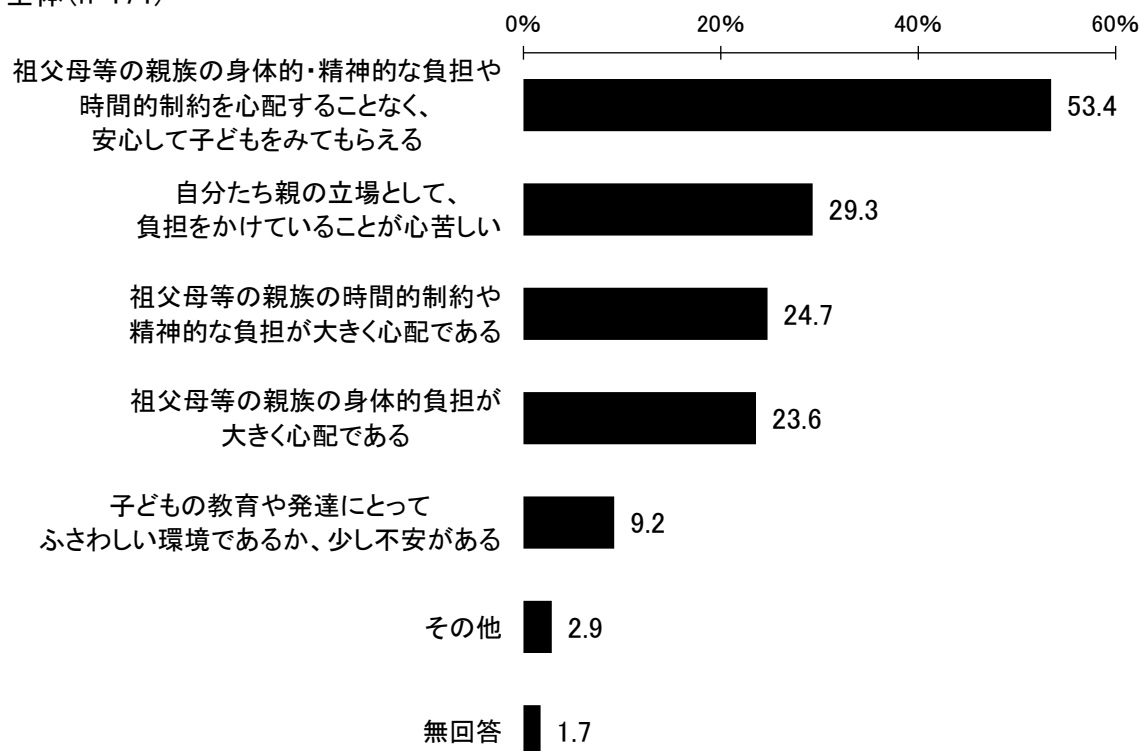
問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【複数回答】

親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が53.4%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(29.3%)が続き、以下「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(24.7%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(23.6%)の順となっています。

親族に子どもをみてもらう状況【複数回答】

■全体(n=174)



(11) 友人・知人に子どもをみてもらう状況

問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

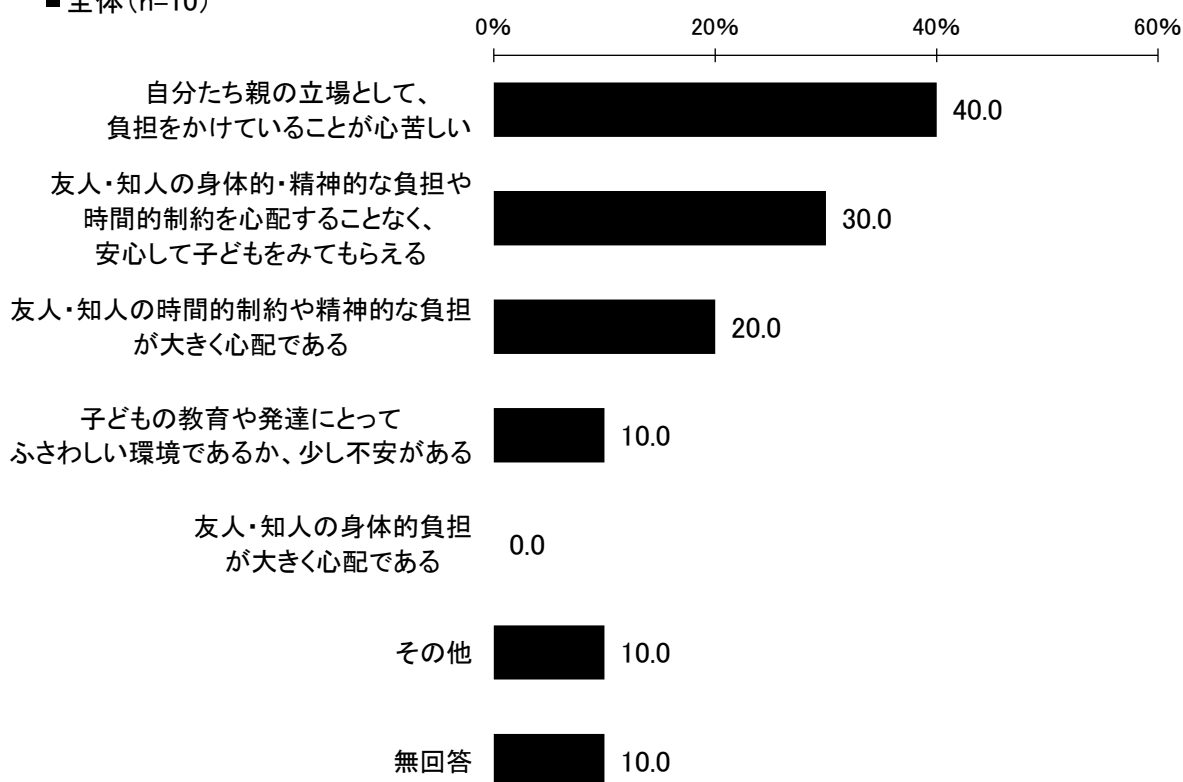
問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【複数回答】

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が40.0%で最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(30.0%)が続き、以下「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(20.0%)の順となっています。

友人・知人に子どもをみてもらう状況【複数回答】

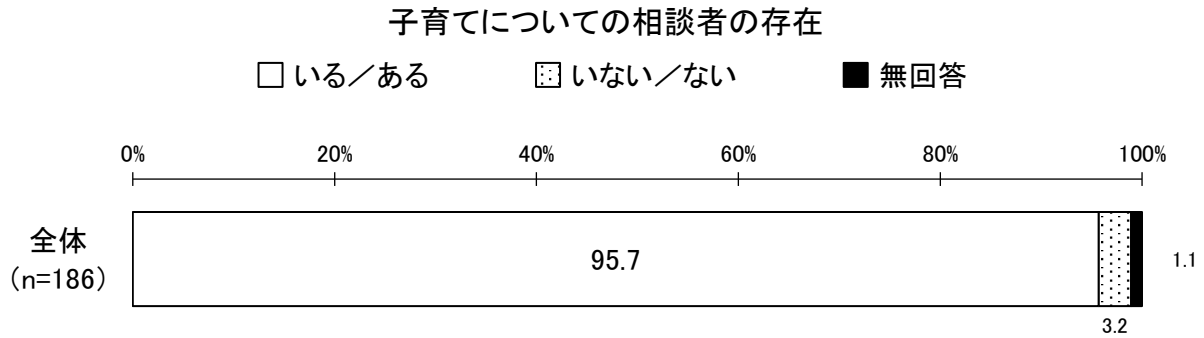
■全体 (n=10)



(12) 子育てについての相談者の存在

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。

子育てについて気軽に相談できる人は、「いる／ある」が95.7%、「いない／ない」が3.2%となっています。

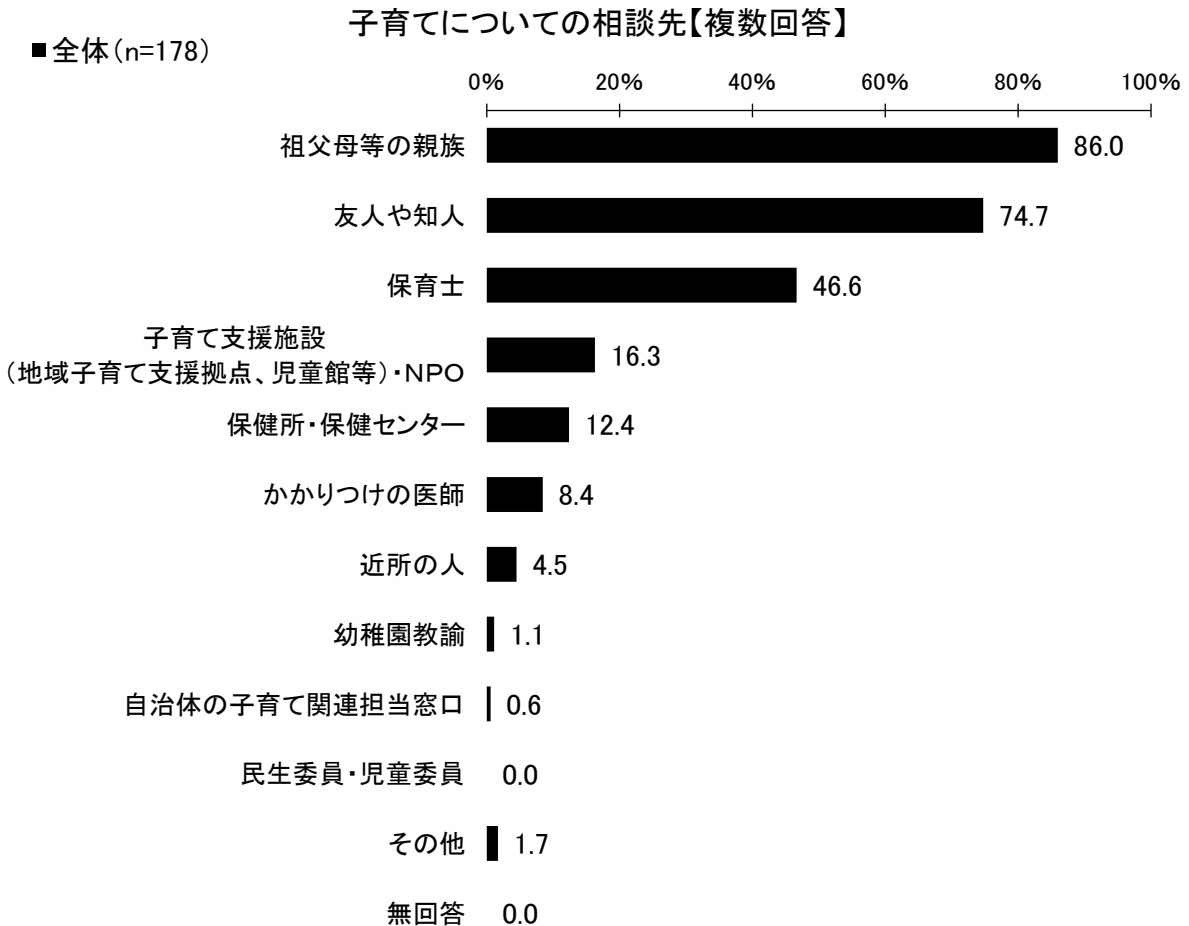


(13) 子育てについての相談先

問10で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【複数回答】

子育てに関する相談先は、「祖父母等の親族」の割合が86.0%で最も高く、次いで「友人や知人」（74.7%）が続き、以下「保育士」（46.6%）の順となっています。



4 保護者の就労状況について

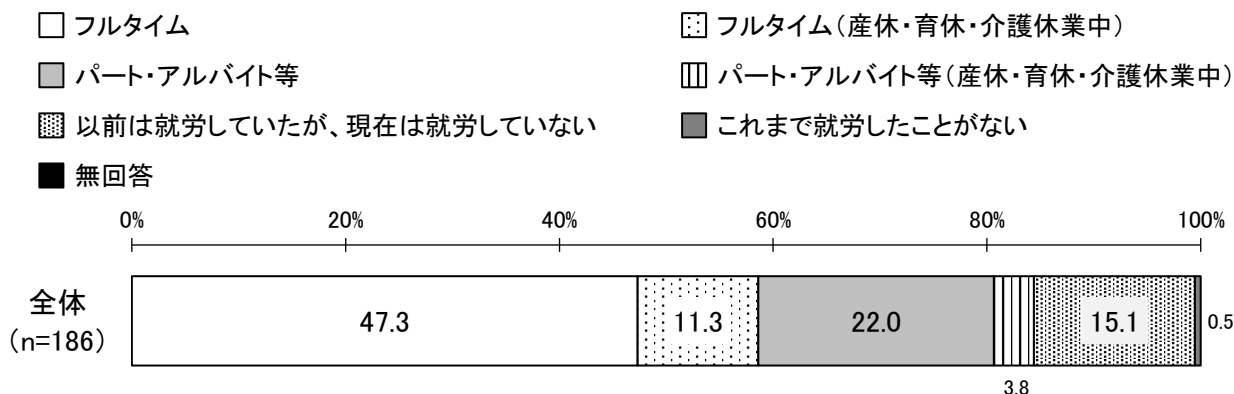
(14) 保護者の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

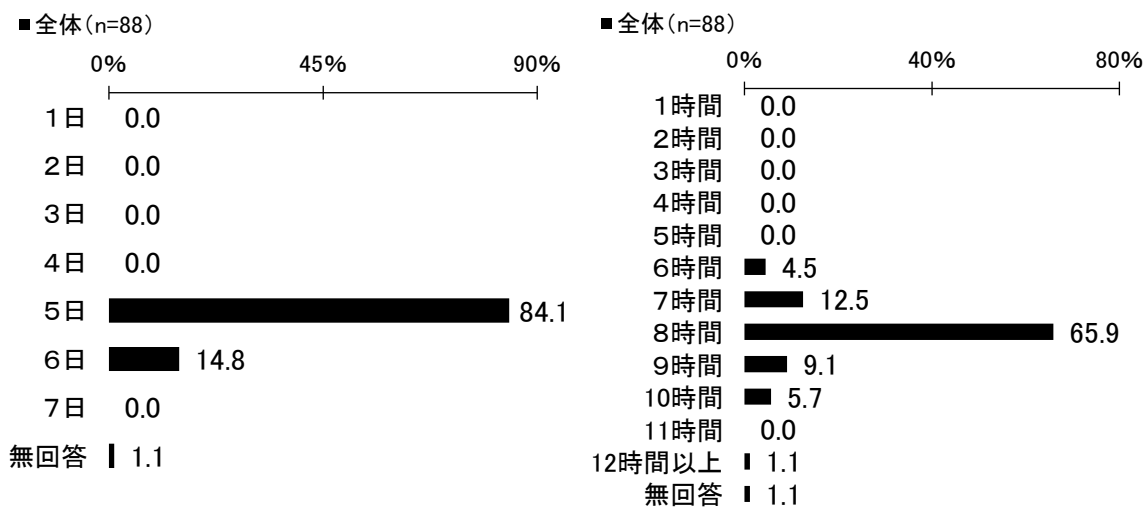
①母親

母親の就労状況については、「フルタイム」の割合が47.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(22.0%)が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」(15.1%)の順となっています。

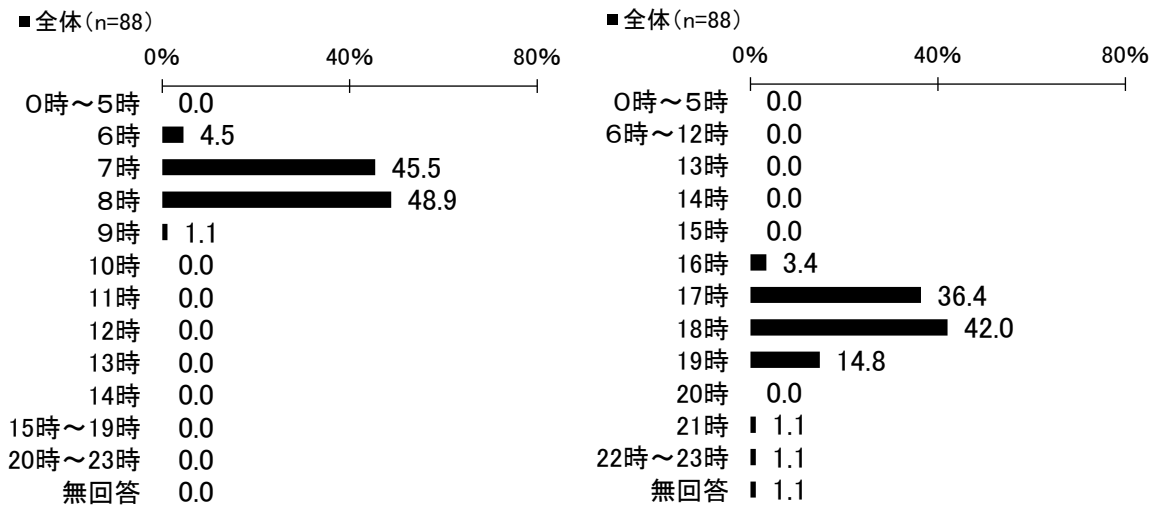
母親の就労状況



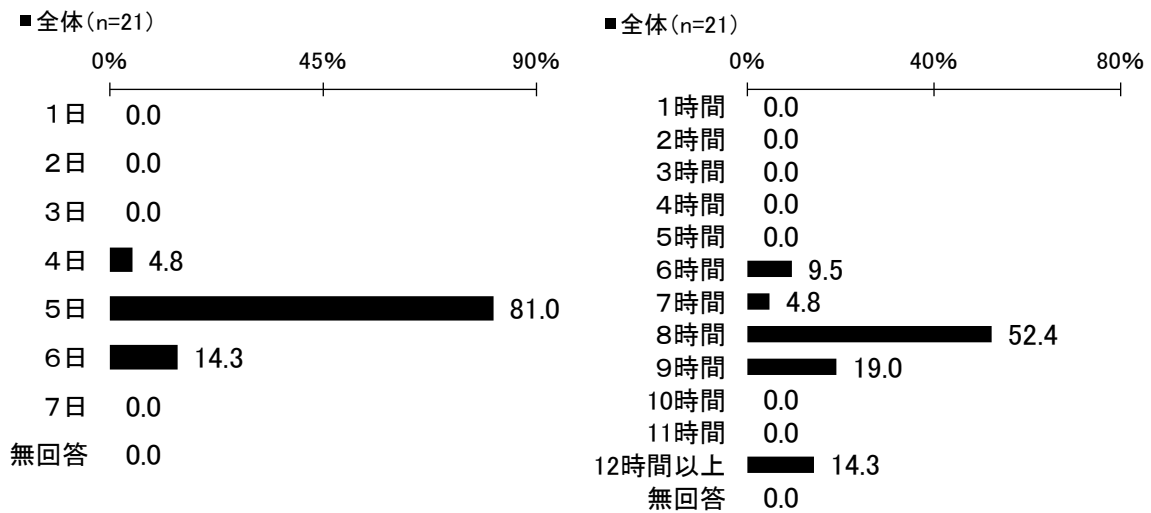
1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム



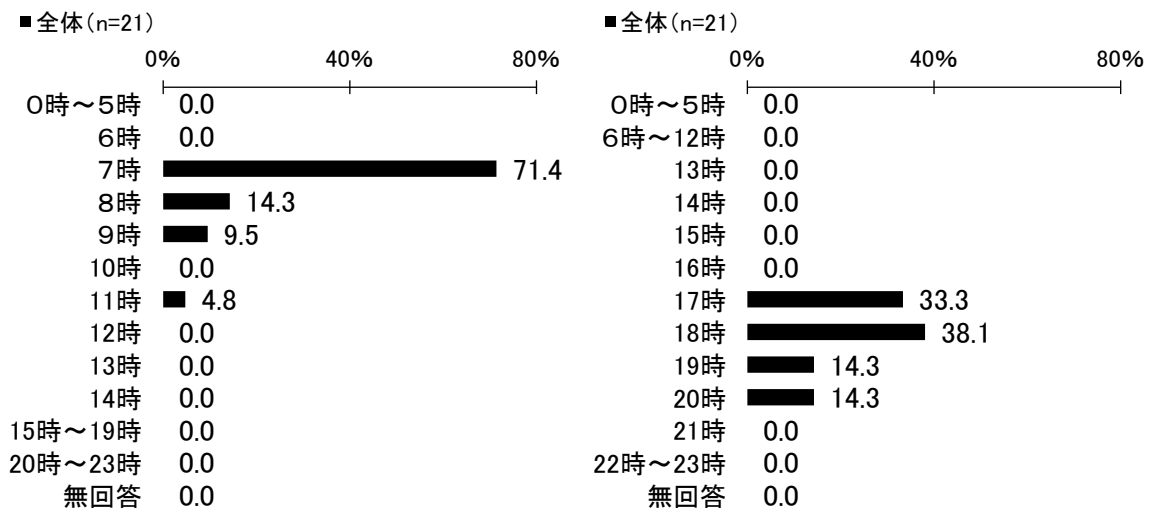
家を出る時間と帰宅時間／フルタイム



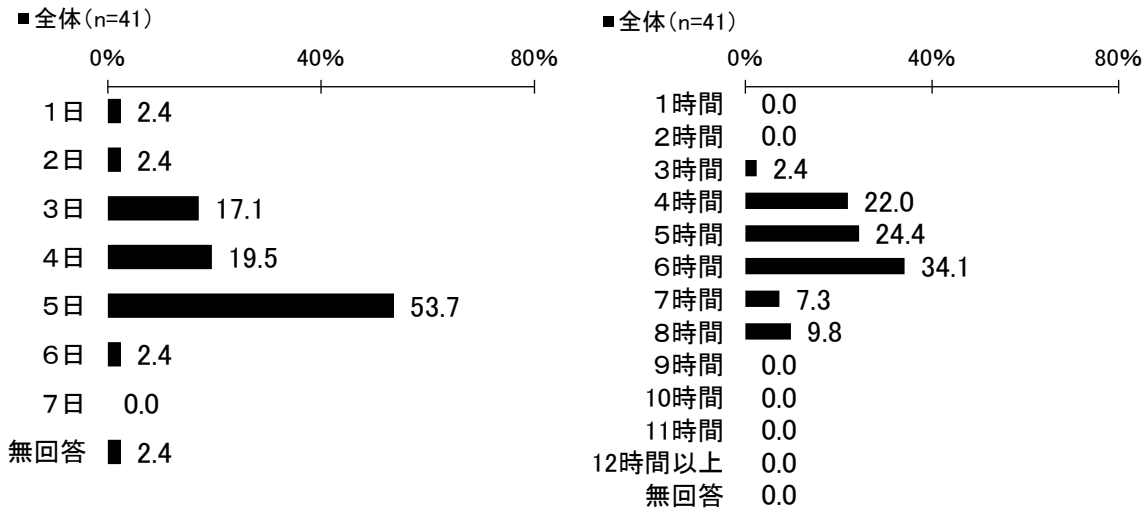
1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）



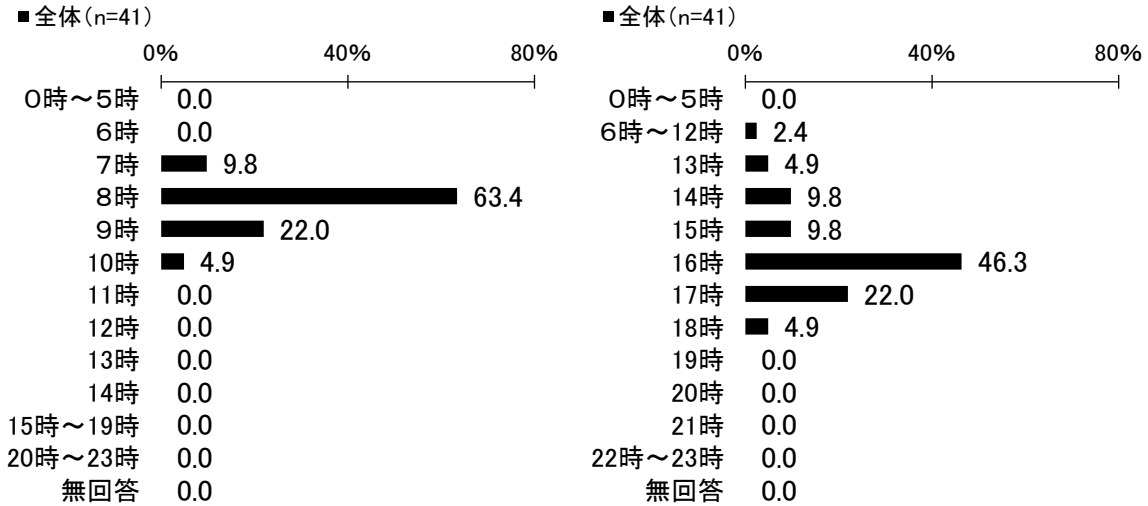
家を出る時間と帰宅時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）



1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等



家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等



1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）

就労日数		就労時間	
3日	1人	5時間	1人
4日	1人	6時間	5人
5日	5人		

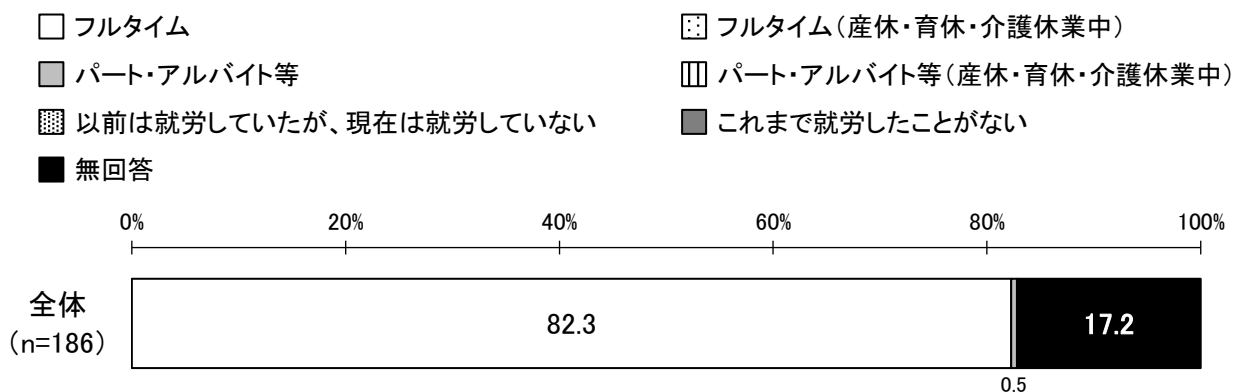
家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）

家を出る時間		帰宅時間	
7時	1人	13時	1人
8時	6人	15時	2人
		16時	3人
		17時	1人

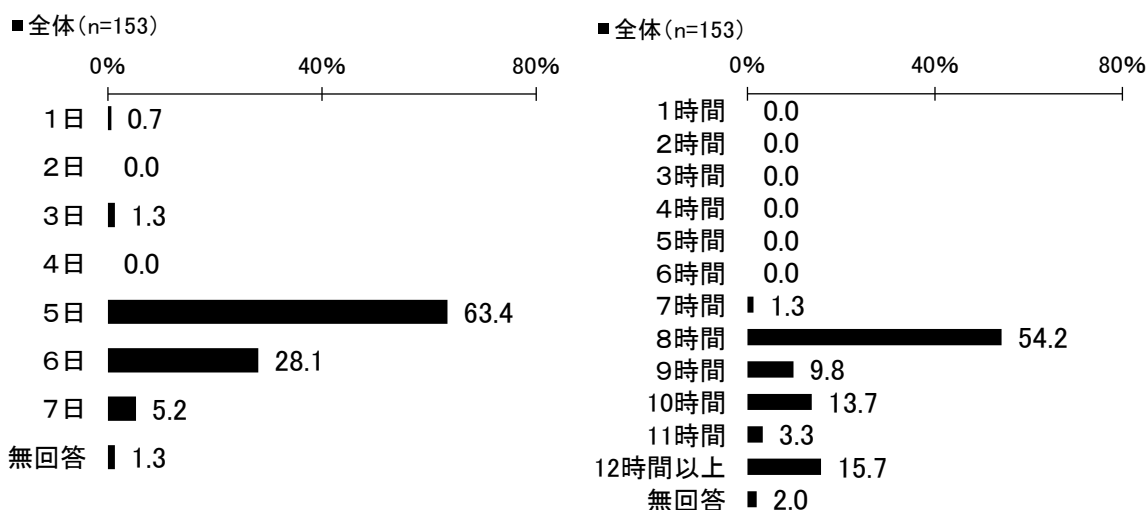
②父親

父親の就労状況については、「フルタイム」の割合が82.3%で最も高く、8割を占めます。

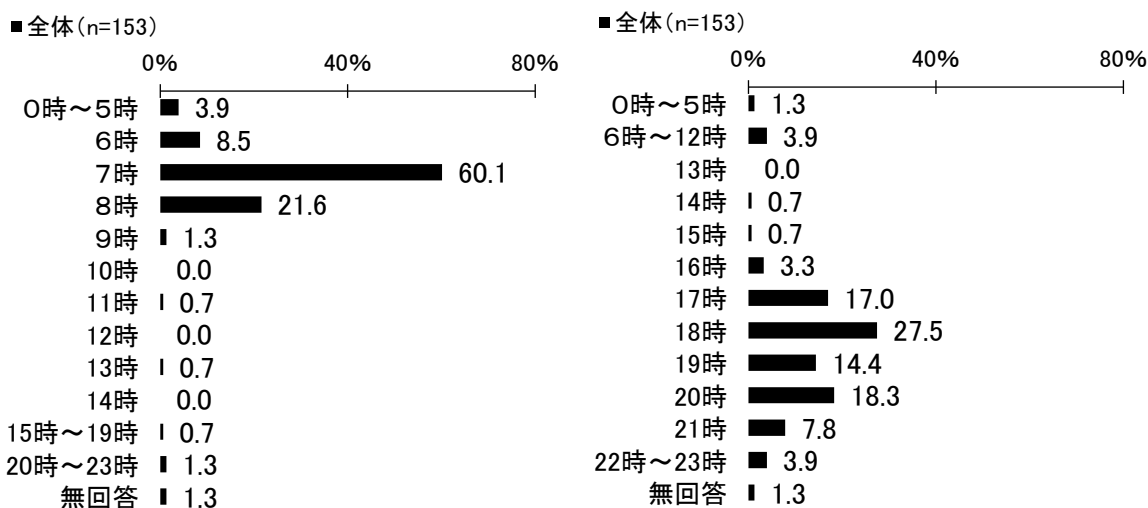
父親の就労状況



1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム



家を出る時間と帰宅時間／フルタイム



1 週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）…該当者なし

家を出る時間と帰宅時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）…該当者なし

1 週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等…該当者なし

家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等…該当者なし

1 週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）
…該当者なし

家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）
…該当者なし

(15) フルタイムへの転換希望

問12で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

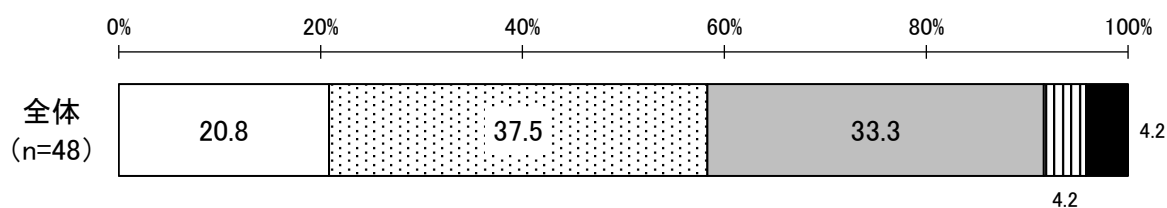
問13 フルタイムへの転換希望はありますか。

①母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が37.5%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」（33.3%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（20.8%）の順となっています。

母親のフルタイムへの転換希望

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



②父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「無回答」が1人となっています。

父親のフルタイムへの転換希望

無回答	1人
-----	----

(16) 就労希望

問12で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

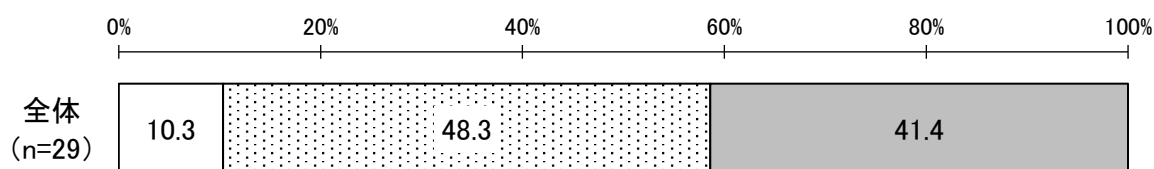
問14 就労したいという希望はありますか。

①母親

母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」の割合が48.3%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(41.4%)が続き、以下「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(10.3%)の順となっています。

母親の就労希望

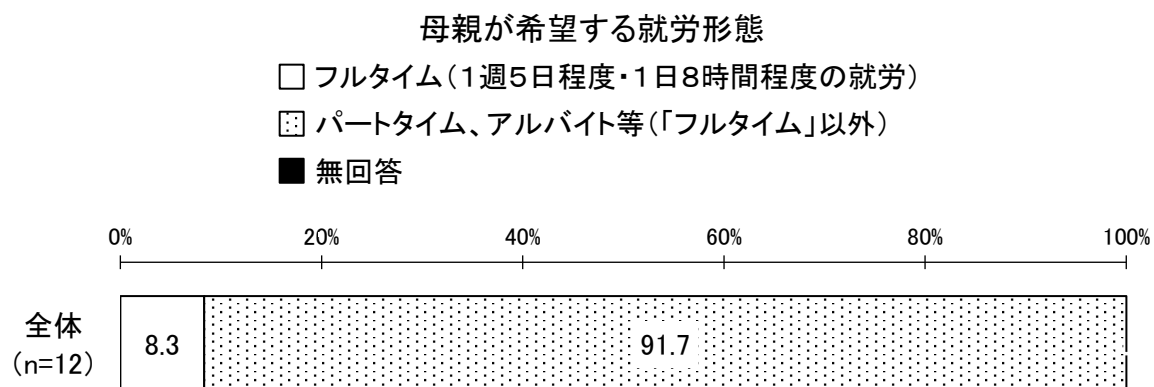
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



母親が1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢

2歳	5人
3歳	7人
4歳	1人
6歳	1人

問14①母親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した12人に、希望する就労形態について尋ねたところ、「パートタイム・アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が91.7%で、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（8.3%）の割合を大きく上回ります。



フルタイム以外を希望
／母親の1週当たりの希望勤務日数

3日	3人
5日	7人
無回答	1人

フルタイム以外を希望
／母親の1日あたりの希望勤務時間

4時間	2人
5時間	2人
6時間	6人
無回答	1人

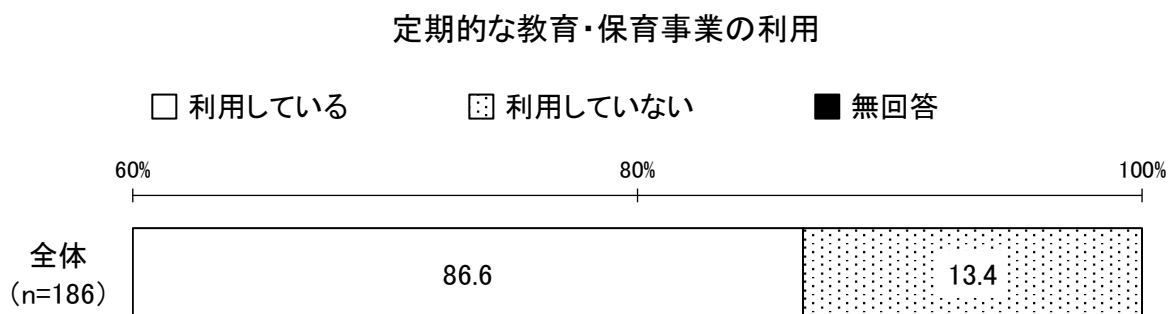
②父親…該当者なし

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(17) 定期的な教育・保育事業の利用

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」の割合が86.6%で、「利用していない」(13.4%)を大きく上回ります。



(18) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

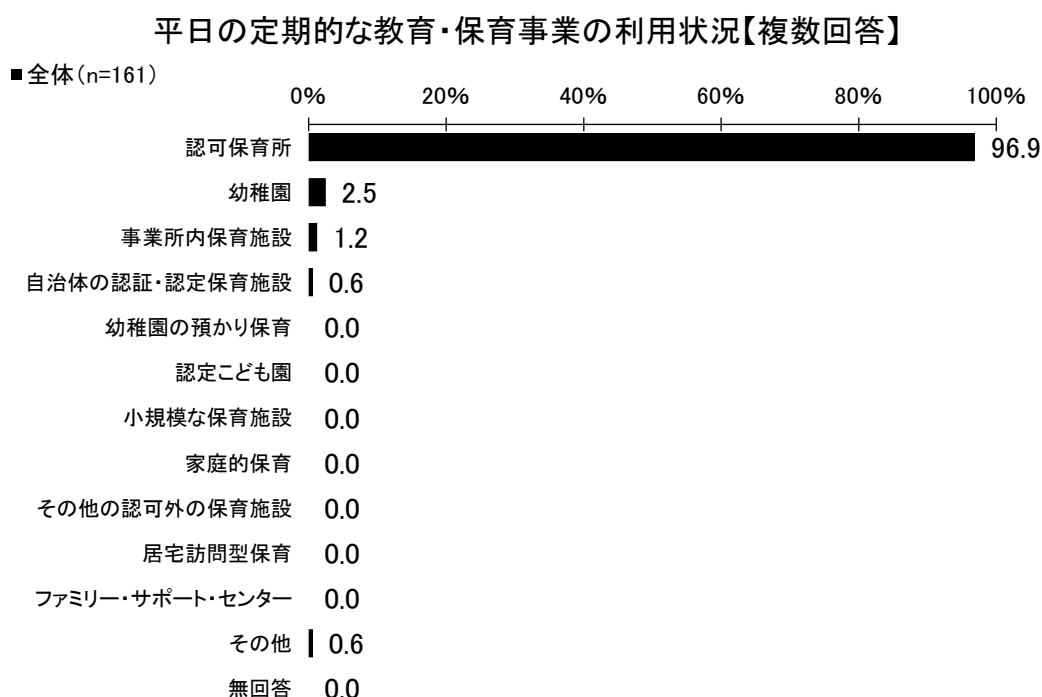
問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

【複数回答】

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「認可保育所」の割合が96.9%で最も高く、他を大きく引き離します。



(19) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

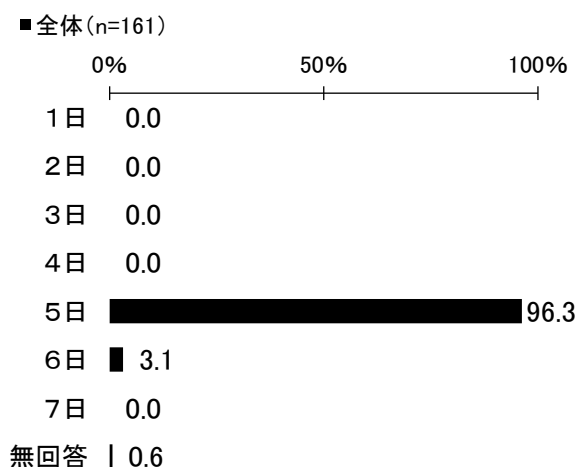
問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

①現在

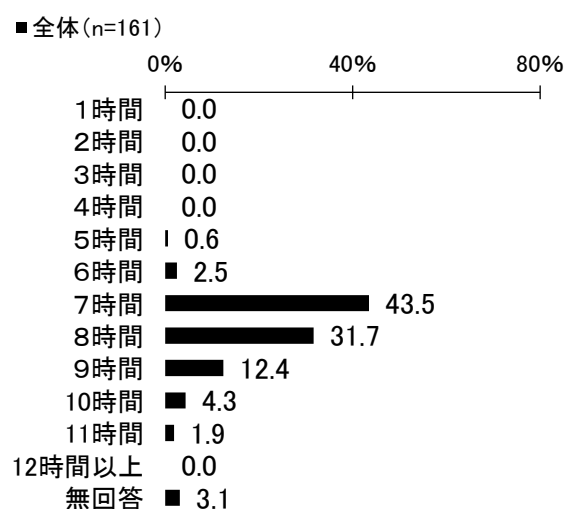
現在の、平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度については、1週当たり5日利用する人の割合が96.3%で最も高くなっています。また、1日当たりの利用時間の割合は7時間(43.5%)が最も高くなっています。

利用開始時刻は、9時(57.1%)、終了時刻は16時(74.5%)が最も高くなっています。

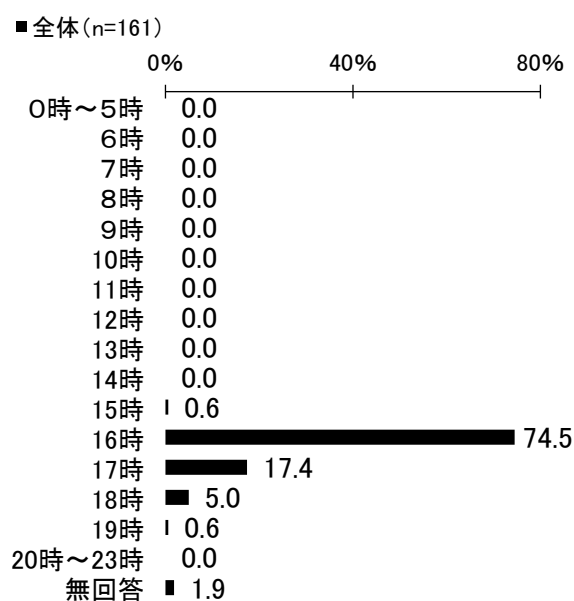
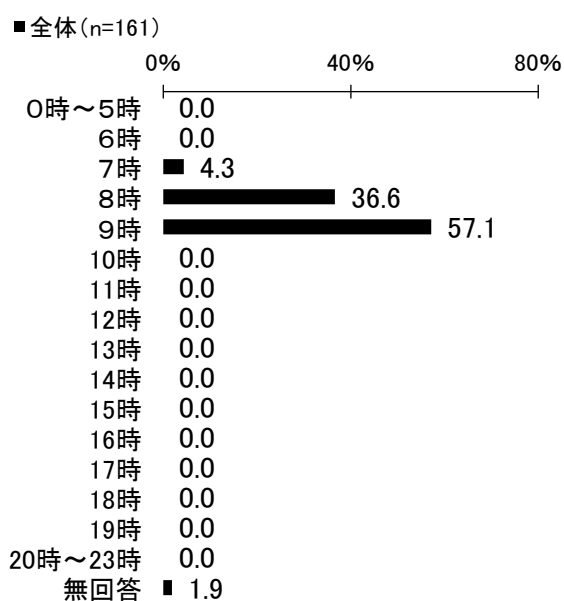
現在の1週当たりの利用日数



現在の1日当たりの利用時間



現在の1日の利用開始時刻と終了時刻



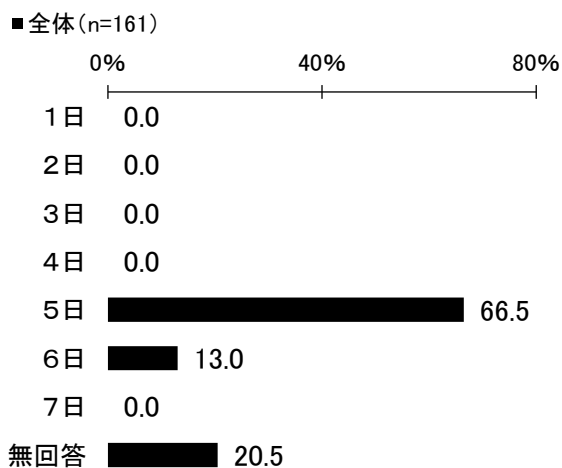
②希望

希望する平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用頻度については、1週当たり5日利用を希望する人の割合が66.5%で最も高くなっています。また、1日当たりの利用希望時間の割合は「7時間」(28.0%)が最も高くなっています。

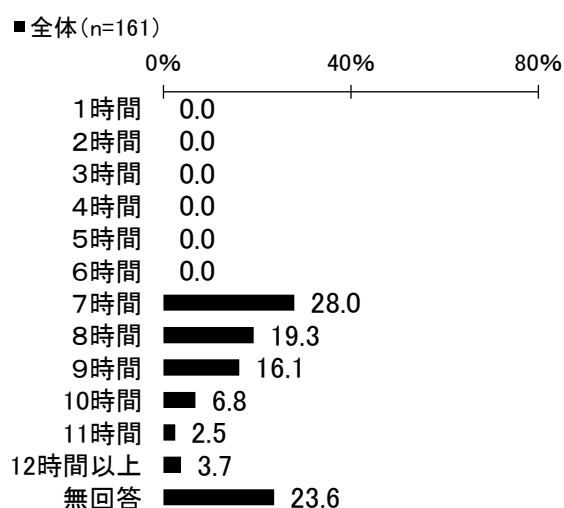
利用開始時刻は、9時(39.8%)、終了時刻は16時(38.5%)が最も高くなっています。

現在の利用状況と比較すると、開始時刻希望と終了時刻の希望がそれぞれやや早めと遅めになっています。

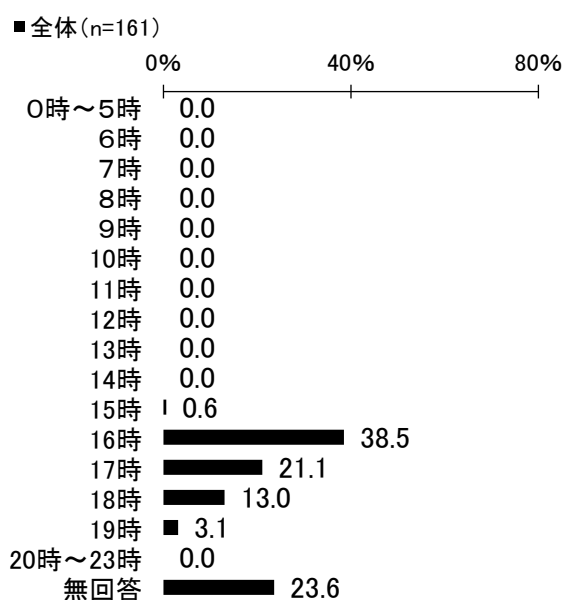
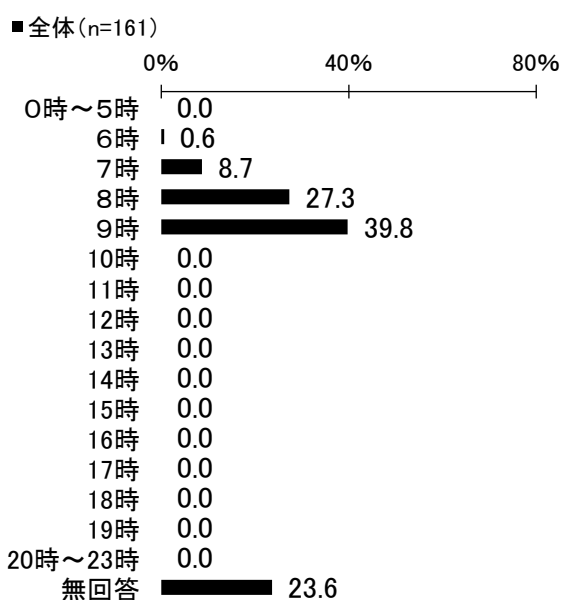
希望する1週当たりの利用日数



希望する1日当たりの利用時間



希望する1日の利用開始時刻と終了時刻



(20) 希望する延長保育の最長時刻

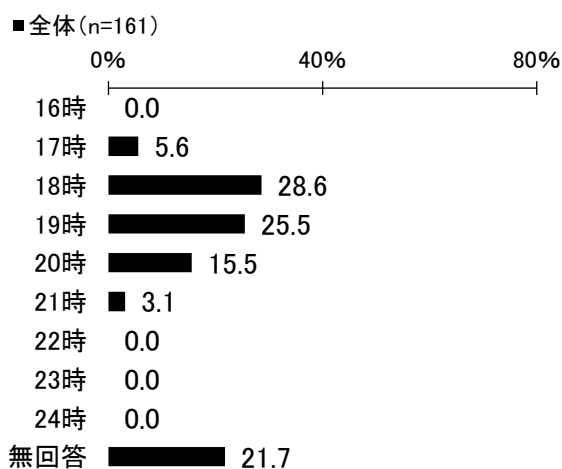
問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-3 保育所等の延長保育は最長で何時まで利用できたらよいと思いますか。

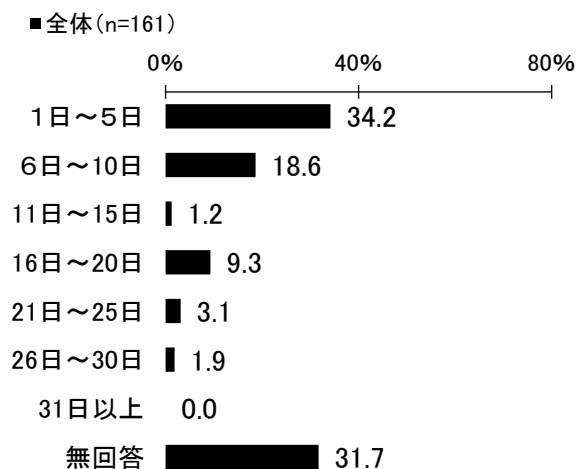
希望する延長保育の最長時刻については、「18時」の割合が28.6%で最も高く、次いで「19時」(25.5%)、以下「20時」(15.5%)となっています。

希望する1カ月当たりの利用日数は、「1日～5日」の割合が34.2%と最も高く、次いで「6日～10日」(18.6%)となっています。

希望する延長保育の最長時刻



希望する1カ月当たりの利用日数



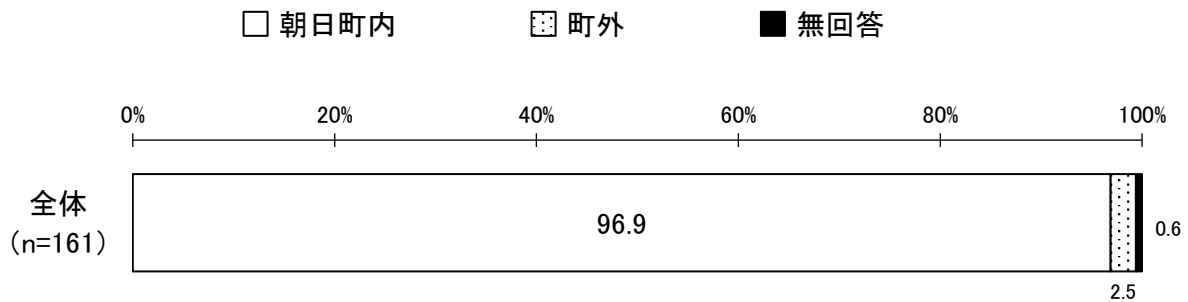
(21) 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所については、「朝日町内」の割合が96.9%となっており、「町外」(2.5%)を大きく上回ります。

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所



(22) 平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由

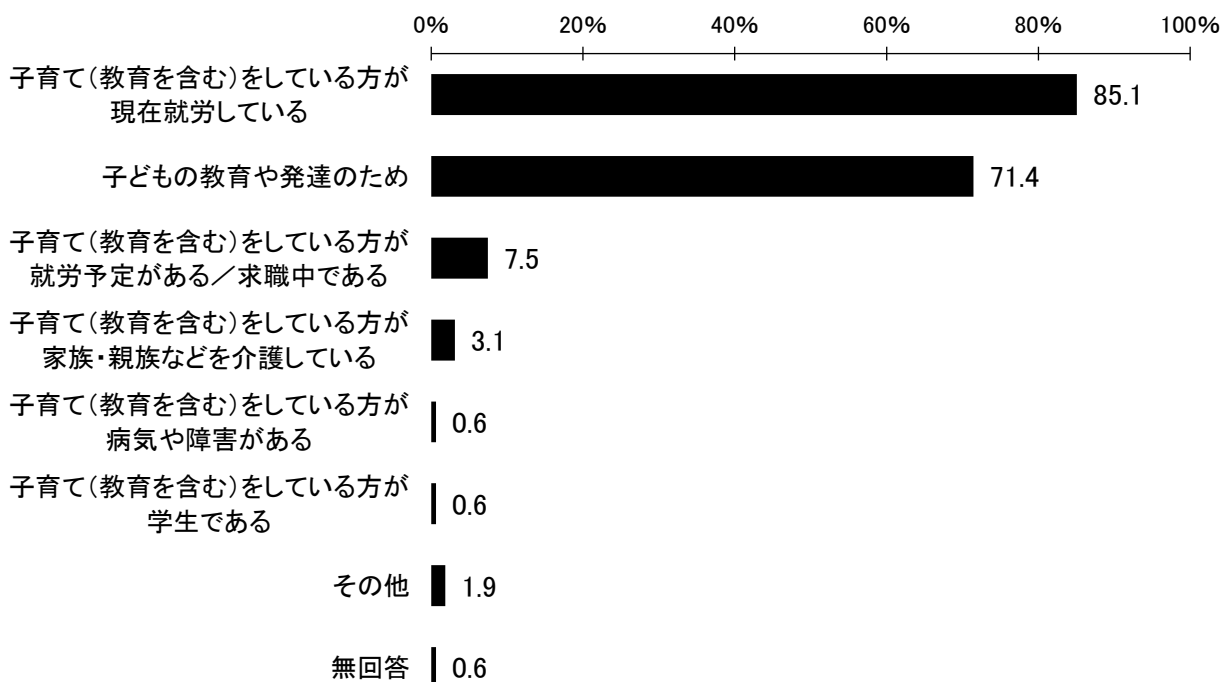
問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由はなんですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が85.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(71.4%)が続き、他を大きく引き離します。

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由【複数回答】

■全体 (n=161)



(23) 平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由

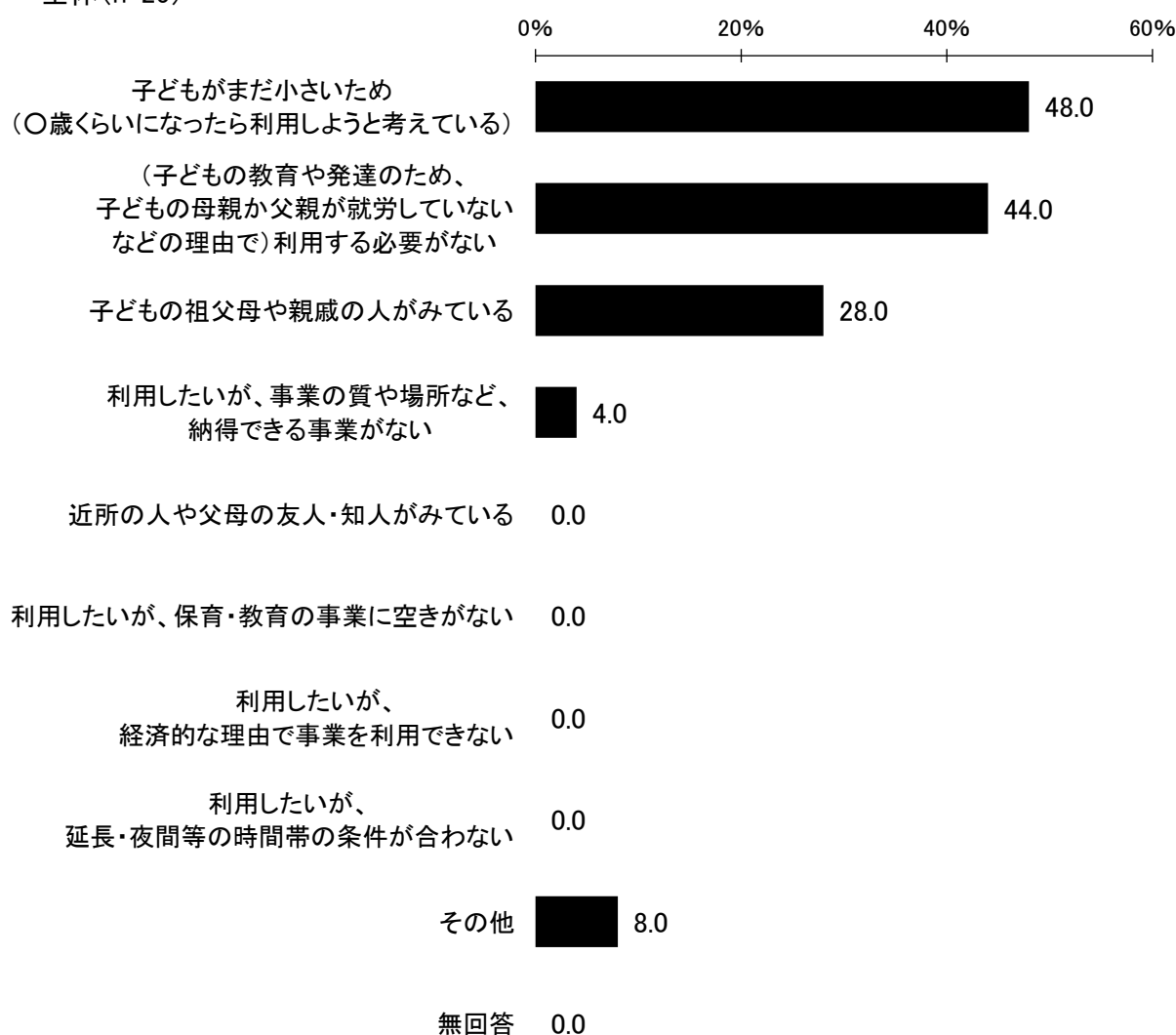
問15で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-6 利用していない理由は何ですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由については、「子どもがまだ小さいため（○歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が48.0%で最も高く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」（44.0%）が続き、以下「子どもの祖父母や親戚の人がみている」（28.0%）の順となっています。

平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】

■全体(n=25)



子どもが何歳になったら利用を考えるか

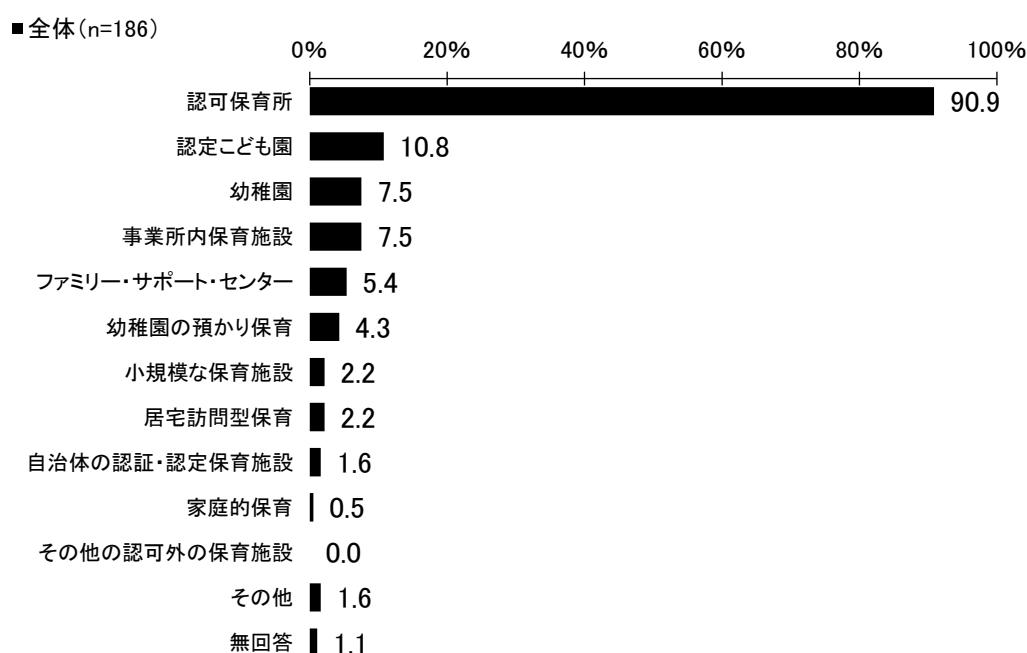
1歳	3人
2歳	3人
3歳	6人

(24) 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業の実施場所については、「認可保育所」の割合が90.9%で最も高く、次いで「認定こども園」(10.8%)が続き、以下「幼稚園」と「事業所内保育施設」(同率7.5%)の順となっています。

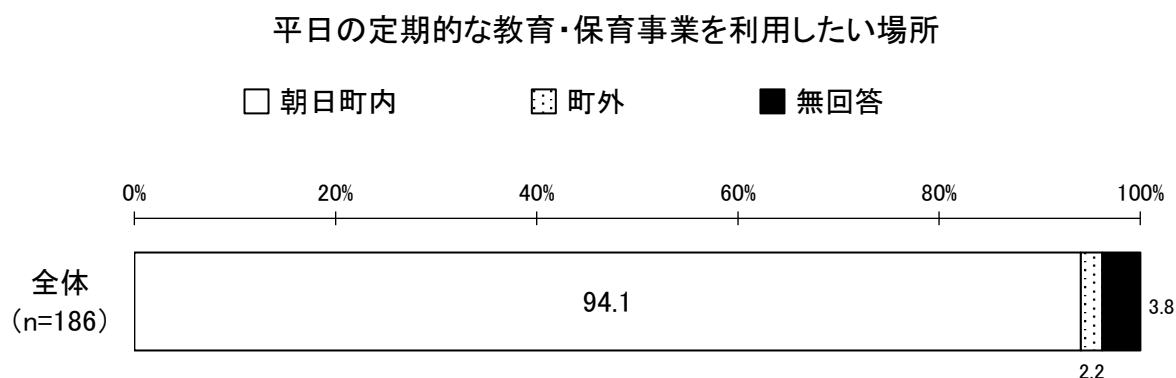
平日の定期的な教育・保育事業の実施場所【複数回答】



(25) 平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所については、「朝日町内」の割合が94.1%で、「町外」(2.2%)の割合を大きく上回ります。

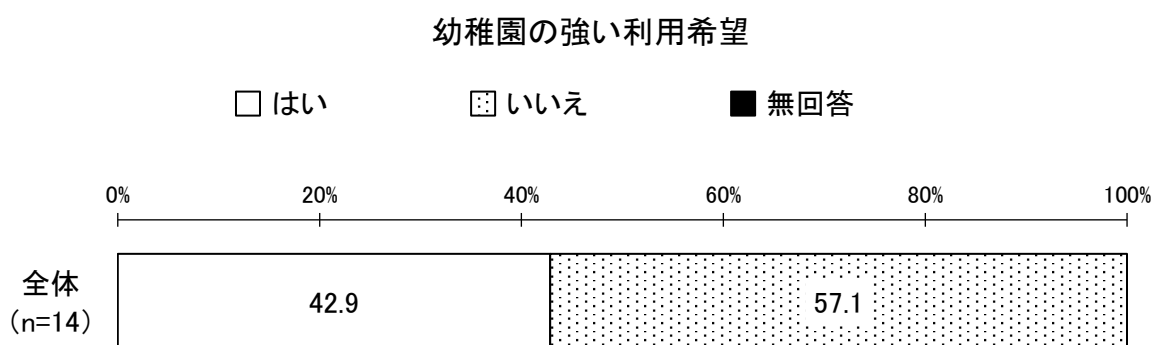


(26) 幼稚園の強い利用希望

問16で「幼稚園(通常就園時間の利用)」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外にも○をつけた方にうかがいます。

問16-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

幼稚園の強い利用希望については、「いいえ」の割合が57.1%で、「はい」(42.9%)の割合を上回ります。

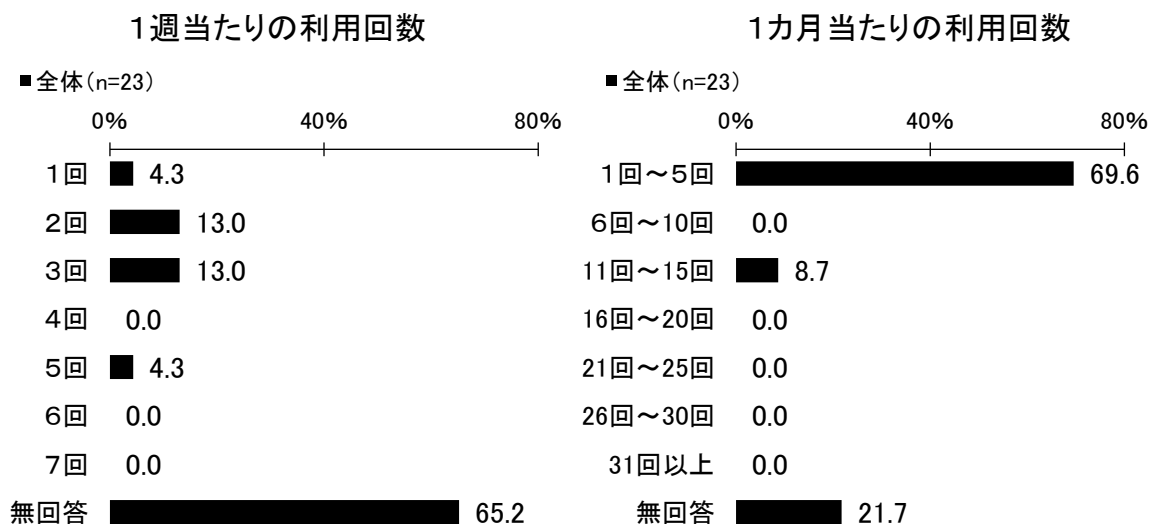
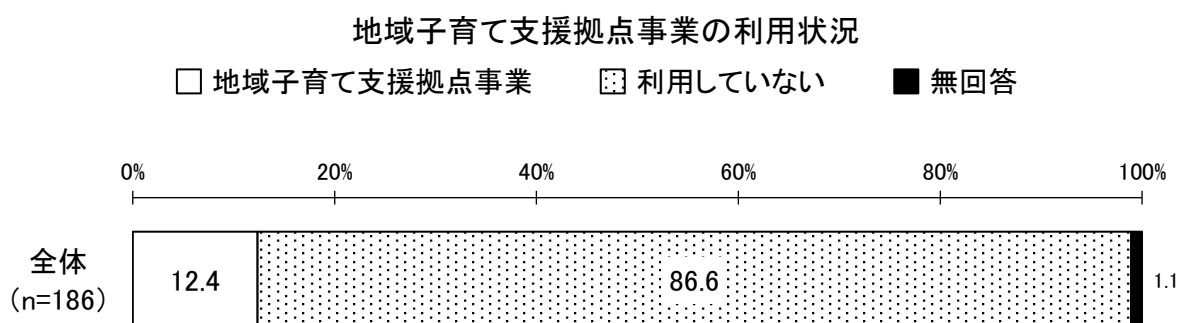


6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(27) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」の割合が86.6%で、「地域子育て支援拠点事業」(12.4%)を大きく上回っています。



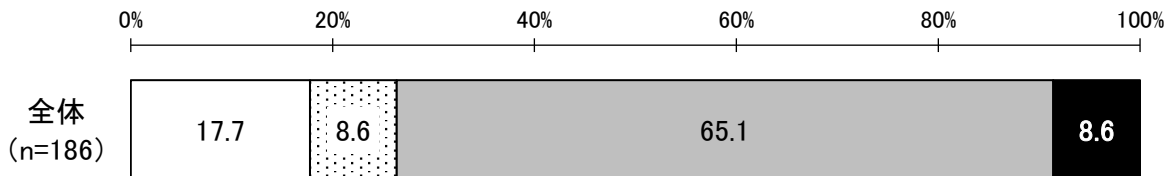
(28) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

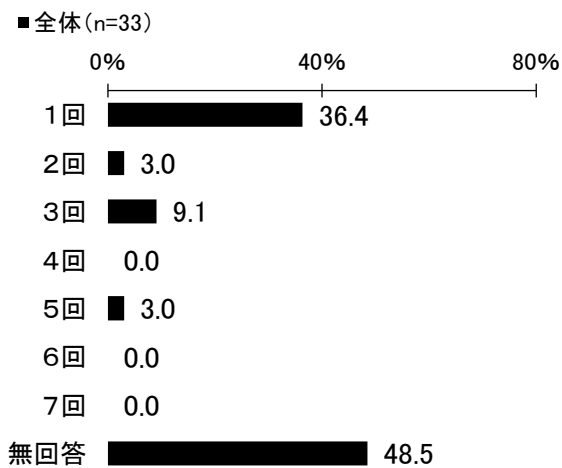
地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が65.1%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(17.7%)が続き、以下「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(8.6%)の順となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用希望

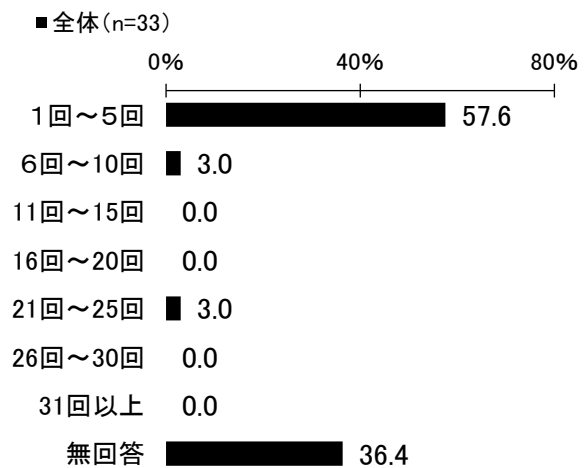
- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答



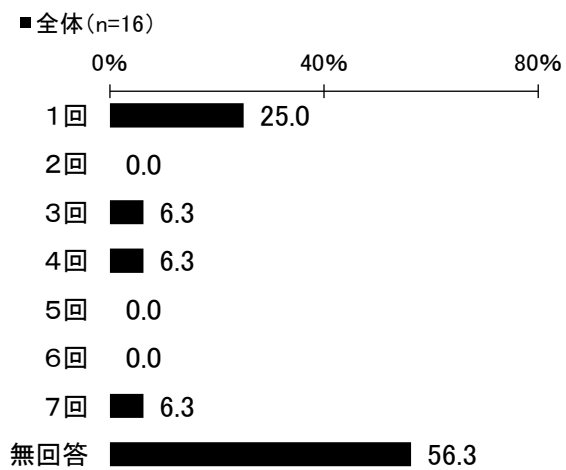
① 今後利用したい / 1週当たり



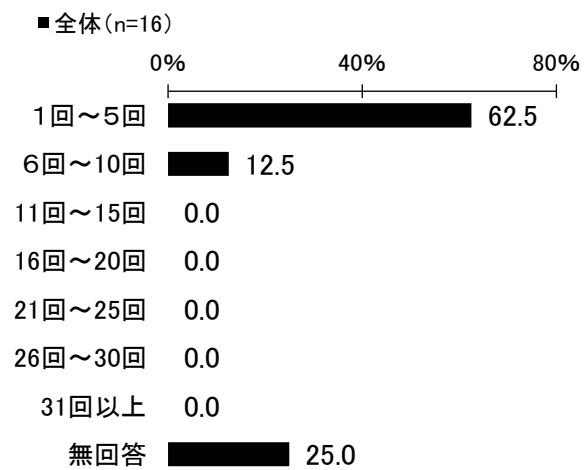
今後利用したい / 1カ月当たりの利用回数



②今後増やしたい／1週当たり



今後増やしたい／1カ月当たりの利用回数



7 休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(29) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

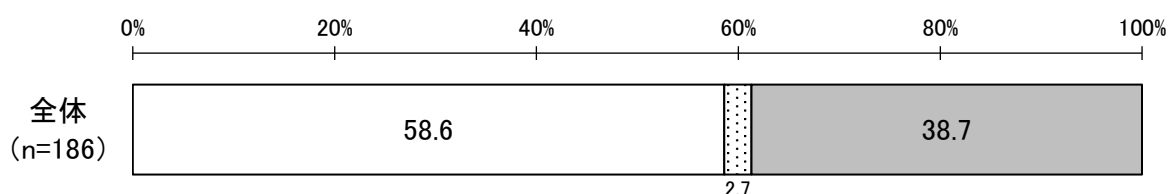
問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

①土曜日

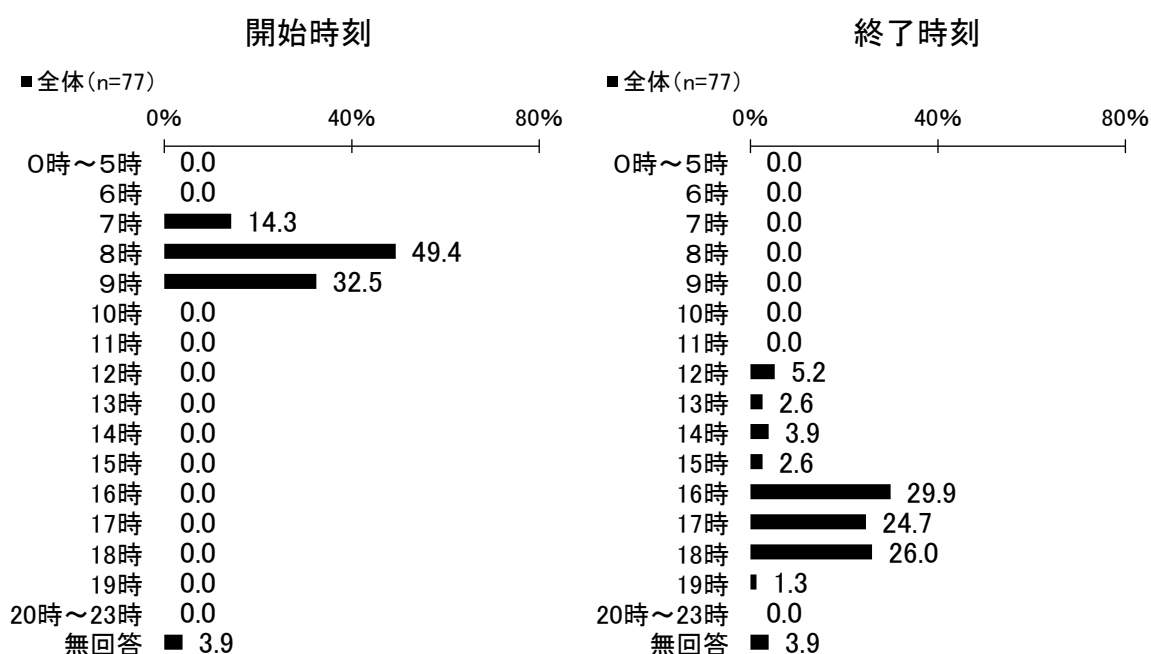
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」（58.6%）の割合が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」（38.7%）が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」（2.7%）の順となっています。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

□ 利用する必要はない □ ほぼ毎週利用したい □ 月に1～2回は利用したい ■ 無回答



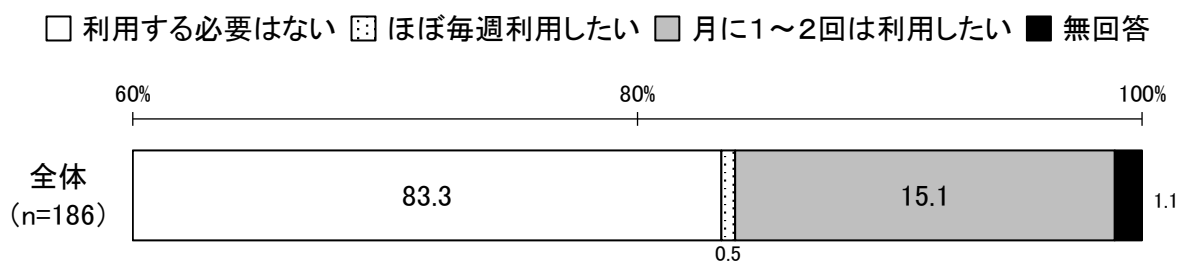
◆利用したい時間帯



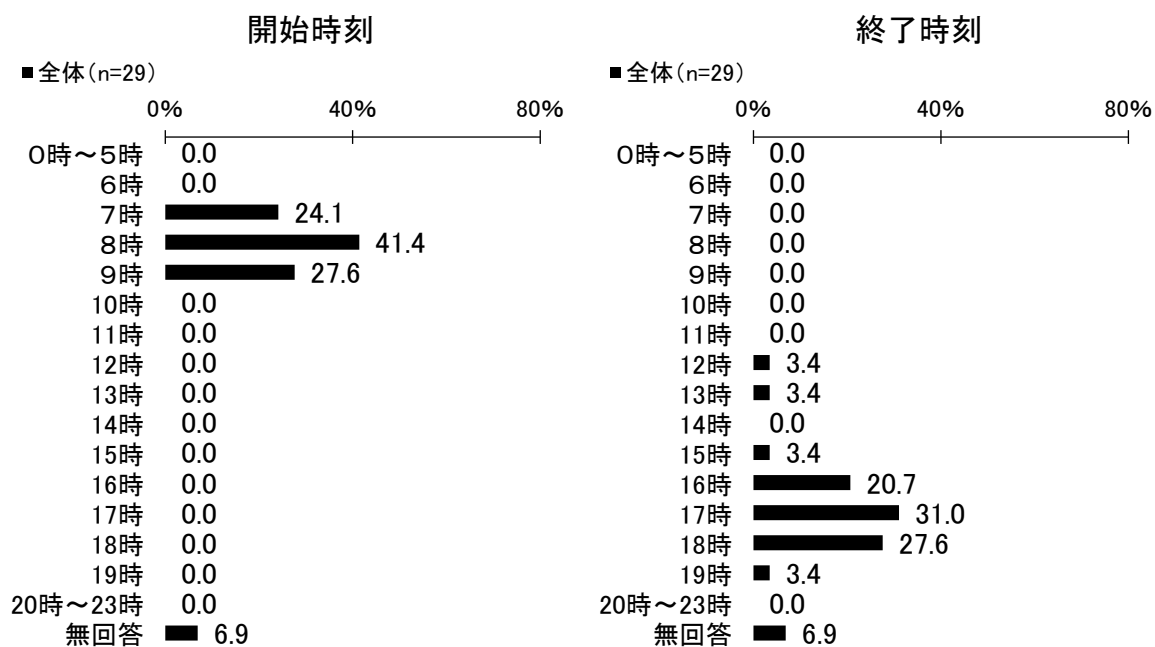
②日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が83.3%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(15.1%)が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」(0.5%)の順となっています。

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



◆利用したい時間帯

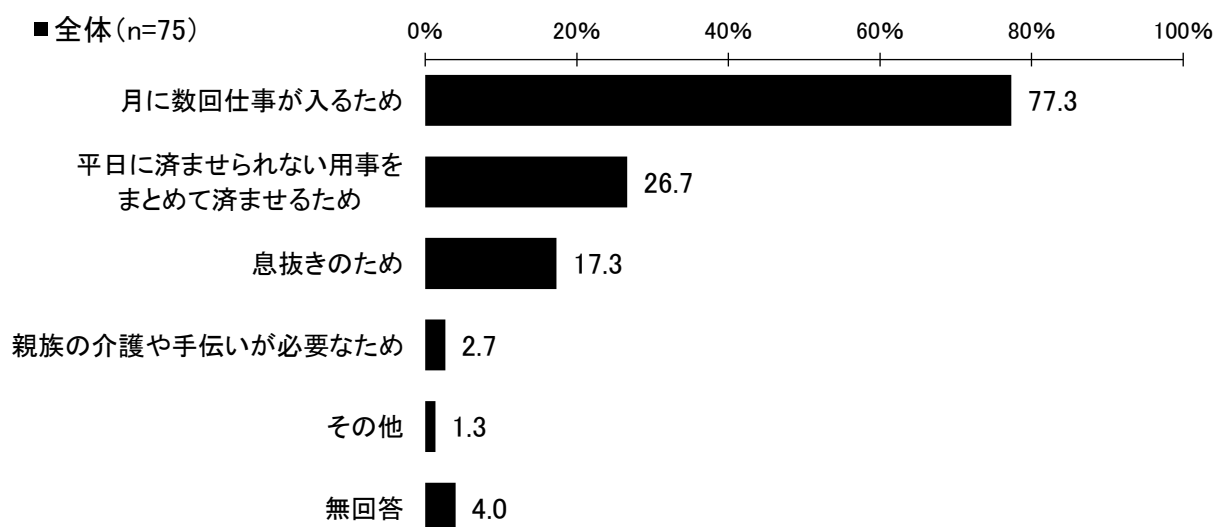


(30) 土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由

問19で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」の割合が77.3%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(26.7%)が続き、以下「息抜きのため」(17.3%)の順となっています。

土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由【複数回答】



(31) 長期休暇中の幼稚園の利用希望

幼稚園を利用されている方にうかがいます。
 問20 宛名のお子さんについて、夏休み、冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が2人、「利用する必要はない」が1人となっています。

長期休暇中の幼稚園の利用希望

利用する必要はない	1人
休みの期間中、週に数日利用したい	2人
無回答	1人

◆利用したい時間帯

開始時刻		終了時刻	
8時	1人	17時	1人
無回答	1人	無回答	1人

(32) 長期休暇中に幼稚園をたまに利用したい理由

問20で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

長期休暇中に幼稚園をたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が2人となっています。

長期休暇中に幼稚園をたまに利用したい理由【複数回答】

月に数回仕事が入るため	2人
-------------	----

8 病気の際の対応について

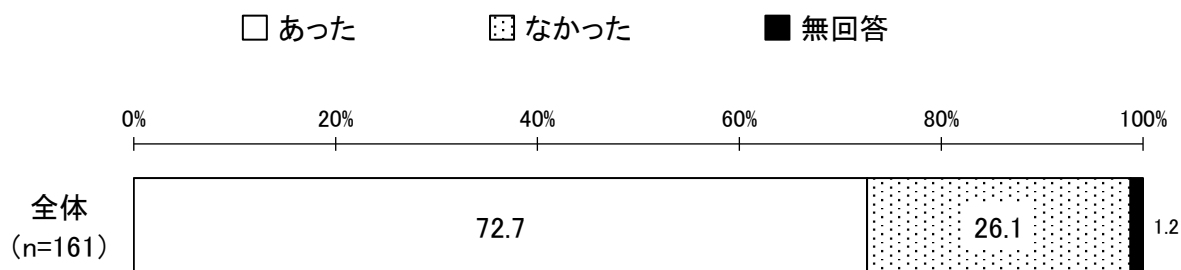
こちらの項目は、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「利用している」に○をつけた方）にのみうかがいます。

(33) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

問21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が72.7%で、「なかった」(26.1%)の割合を大きく上回ります。

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

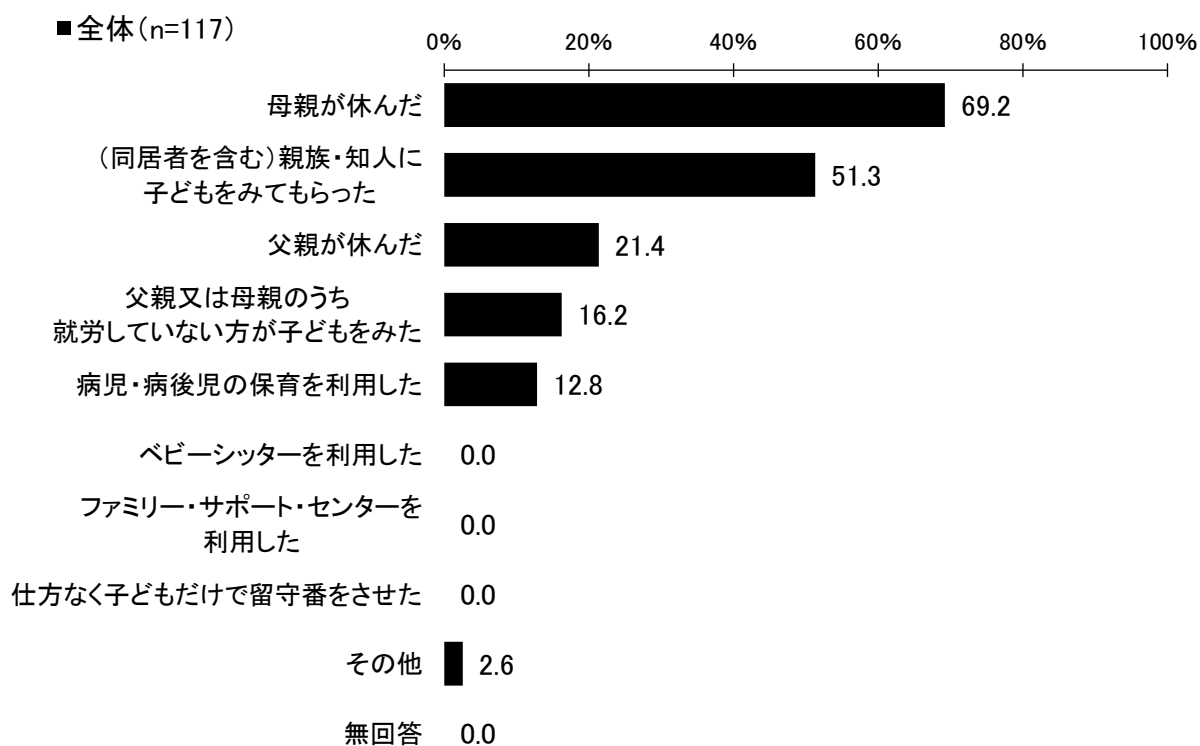


(34) 子どもが病気の際の対処方法

問21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。【複数回答】

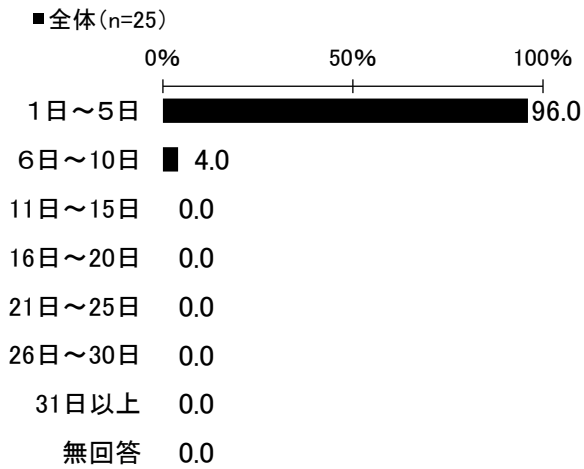
子どもが病気の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が69.2%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(51.3%)が続き、以下「父親が休んだ」(21.4%)の順となっています。

子どもが病気の際の対処方法【複数回答】

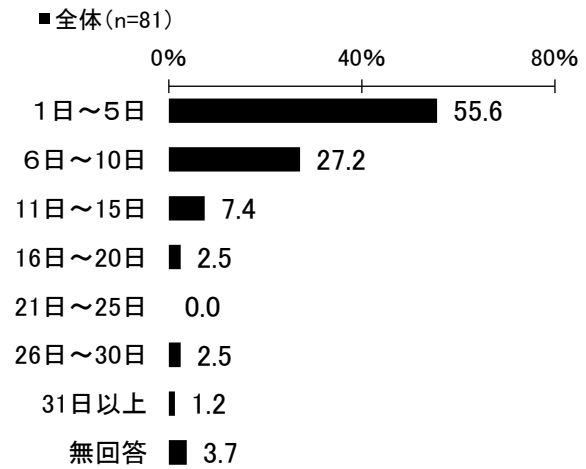


①対処した日数

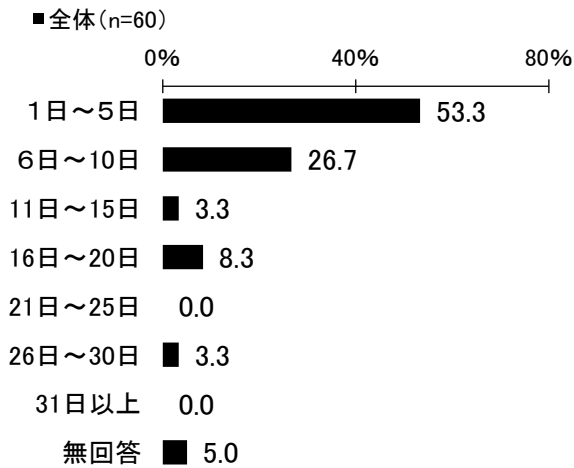
1. 父親が休んだ



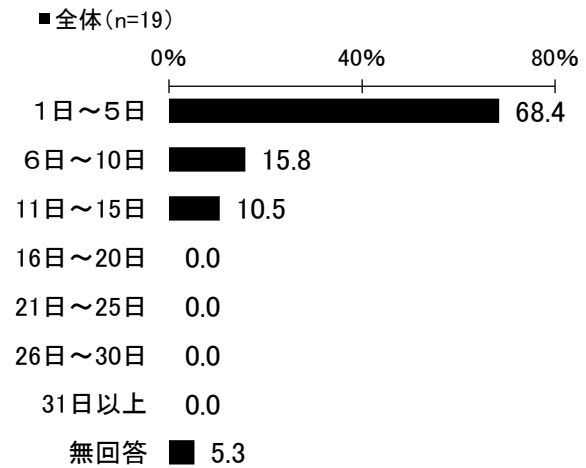
2. 母親が休んだ



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもみてもらった



4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた



5. 病児・病後児の保育を利用した

1日～5日 13人
無回答 2人

6. ベビーシッターを利用した

該当者なし

7. ファミリー・サポート・センターを利用した

該当者なし

8. 仕方なく子どもだけで留守番させた

該当者なし

9. その他

1日～5日 1人
6日～10日 2人

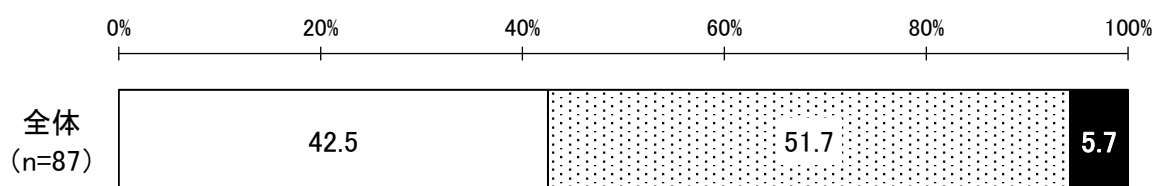
(35) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問21-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

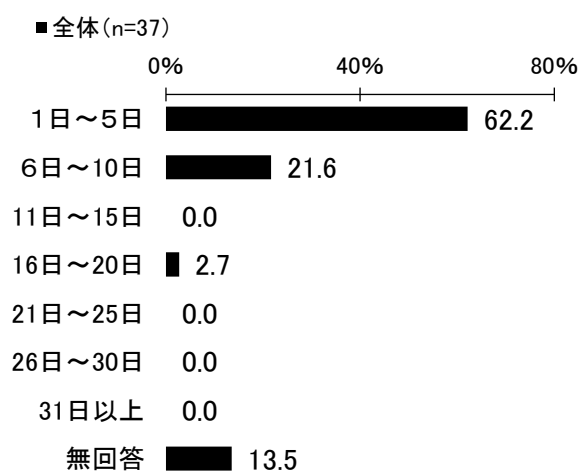
父親や母親が休んだときの病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」の割合が51.7%で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(42.5%)の割合を上回ります。

病児・病後児保育施設等の利用希望

□ できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ▨ 利用したいとは思わない ■ 無回答



① できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数



(36) 病児・病後児保育施設等を利用しない理由

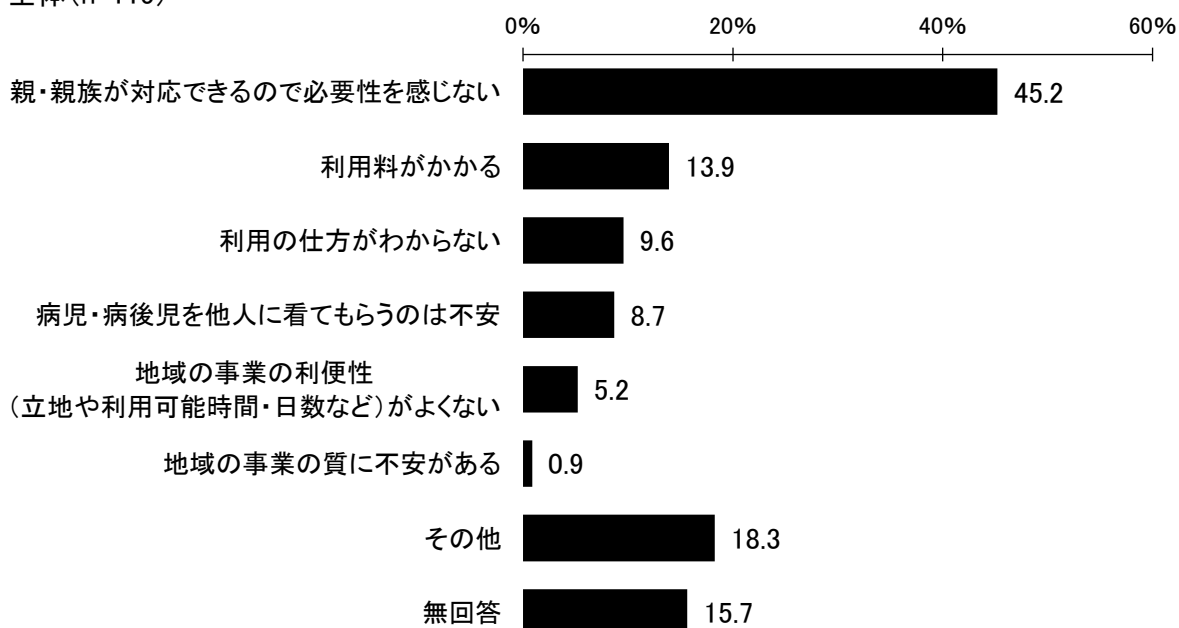
問21-1で「病児・病後児の保育を利用した」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問21-3 「病児・病後児のための保育施設等」を利用しない理由はなんですか。【複数回答】

「病児・病後児保育施設等」を利用しない理由については、「親・親族が対応できるので必要性を感じない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる」(13.9%)が続き、以下「利用の仕方がわからない」(9.6%)の順となっています。

病児・病後児保育施設等を利用しない理由【複数回答】

■全体(n=115)

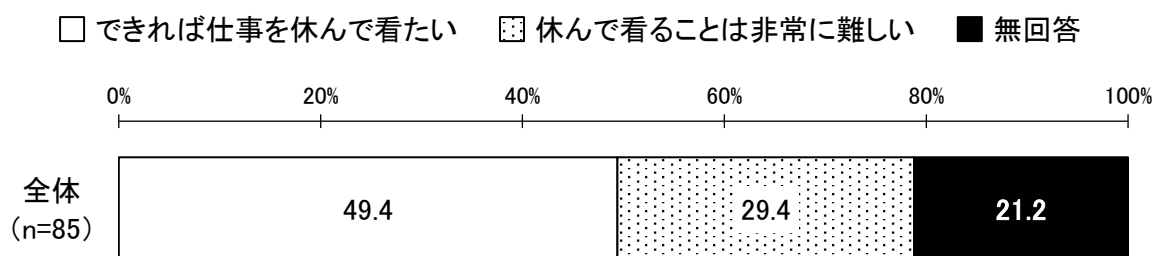


(37) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

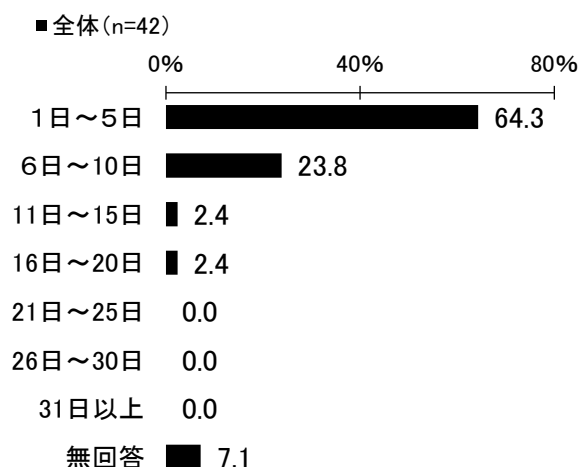
問21-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問21-4 その際、「できれば父母のいずれかが休んで看たい」と思われましたか。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が49.4%で、「休んで看ることは非常に難しい」(29.4%)の割合を上回ります。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか



①仕事を休んで見たかった日数



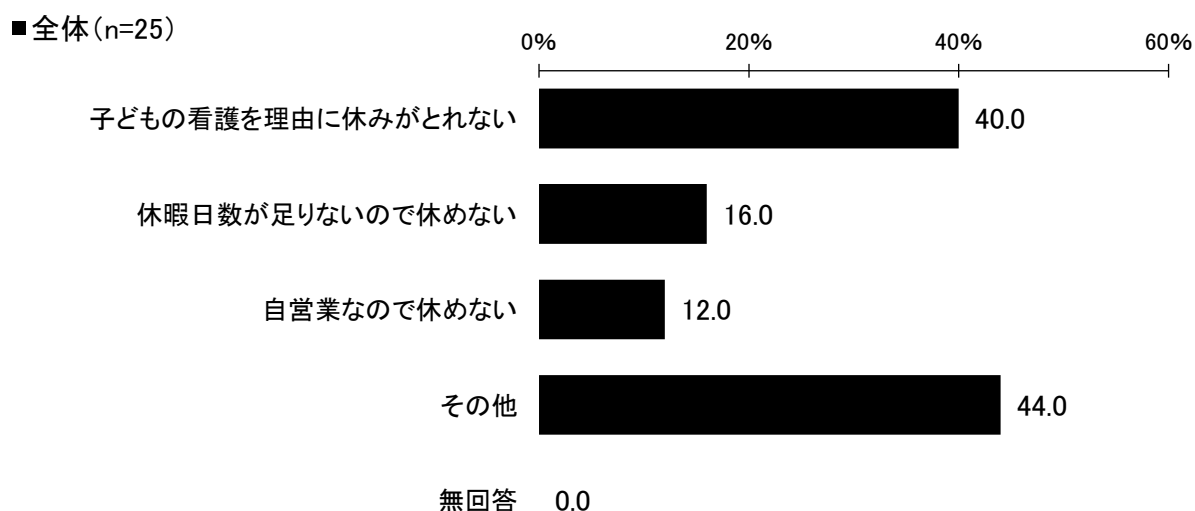
(38) 父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由

問21-4で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-5 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が40.0%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(16.0%)が続き、以下「自営業なので休めない」(12.0%)の順となっています。また、「その他」が44.0%となっています。

父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由【複数回答】



9 不定期の事業・宿泊を伴う一時保育の利用について

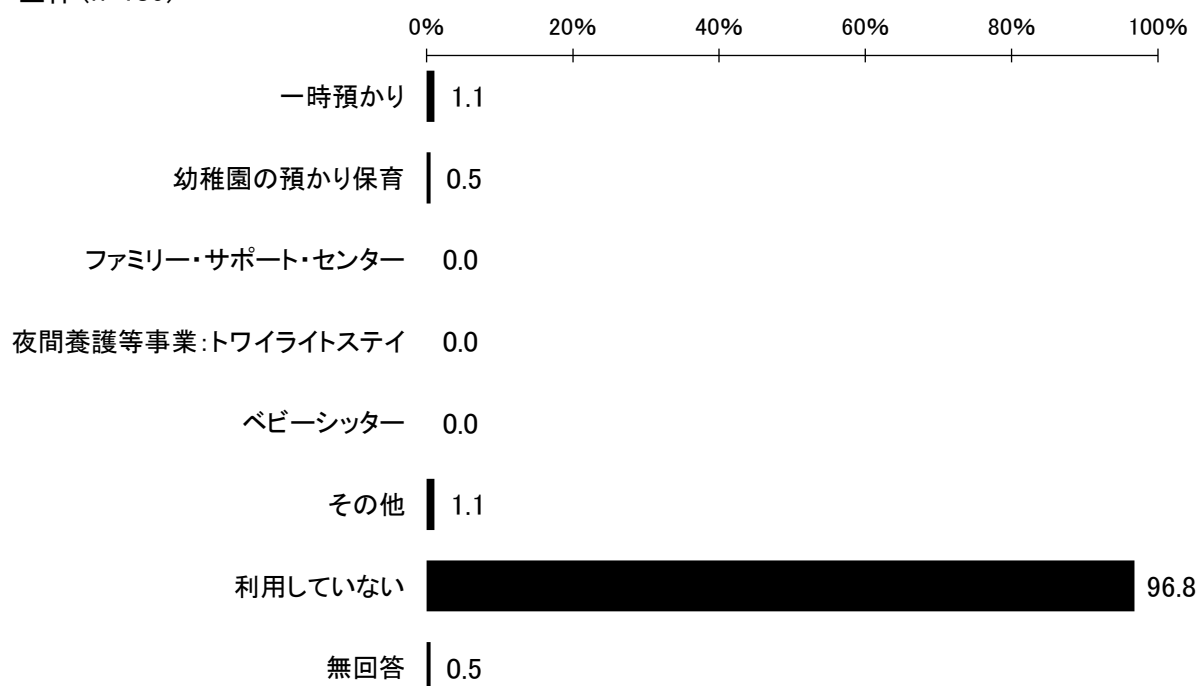
(39) 不定期的な教育・保育事業の利用状況

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。【複数回答】

不定期的な教育・保育事業の利用状況について、利用している事業では「一時保育」と「その他」の割合が同率で1.1%となっています。なお、「利用していない」は96.8%でした。

不定期的な教育・保育事業の利用状況【複数回答】

■全体(n=186)



① 1年間の利用日数

1. 一時預かり

6日～10日 2人

2. 幼稚園の預かり保育

1日～5日 1人

3. ファミリー・サポート・センター

4. 夜間養護等事業（トワイライトステイ）

5. ベビーシッター

7. その他

6日～10日 2人

該当者なし

(40) 不定期的な教育・保育事業を利用しない理由

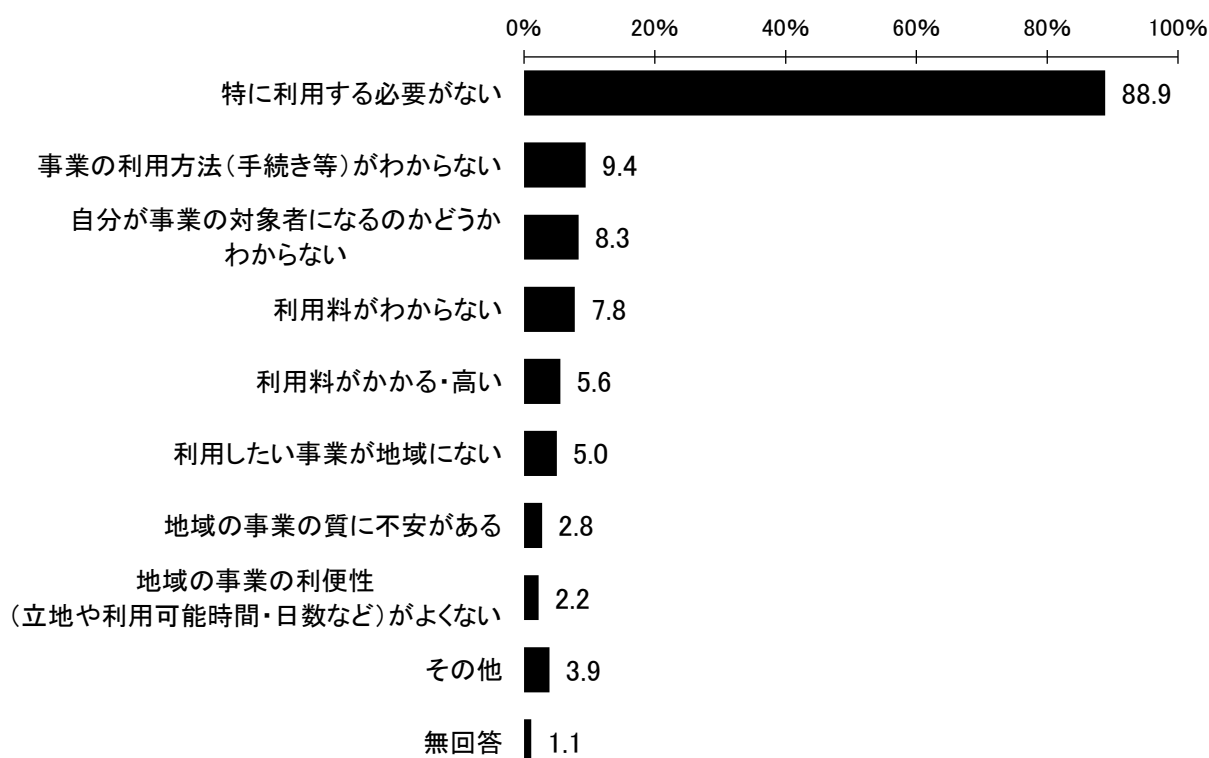
問22で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 現在利用していない理由はなんですか。【複数回答】

不定期的な教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が88.9%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（9.4%）が続き、以下「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」（8.3%）の順となっています。

不定期的な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】

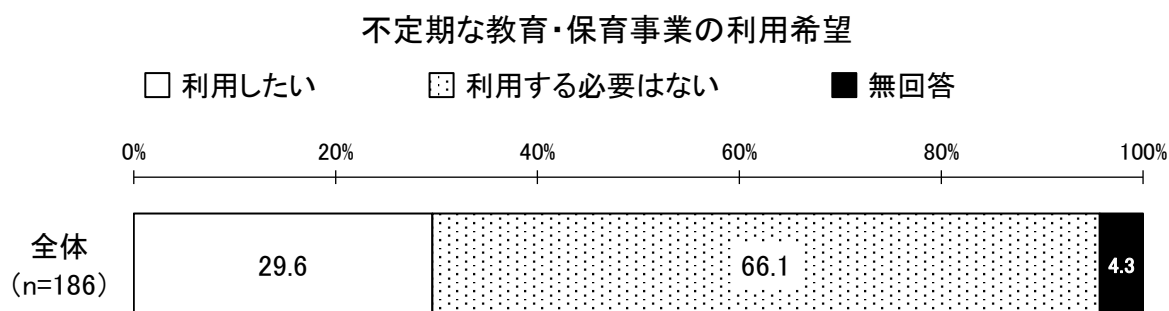
■全体(n=180)



(41) 不定期な教育・保育事業の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

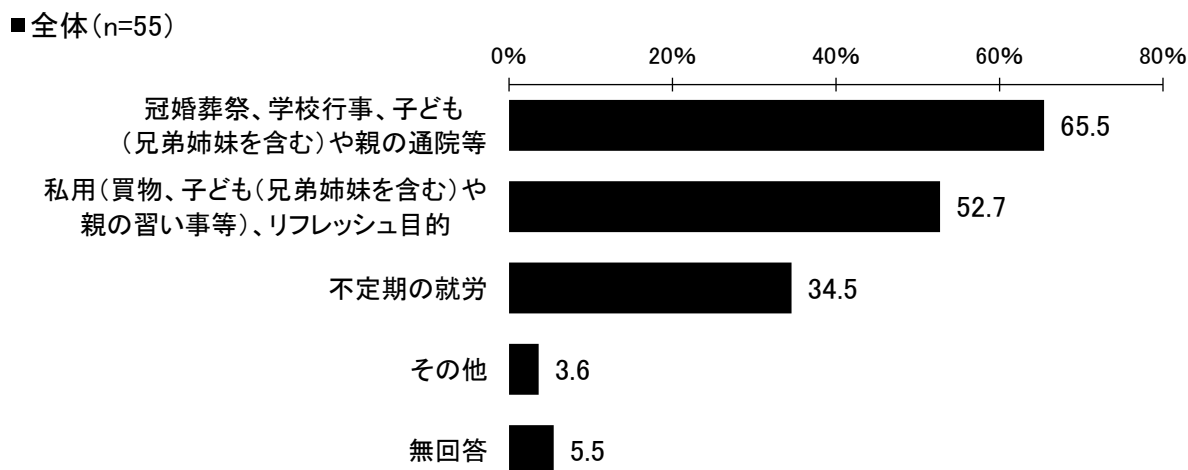
不定期な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が66.1%で、「利用したい」(29.6%)の割合を上回ります。



①利用したい目的

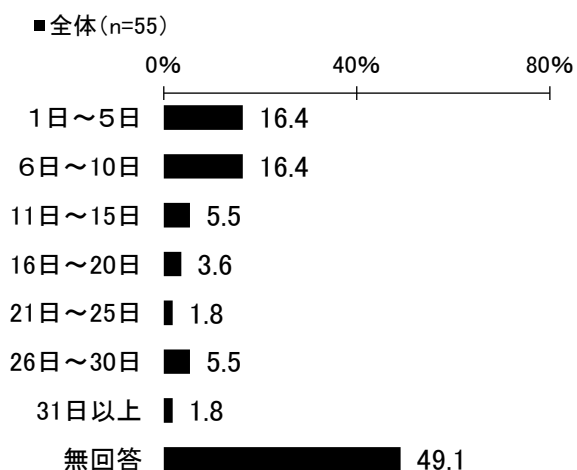
利用したい目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が65.5%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」(52.7%)が続き、以下「不定期の就労」(34.5%)の順となっています。

不定期な教育・保育事業を利用したい目的【複数回答】

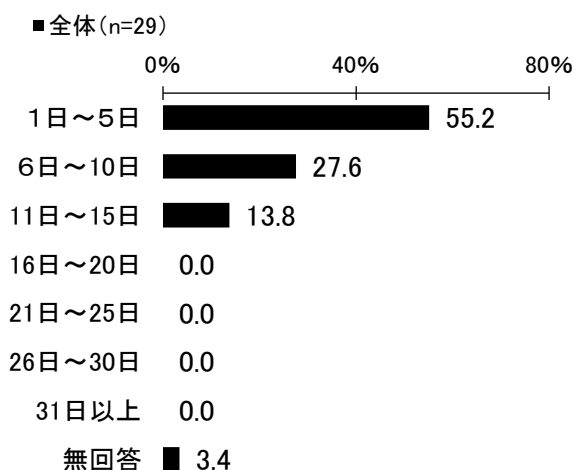


②利用希望の日数

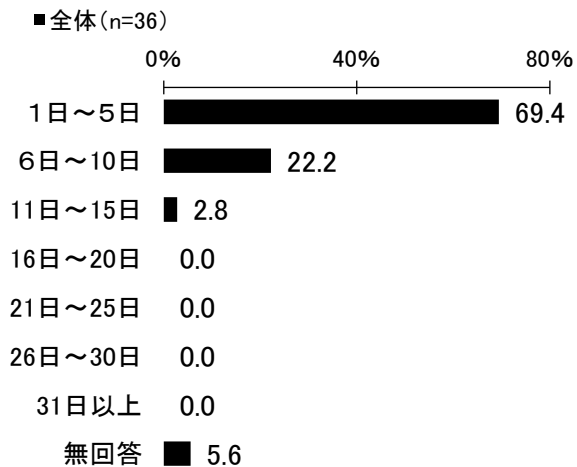
全体



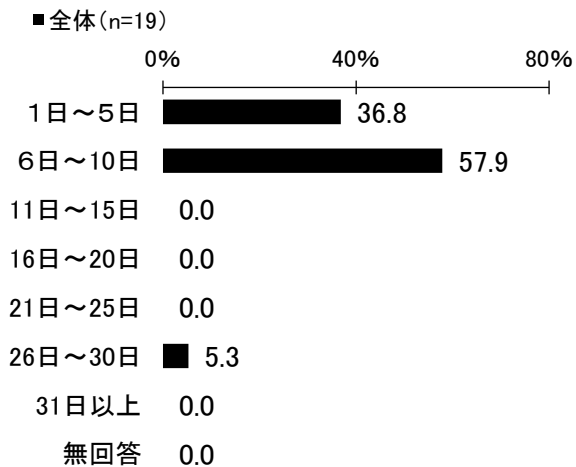
ア. 私用、リフレッシュ目的



イ. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院



ウ. 不定期の就労



エ. その他

1日～5日 1人
6日～10日 1人

(42) 不定期的な教育・保育事業の望ましい事業形態

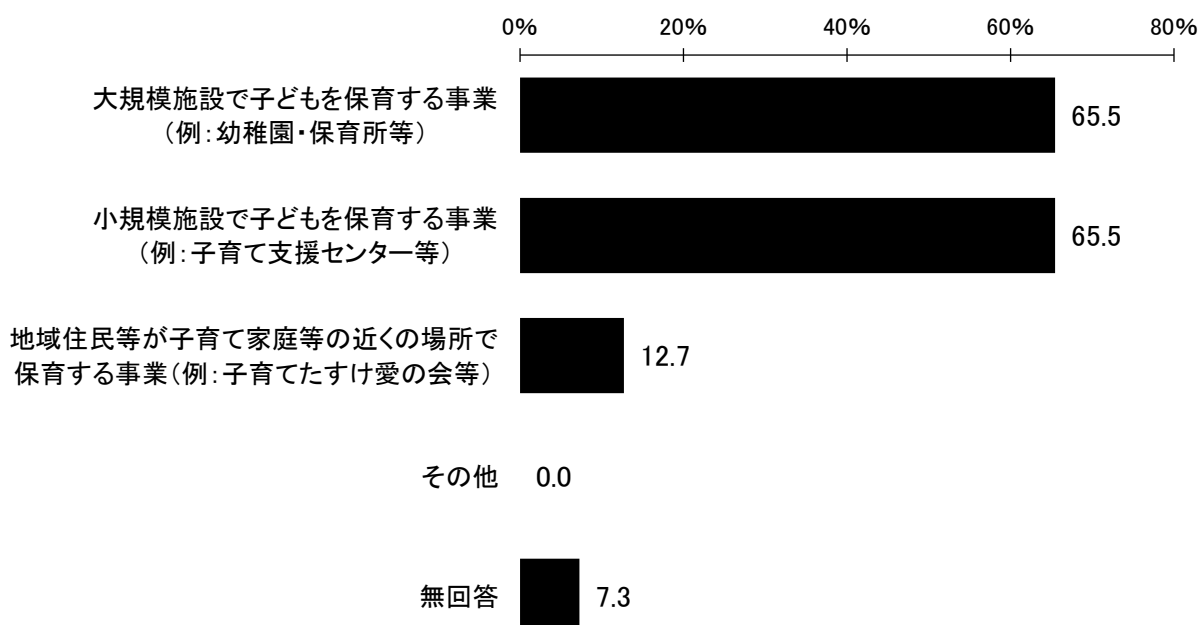
問23で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

私用や冠婚葬祭等の理由でお子さんを預ける場合に望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」と「小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等）」の割合が同率65.5%で最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：子育てたすけ愛の会等）」（12.7%）の順となっています。

不定期的な教育・保育事業の望ましい事業形態【複数回答】

■全体(n=55)

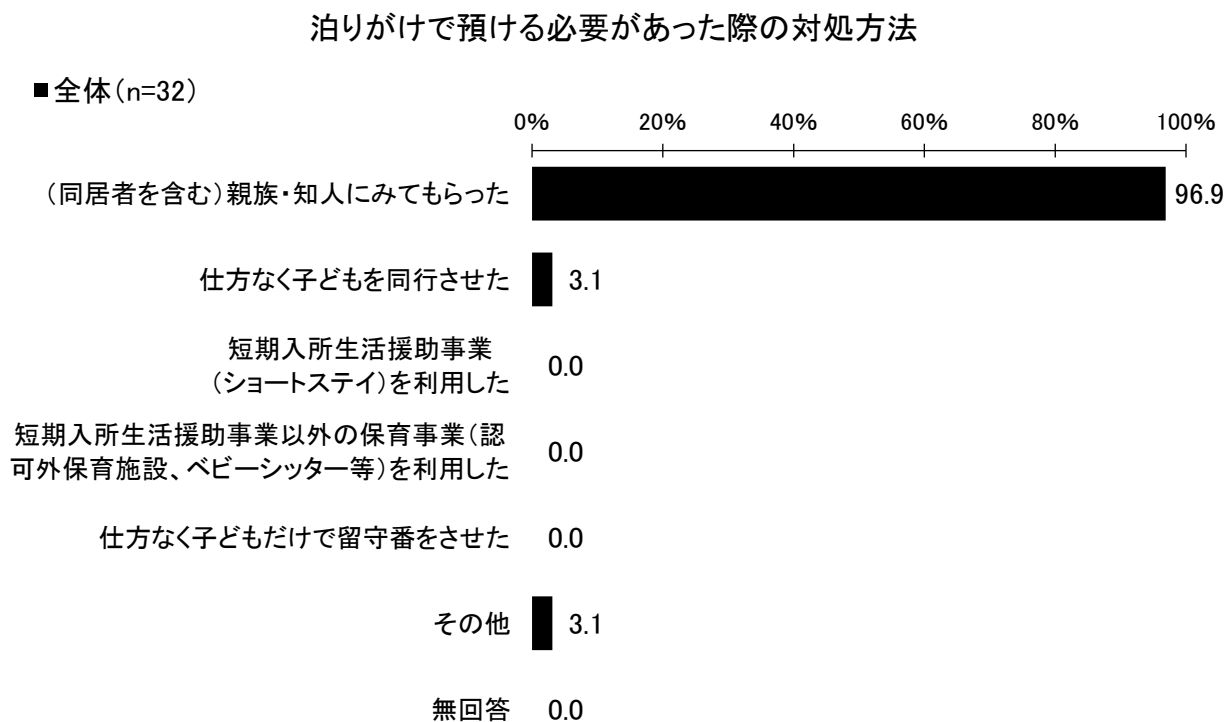
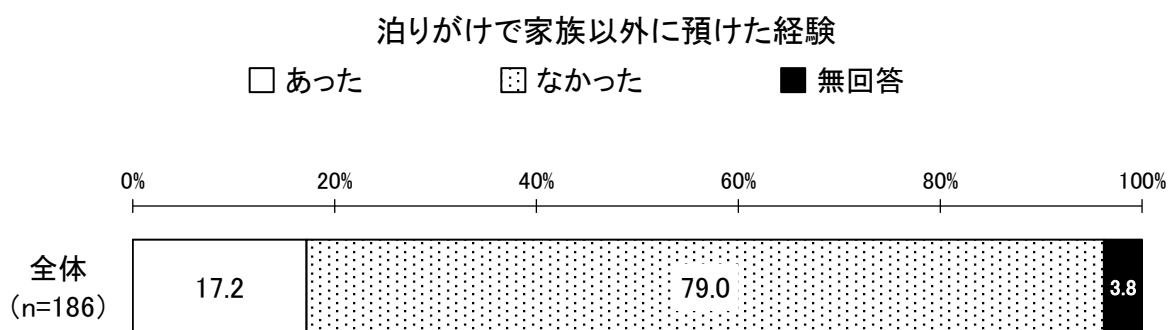


(43) 泊りがけで家族以外に預けた経験

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。

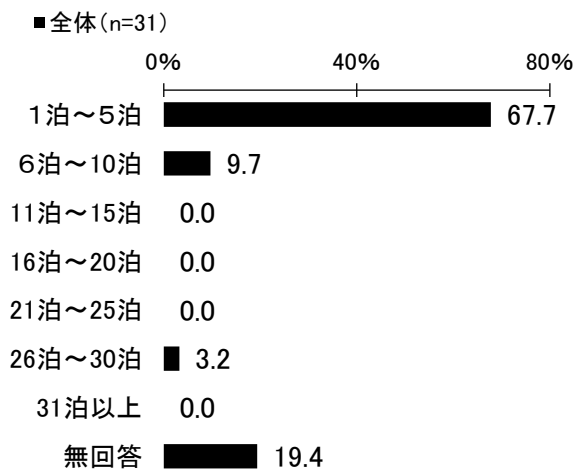
泊りがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が17.2%、「なかった」が79.0%となっています。

泊りがけで預ける必要があった際の対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が96.9%で最も高く、他を大きく引き離します。



①対応した日数

ア. 親族・知人に預けた



エ. 仕方なく子どもを同行させた

1泊～5泊 1人

イ. ショートステイ事業を利用した

ウ. ショートステイ以外の保育事業を利用した

該当者なし

オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた

該当者なし

カ. その他

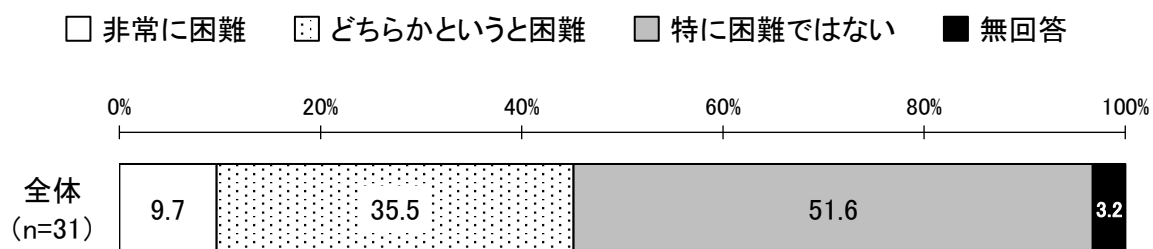
31泊以上 1人

(44) 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度

問24で「あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
問24-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度については、「特に困難ではない」の割合が51.6%で最も高く、次いで「どちらかという困難」(35.5%)が続き、以下「非常に困難」(9.7%)の順となっています。「どちらかという困難」と「非常に困難」を合わせると45.2%になります。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度



10 5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方について

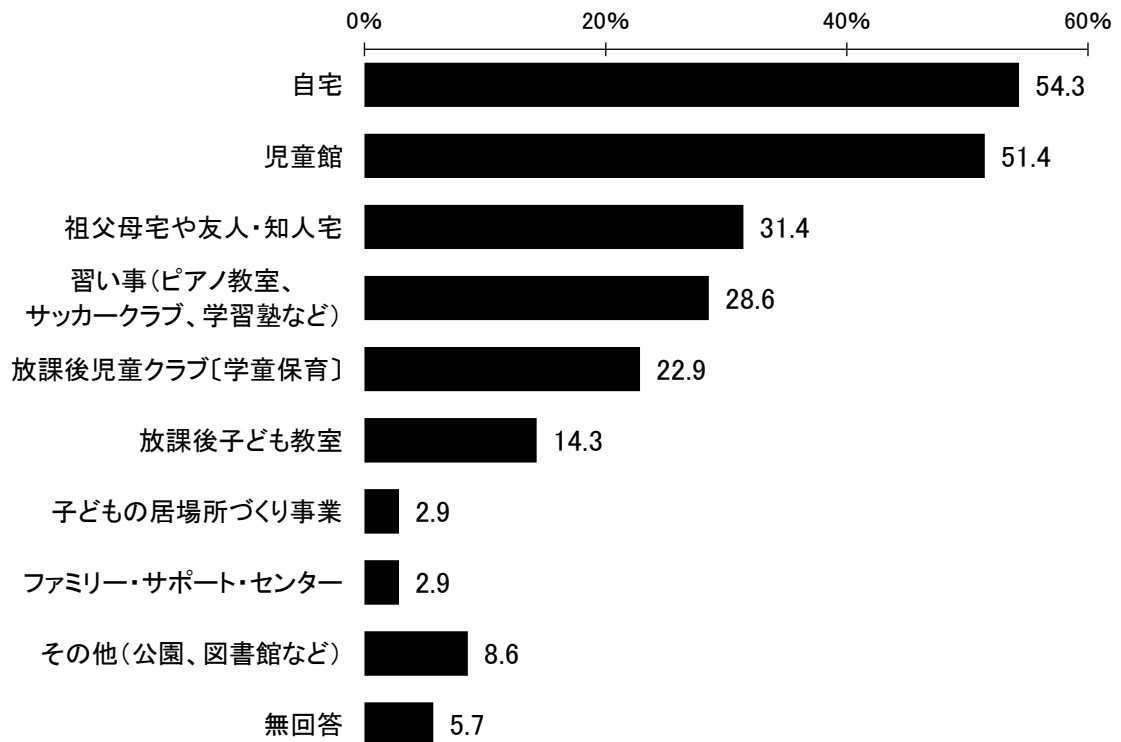
(45) 小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

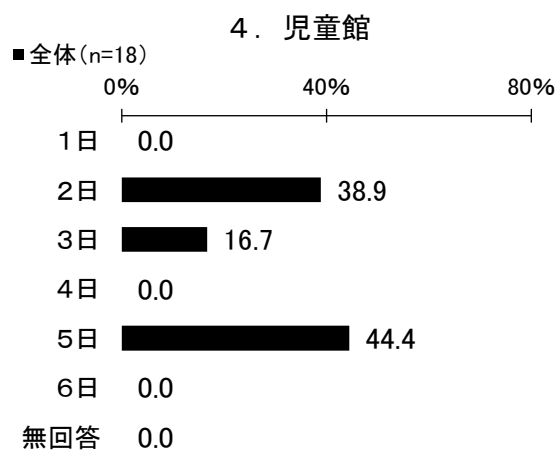
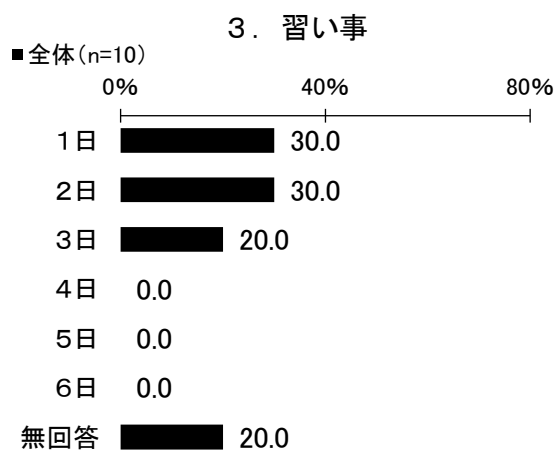
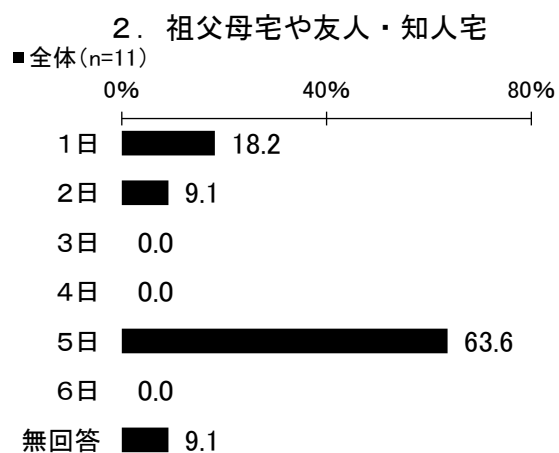
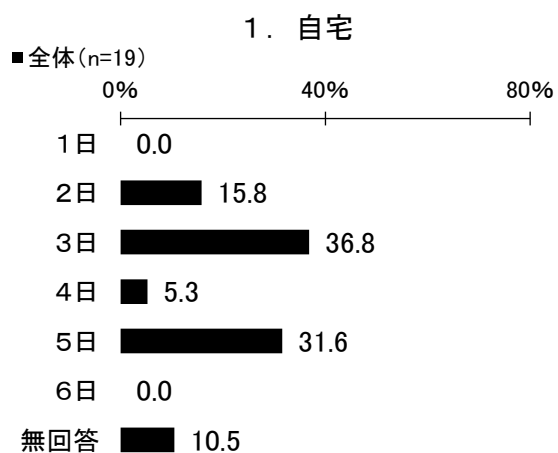
小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が54.3%で最も高く、次いで「児童館」(51.4%)が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」(31.4%)の順となっています。

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所【複数回答】

■全体(n=35)



① 1週間で利用する日数



5. 放課後子ども教室

1日 3人
2日 1人
3日 1人

6. 放課後児童クラブ

1日 1人
2日 1人
3日 2人
4日 2人
5日 2人

7. 子どもの居場所づくり事業

3日 1人

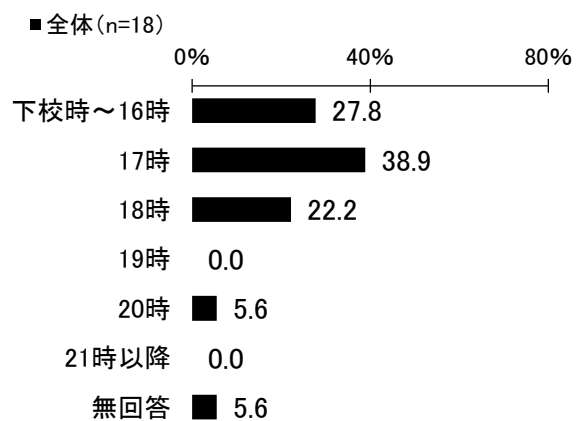
8. ファミリー・サポート・センター

3日 1人

9. その他

1日 1人
3日 1人
5日 1人

②児童館の終了希望時刻



③放課後児童クラブの終了希望時刻

下校時～16時	2人
17時	3人
18時	2人
20時	1人

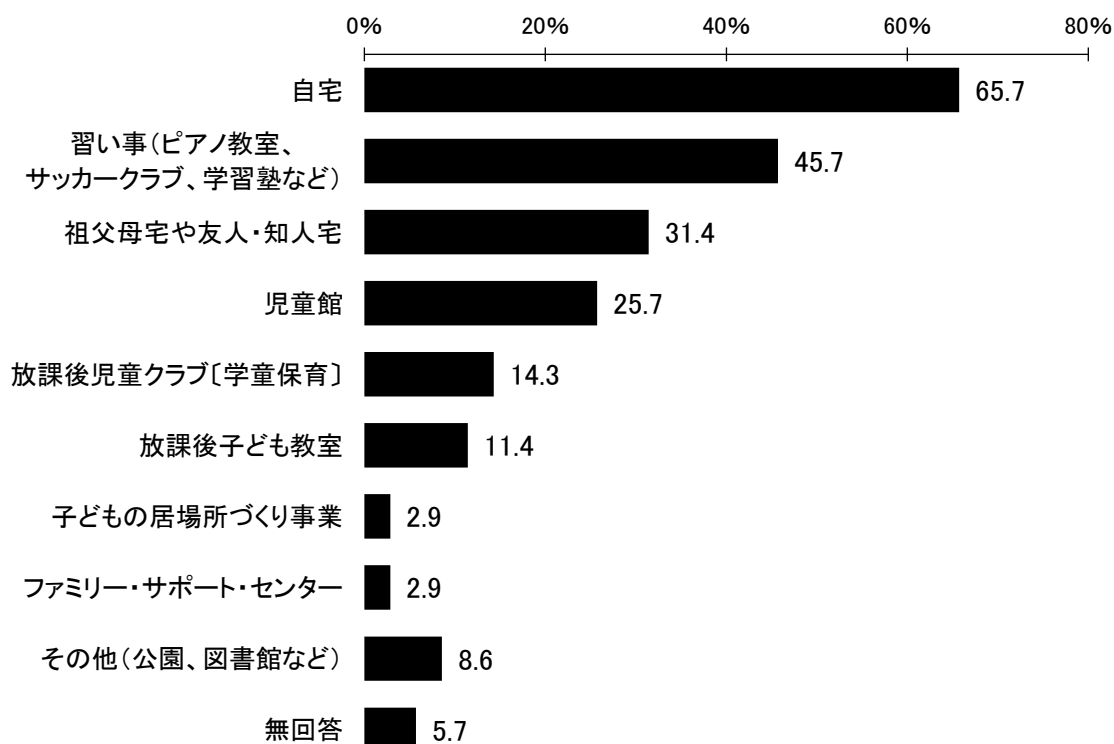
(46) 小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所

問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

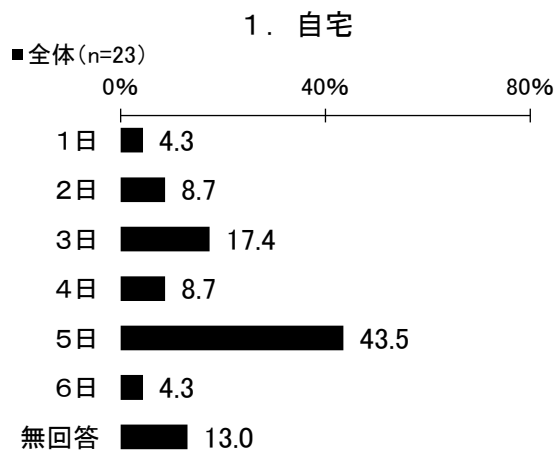
小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が65.7%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（45.7%）が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」（31.4%）の順となっています。

小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所【複数回答】

■全体(n=35)

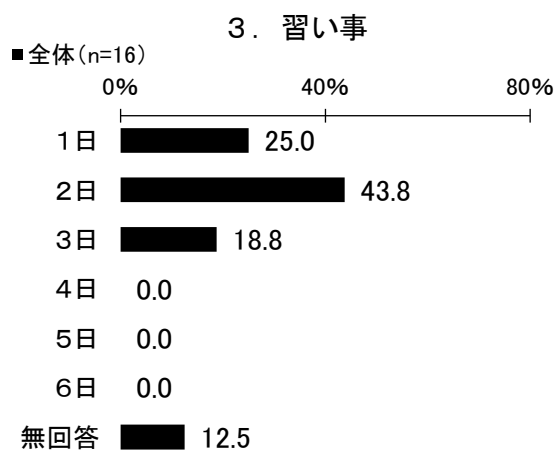


① 1週間で利用したい日数



2. 祖父母宅や友人・知人宅

1日 1人
 2日 4人
 5日 6人



4. 児童館

1日 1人
 2日 1人
 3日 2人
 5日 4人
 無回答 1人

5. 放課後子ども教室

1日 2人
 2日 1人
 3日 1人

6. 放課後児童クラブ

2日 2人
 3日 1人
 4日 1人
 5日 1人

7. 子どもの居場所づくり事業

3日 1人

8. ファミリー・サポート・センター

3日 1人

9. その他

1日 1人
 3日 1人
 無回答 1人

②児童館の終了希望時刻

下校時～16時	3人
17時	3人
18時	3人

③放課後児童クラブの終了希望時刻

下校時～16時	1人
17時	2人
18時	2人

(47) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望

問25または問26で「放課後児童クラブ [学童保育]」に○をつけた方にうかがいます。

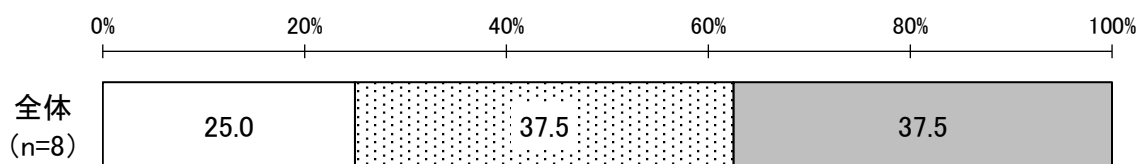
問27 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日

土曜日の放課後児童クラブ利用希望については、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と「利用を希望しない」の割合が同率37.5%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（25.0%）の順となっています。

土曜日の放課後児童クラブ利用希望

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
 高学年(4～6年生)になっても利用したい
 利用を希望しない
 無回答



◆利用したい時間帯

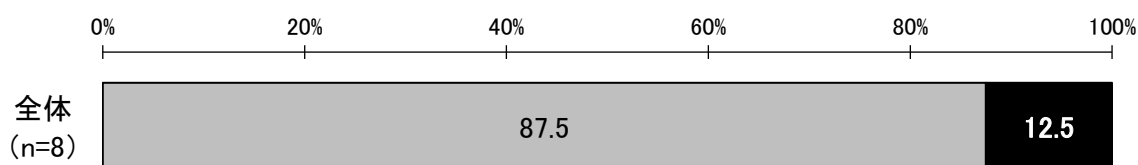
開始時刻		終了時刻	
7時	1人	16時	2人
8時	2人	18時	2人
9時	1人	無回答	1人
無回答	1人		

②日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望については、「利用を希望しない」の割合が87.5%で最も高くなっています。

日曜・祝日の放課後児童クラブ利用希望

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい 高学年(4～6年生)になっても利用したい
 利用を希望しない 無回答



◆利用したい時間帯…該当者なし

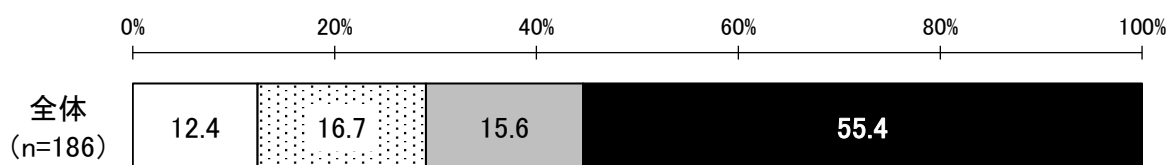
(48) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

問28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

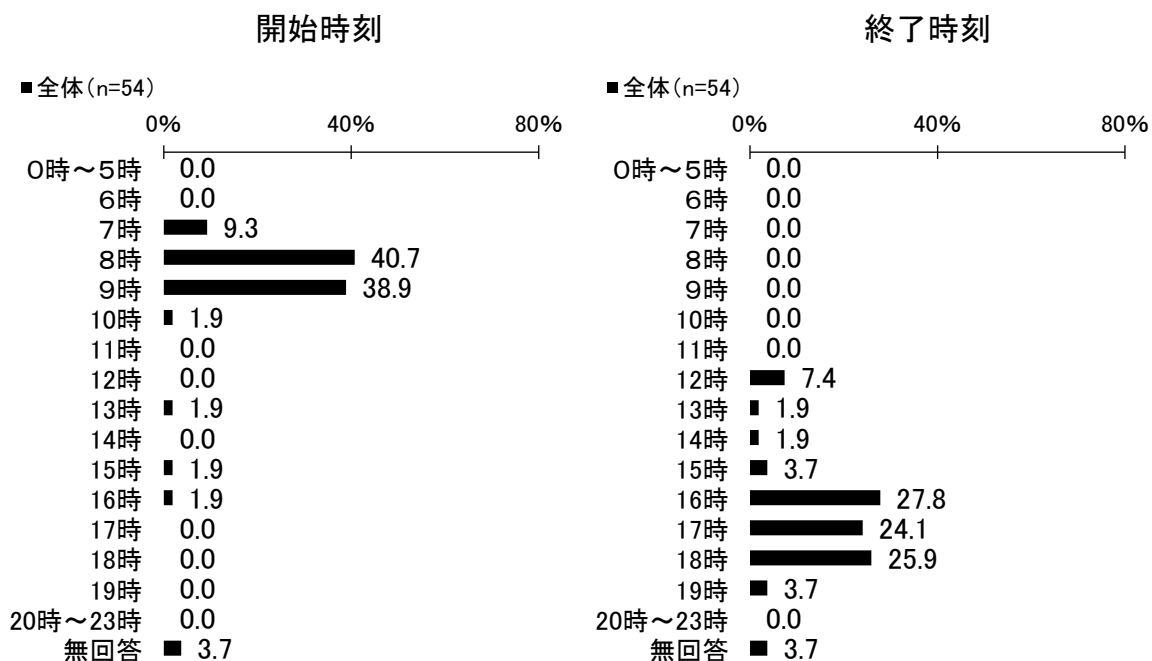
長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望については、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が16.7%で最も高く、次いで「利用を希望しない」（15.6%）が続き、以下「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（12.4%）の順となっています。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい 高学年(4～6年生)になっても利用したい
 利用を希望しない 無回答



①利用したい時間帯



11 職場の両立支援制度について

(49) 父母の育児休業の取得状況

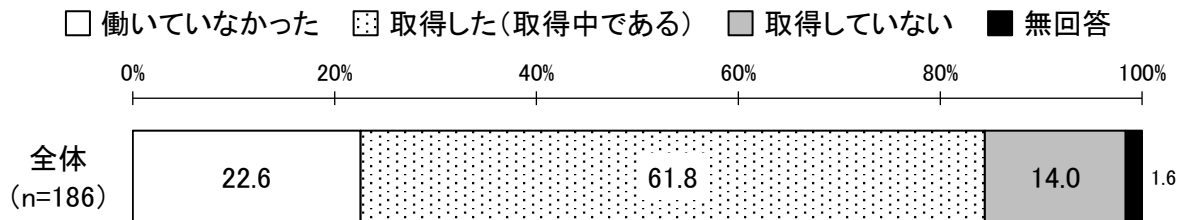
問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

①母親

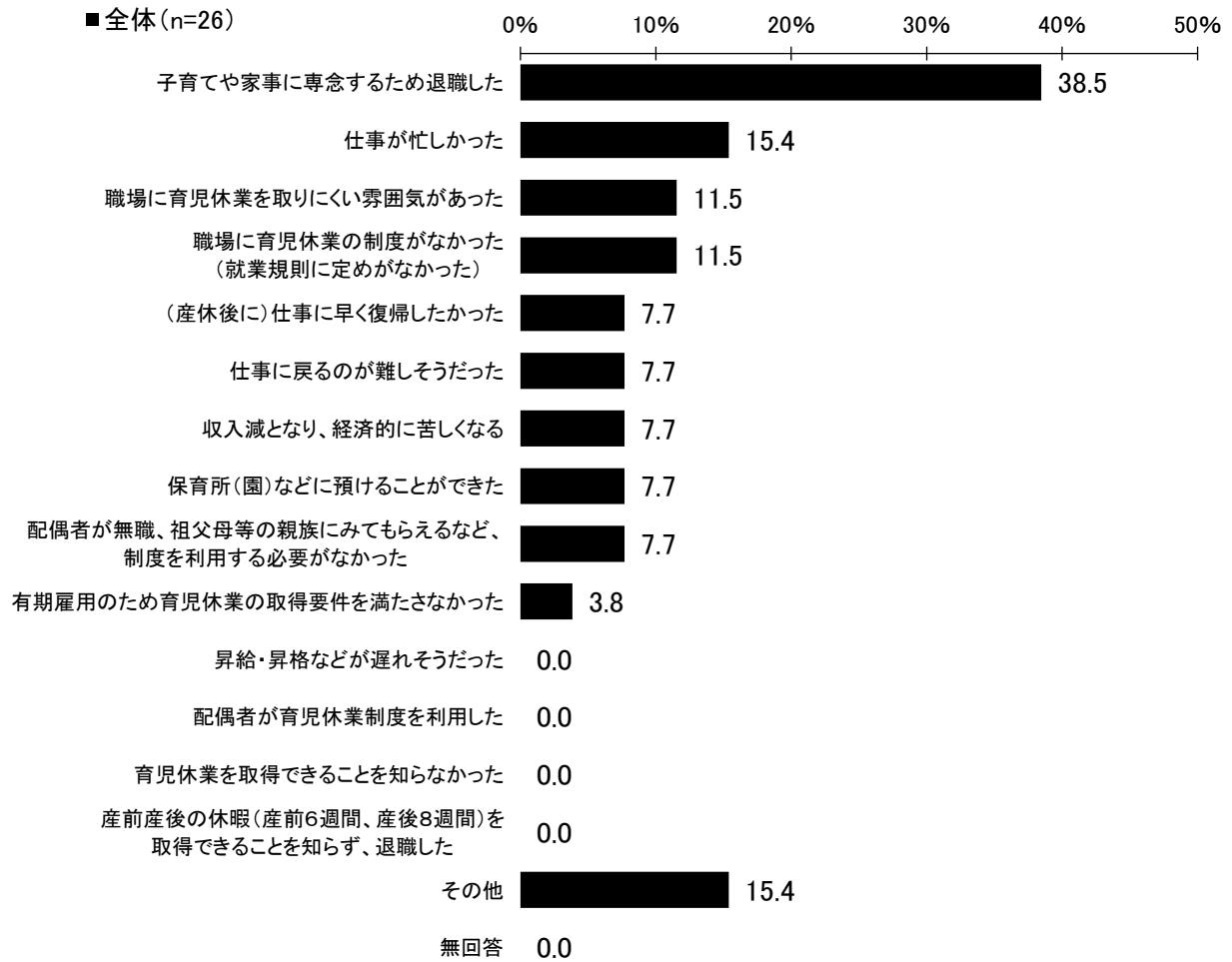
母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」の割合が61.8%で最も高く、次いで「働いていなかった」（22.6%）が続き、以下「取得していない」（14.0%）の順となっています。

育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が38.5%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（15.4%）が続き、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（11.5%）の順となっています。

母親の育児休業の取得状況



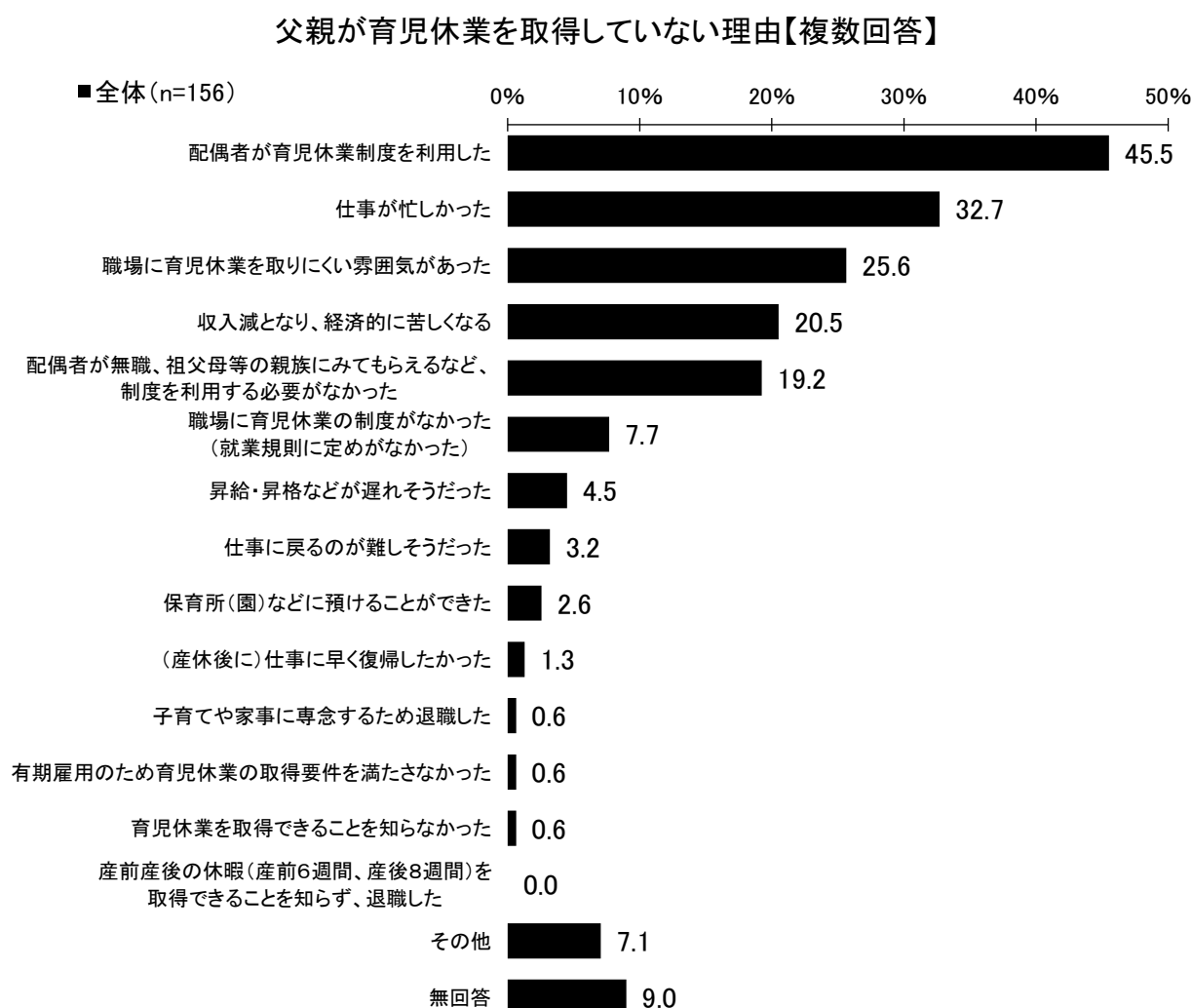
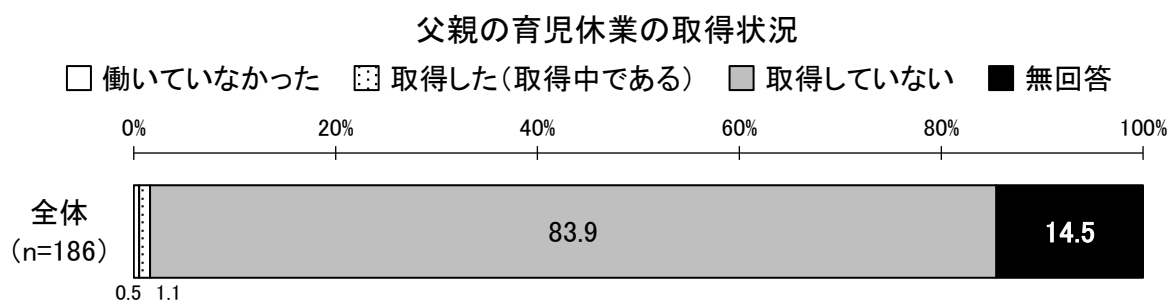
母親が育児休業を取得していない理由【複数回答】



②父親

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が83.9%で最も高く、8割を占めます。次いで「取得した（取得中である）」（1.1%）となっています。

育児休業を取得していない理由については、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が45.5%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（32.7%）が続き、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（25.6%）の順となっています。



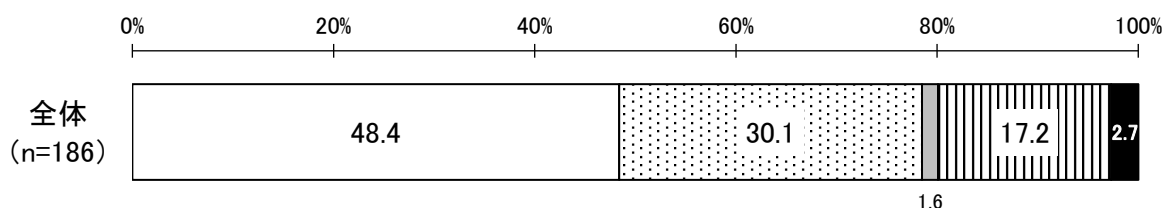
(50) 育児休業給付金の支給や保険料免除の認知

問29-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付金の支給や保険料免除の認知については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が48.4%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（30.1%）が続き、以下「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（17.2%）の順となっています。

育児休業給付金の支給や保険料免除の認知

- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
- 無回答



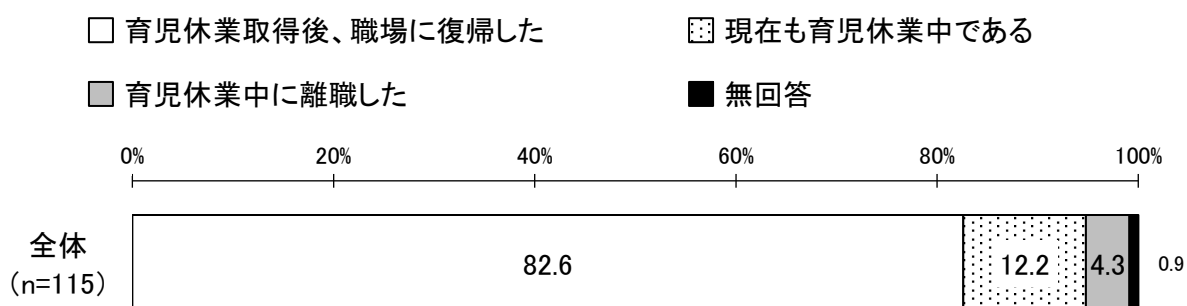
(51) 育児休業取得後の職場復帰状況

問29で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
 問29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が82.6%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」（12.2%）が続き、以下「育児休業中に離職した」（4.3%）の順となっています。

育児休業取得後の職場復帰状況

①母親



②父親

育児休業取得後、職場に復帰した	1人
無回答	1人

(52) 育児休業から職場復帰したタイミング

問29-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

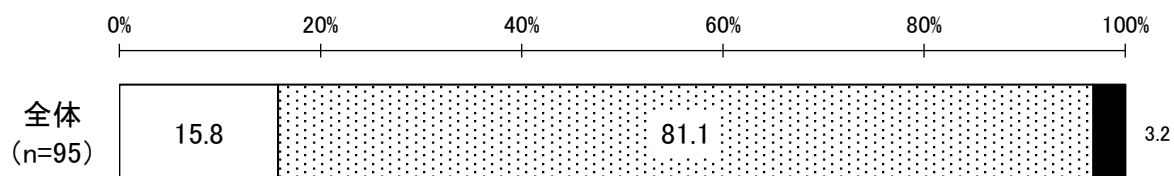
問29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親の育児休業から職場復帰したタイミングについては、「それ以外だった」の割合が81.1%で最も高く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(15.8%)を大きく上回ります。

育児休業から職場復帰したタイミング

①母親

□ 年度初めの入所に合わせたタイミングだった ▨ それ以外だった ■ 無回答



②父親

それ以外だった	1人
---------	----

(53) 職場復帰をした時期と希望していた職場復帰の時期

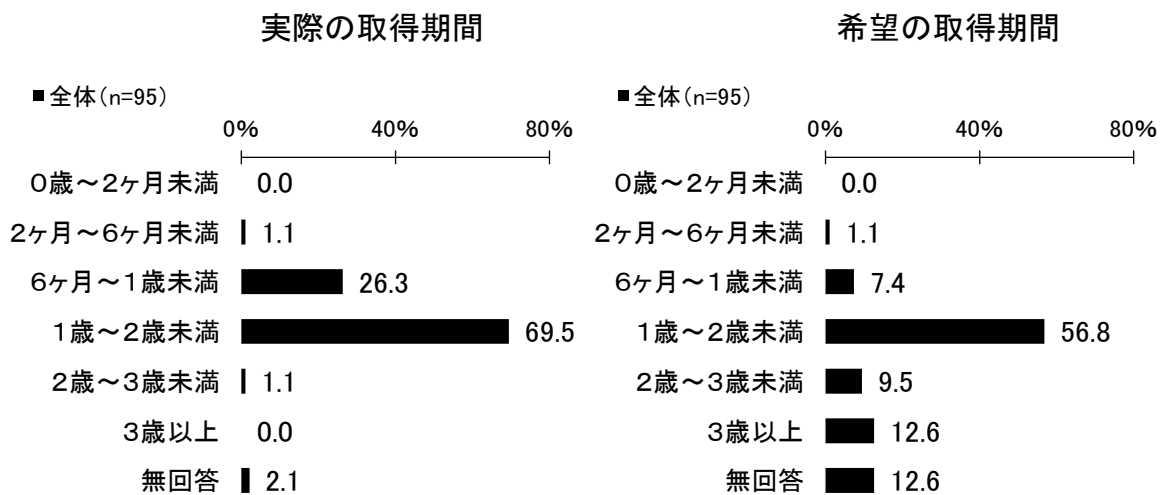
問29-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親の職場復帰した時期については、子どもが「1歳～2歳未満」の割合が69.5%で最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」(26.3%)となっています。

母親の育児休業の希望取得期間については、子どもが「1歳～2歳未満」の割合が56.8%で最も高く、次いで「3歳以上」(12.6%)が続き、以下「2歳～3歳未満」(9.5%)の順となっています。

職場復帰をした時期と希望していた職場復帰の時期

①母親



②父親

実際の取得期間		希望の取得期間	
0歳～2ヶ月未満	1人	無回答	1人

(54) 職場の制度内における育児休業取得の希望時期

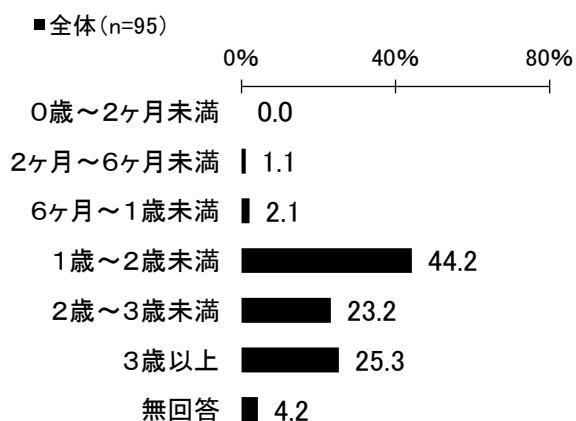
問29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

職場に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の母親の希望の時期は、「1歳～2歳未満」の割合が44.2%と最も高く、次いで「3歳以上」(25.3%)が続き、以下「2歳～3歳未満」(23.2%)の順となっています。

職場の制度内における育児休業取得の希望時期

①母親

②父親



無回答	1人
-----	----

(55) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問29-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

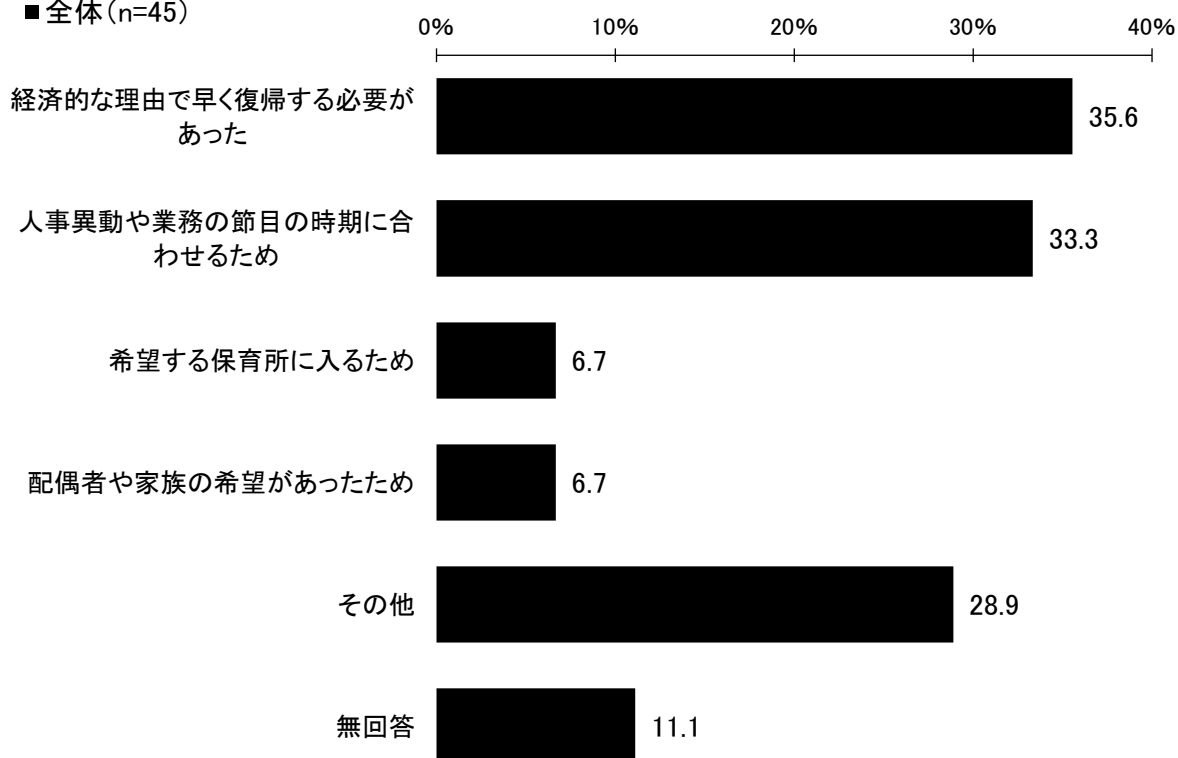
問29-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

母親で希望より早く復帰した方の理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が35.6%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(33.3%)が続き、以下「希望する保育所に入るため」と「配偶者や家族の希望があったため」(同率6.7%)の順となっています。

①母親

◆「希望」より早く職場復帰した方

■全体(n=45)



◆「希望」より遅く職場復帰した方

希望する保育所に入れなかったため	1人
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	1人
その他	1人

②父親…該当者なし

(56) 短時間勤務制度の利用状況

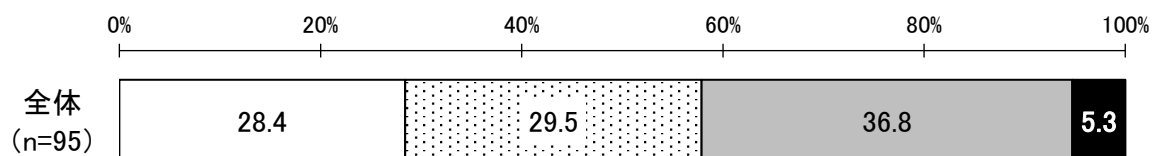
問29-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
問29-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用については、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が36.8%で最も高く、次いで「利用した」（29.5%）が続き、以下「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」（28.4%）の順となっています。

短時間勤務制度の利用状況

①母親

- 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）
- 無回答



②父親

利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1人
--	----

(57) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問29-7で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問29-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

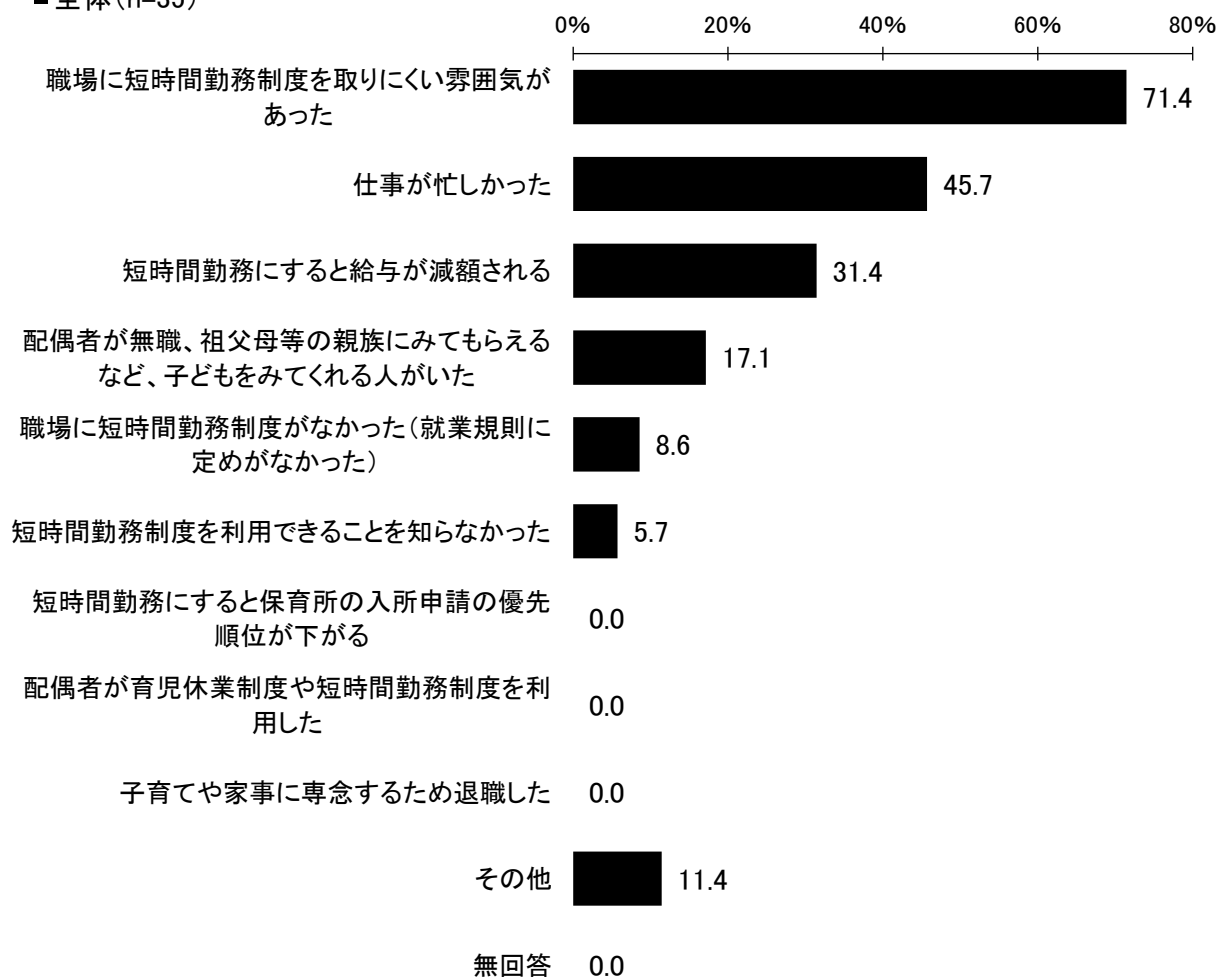
【複数回答】

母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が71.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（45.7%）が続き、以下「短時間勤務にすると給与が減額される」（31.4%）の順となっています。

短時間勤務制度を利用しなかった理由【複数回答】

①母親

■全体(n=35)



②父親…該当者なし

(58) 育児休業の取得希望

問29-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

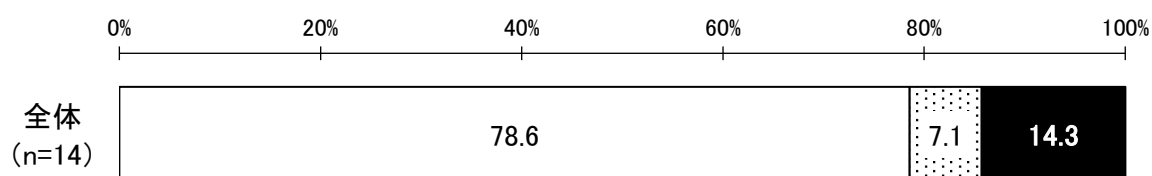
問29-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

1歳になったときに必ず預けられる事業があった場合に1歳まで育児休業を取得するかについては、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が78.6%、「1歳になる前に復帰したい」が7.1%と、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が高くなっています。

育児休業の取得希望

①母親

1歳になるまで育児休業を取得したい 1歳になる前に復帰したい 無回答



②父親…該当者なし

12 朝日町の子育て支援サービスについて

(59) 子育ての環境や支援への満足度

問30 朝日町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

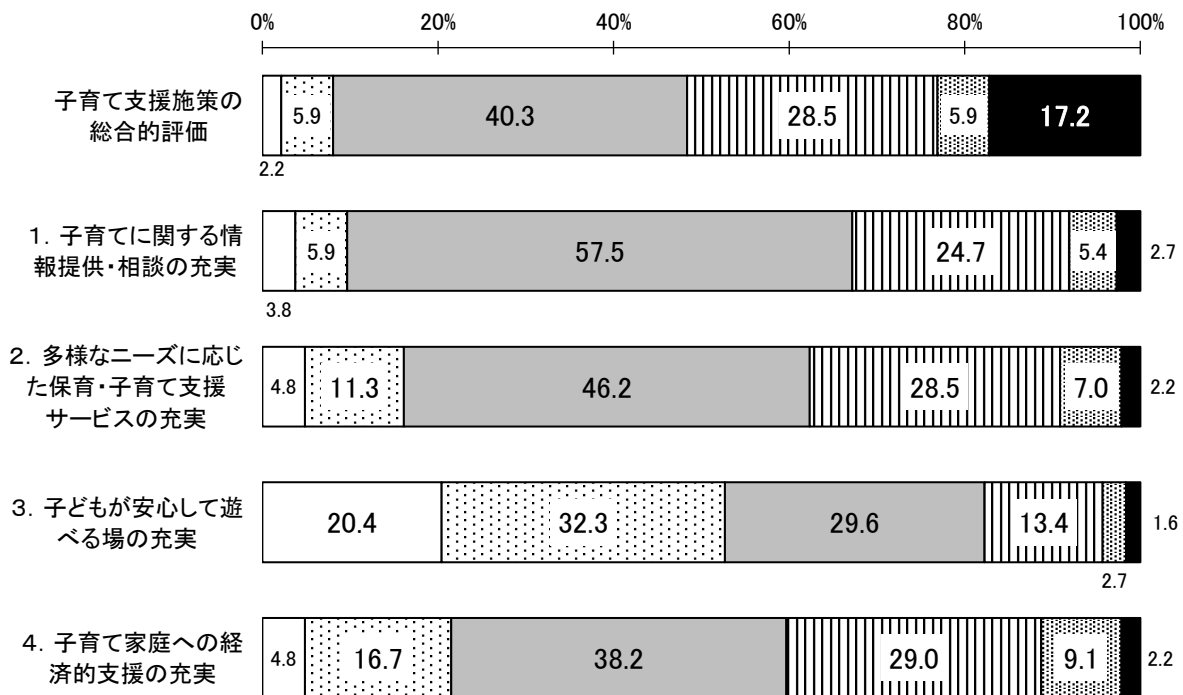
町の子育ての環境や支援への満足度について、総合的評価では「ふつう」の割合が40.3%で最も高く、次いで“満足（ほぼ満足+満足）”（34.4%）となっています。

「1.」～「4.」をみると、「3.」以外については「ふつう」の割合が最も高く、次いで“満足”が高くなっていますが、「3. 子どもが安心して遊べる場の充実」のみ“不満（不満+やや不満）”の割合が52.7%で最も高くなっています。

子育ての環境や支援への満足度

全体 (n=186)

□ 不満 ■ やや不満 ■ ふつう ▨ ほぼ満足 ▩ 満足 ■ 無回答



(60) 子育て支援事業の認知とニーズについて

問31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

認知における「知らない」では、「3. マタニティパスサポート」と「20. チャイルドシートの無料貸出」の割合が60.8%・43.5%と最も高くなっています。

ニーズにおける「利用したことはない」では、「3. マタニティパスサポート」と「14. ひとり親医療費助成」と「19. ファミリー・サポート・センター」が同率84.9%で最も高くなっています。

「今後利用したい」では、「18. 病児・病後児保育」の割合が17.7%で最も高く、次いで「保育料の軽減」(14.0%)が続き、以下「2. あさひDE子育てアプリ」(12.4%)の順となっています。

子育て支援事業の認知とニーズ

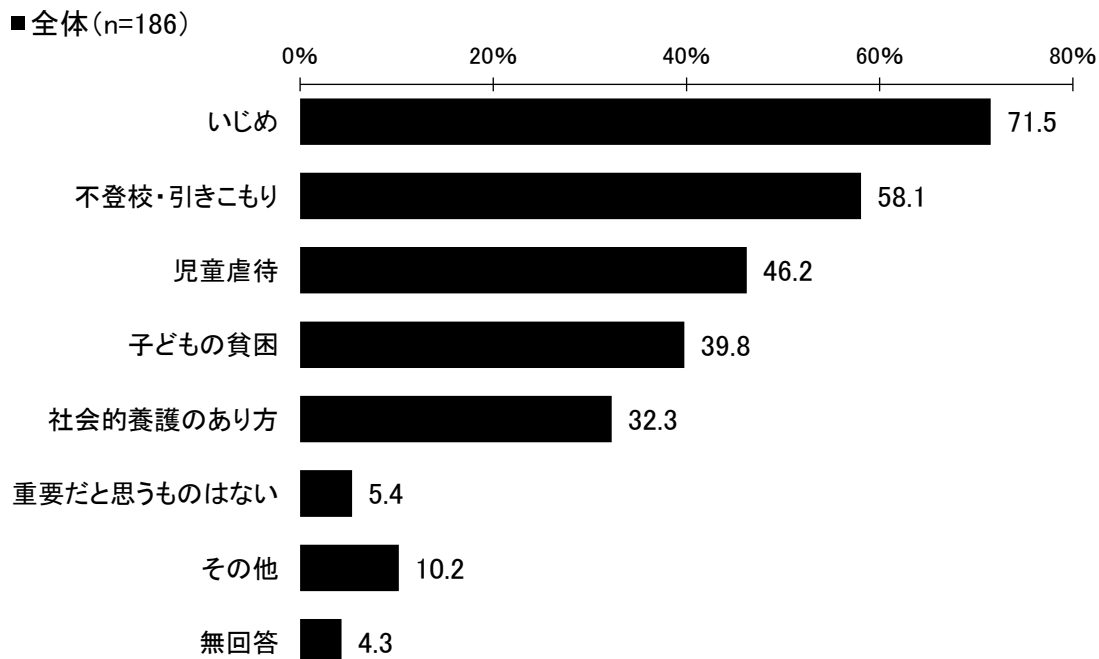
全体 (n=186)	A 認知について (%)				B ニーズについて (%)			
	知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	利用したことがある	利用したことはない	今後利用したい	無回答
1. あさひ子育てガイドブック	57.0	26.9	15.1	1.1	28.5	59.1	7.0	5.4
2. あさひDE子育てアプリ	40.9	21.5	36.6	1.1	20.4	61.8	12.4	5.4
3. マタニティパスサポート	21.5	15.6	60.8	2.2	3.2	84.9	5.9	5.9
4. もうすぐパパママ教室	78.0	10.8	10.2	1.1	39.2	53.2	2.7	4.8
5. 不妊治療費助成・不育症治療費助成	41.4	28.0	28.5	2.2	9.7	81.7	2.7	5.9
6. あいのトキめき出生祝福事業	62.9	17.2	18.3	1.6	38.2	51.6	4.3	5.9
7. とやまっ子子育て応援券	92.5	3.2	3.2	1.1	82.3	11.8	1.6	4.3
8. こんにちは赤ちゃん事業	63.4	12.4	22.6	1.6	52.2	40.9	2.2	4.8
9. もぐもぐごっくん教室	81.7	7.5	9.7	1.1	54.8	37.1	3.2	4.8
10. ママカフェ	57.5	21.0	20.4	1.1	17.7	71.5	5.9	4.8
11. インフルエンザ予防接種助成 (高校生まで)	95.7	1.1	2.2	1.1	83.3	8.1	4.3	4.3
12. 妊産婦医療費助成	87.1	3.8	8.1	1.1	80.1	13.4	1.6	4.8
13. 子ども医療費助成 (高校生まで)	95.7	1.6	1.6	1.1	90.3	2.7	2.2	4.8
14. ひとり親医療費助成	45.7	28.0	24.7	1.6	7.5	84.9	1.6	5.9
15. 子育て支援センター	88.7	5.4	3.2	2.7	74.7	15.1	3.8	6.5
ひまわりサロン・いちごサロン	83.9	8.6	5.9	1.6	65.1	26.3	3.8	4.8
赤ちゃん広場・なかよし広場	82.3	9.1	7.0	1.6	64.0	28.5	2.7	4.8
育児講座	64.0	14.0	20.4	1.6	43.0	47.3	4.8	4.8
一時預かり	78.5	11.8	8.1	1.6	25.3	65.1	4.3	5.4
16. おうちで子育て応援事業	61.3	17.2	19.4	2.2	25.3	64.0	5.4	5.4
17. 保育所	96.2	0.0	1.6	2.2	80.1	7.0	7.5	5.4
延長保育	95.2	1.1	1.6	2.2	60.8	23.7	9.7	5.9
休日保育	91.9	4.3	1.6	2.2	16.7	66.1	11.3	5.9
保育料の軽減	64.5	11.3	22.0	2.2	27.4	48.9	14.0	9.7
18. 病児・病後児保育 (病児保育室スマイル)	81.2	10.8	6.5	1.6	17.2	59.1	17.7	5.9
19. ファミリー・サポート・センター (子育てたすけ愛の会)	43.5	28.5	25.3	2.7	2.7	84.9	6.5	5.9
20. チャイルドシートの無料貸出	38.7	15.1	43.5	2.7	4.3	82.8	6.5	6.5

(61) 町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み

問32 朝日町の子ども・子育てに関する取組みとして重要だと思うものをお答えください。
【複数回答】

町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組みは、「いじめ」の割合が71.5%で最も高く、次いで「不登校・引きこもり」(58.1%)が続き、以下「児童虐待」(46.2%)の順となっています。

町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み【複数回答】



(62) 町の子育て支援施策に重要だと思うサービス

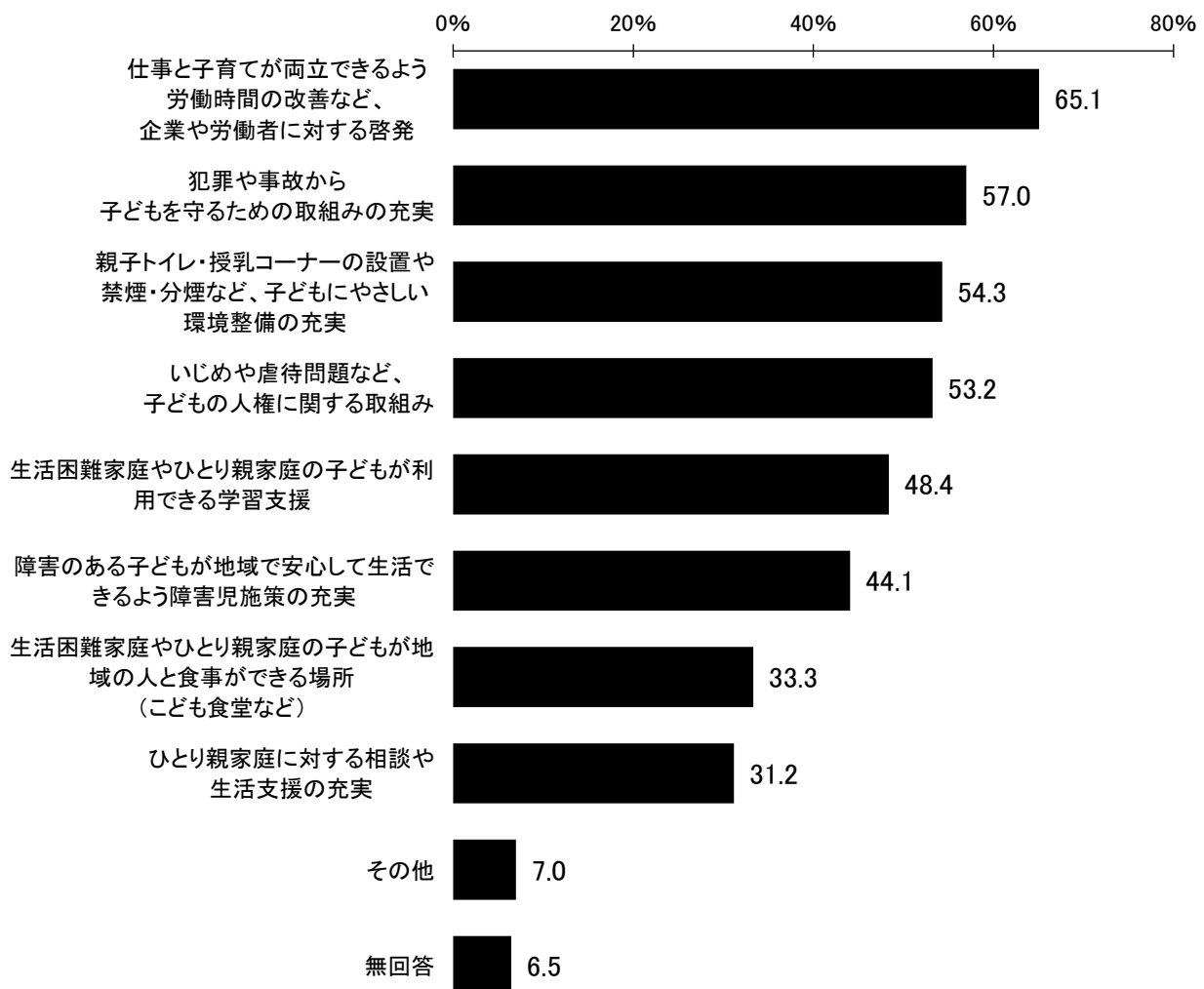
問33 朝日町の子育て支援施策に、次のような支援やサービスは重要だと思いますか。

【複数回答】

町の子育て支援施策に重要だと思うサービスは、「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」の割合が65.1%で最も高く、次いで「犯罪や事故から子どもを守るための取組みの充実」(57.0%)が続き、以下「親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実」(54.3%)、「いじめや虐待問題など、子どもの人権に関する取組み」(53.2%)の順となっています。

町の子育て支援施策に重要だと思うサービス【複数回答】

■全体(n=186)



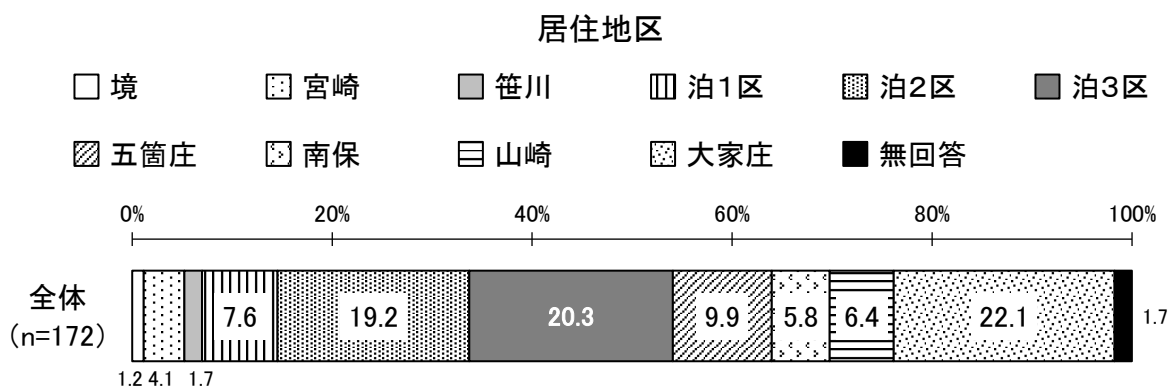
Ⅲ. 就学児童アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「大家庄」の割合が22.1%で最も高く、次いで「泊3区」(20.3%)が続き、以下「泊2区」(19.2%)の順となっています。

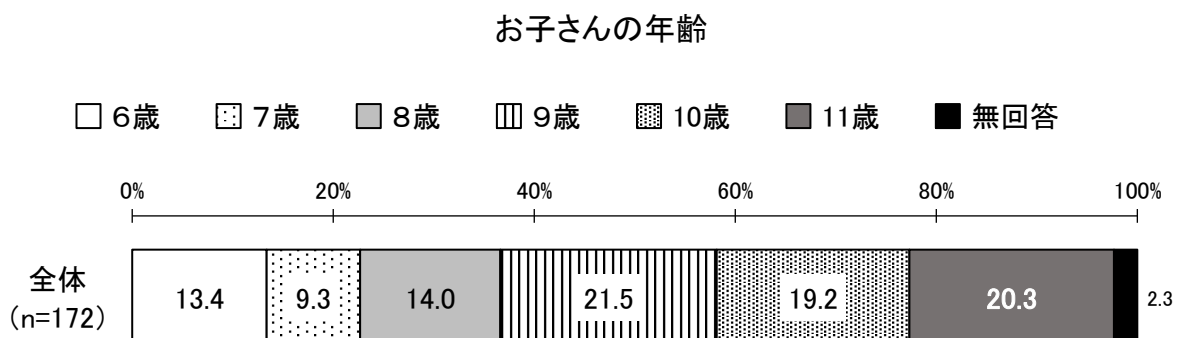


2 お子さんご家族の状況について

(2) お子さんの年齢

問2 宛名のお子さんは何歳ですか。

お子さんの年齢については、「9歳」の割合が21.5%で最も高く、次いで「11歳」(20.3%)が続き、以下「10歳」(19.2%)の順となっています。



(3) お子さんを含めたきょうだいの人数

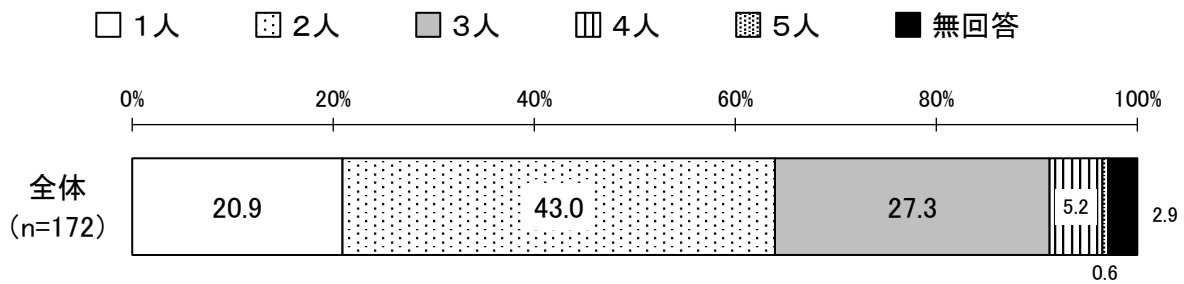
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数

※お子さんが2人以上の場合は、末子の年齢をご回答ください。

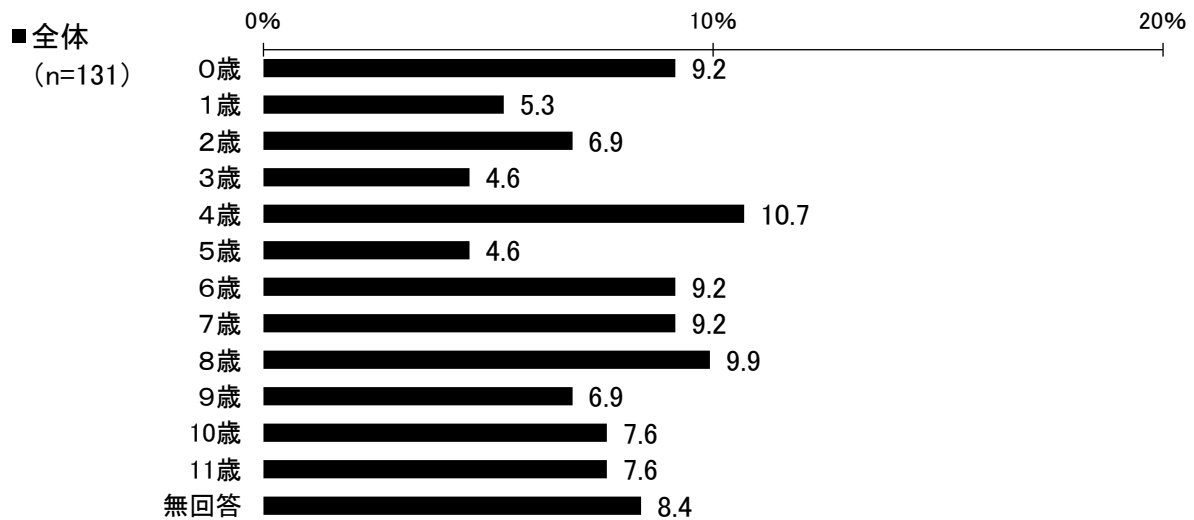
お子さんを含めたきょうだいの人数については、「2人」の割合が43.0%で最も高く、次いで「3人」(27.3%)が続き、以下「1人」(20.9%)の順となっています。

お子さんを含めたきょうだいの人数



末子の年齢については、「4歳」の割合が10.7%で最も高く、次いで「8歳」(9.9%)が続き、以下「0歳」「6歳」「7歳」(同率9.2%)の順となっています。

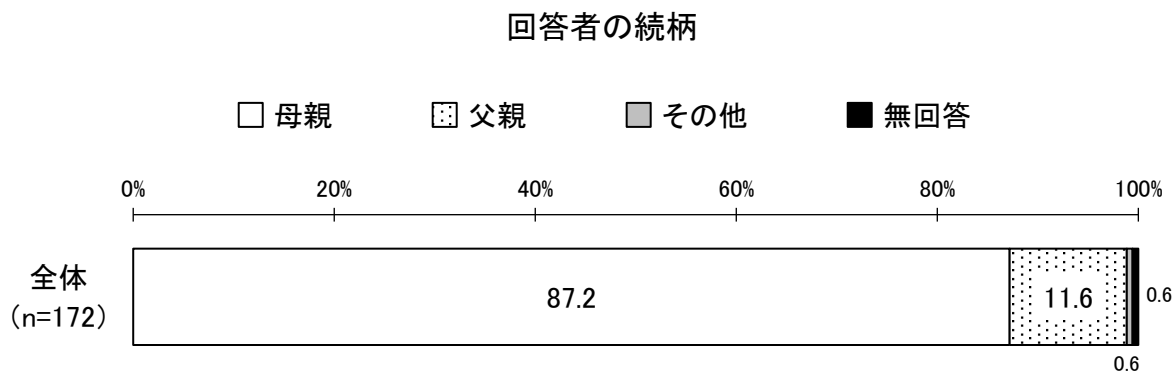
末子の年齢



(4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

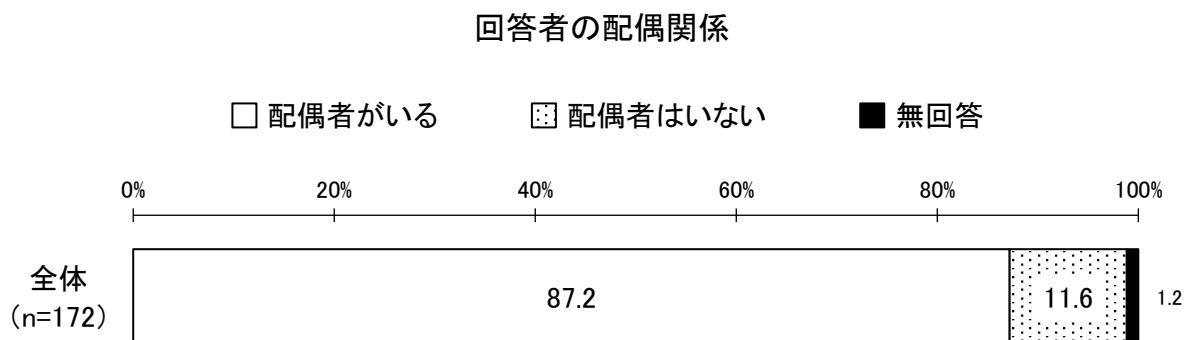
回答者の続柄については、「母親」の割合が87.2%で「父親」(11.6%)の割合を大きく上回ります。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が87.2%で「配偶者がいない」(11.6%)の割合を大きく上回ります。

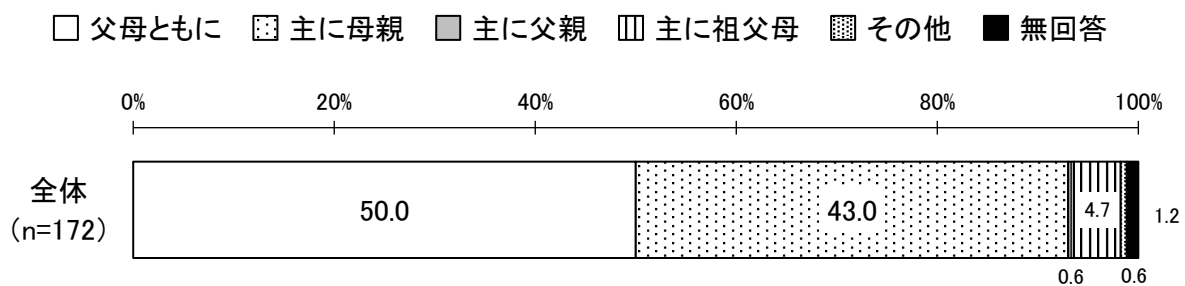


(6) 子育ての主な担い手

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が50.0%で最も高く、次いで「主に母親」(43.0%)が続き、以下「主に祖父母」(4.7%)の順となっています。

子育ての主な担い手



3 保護者の就労状況について

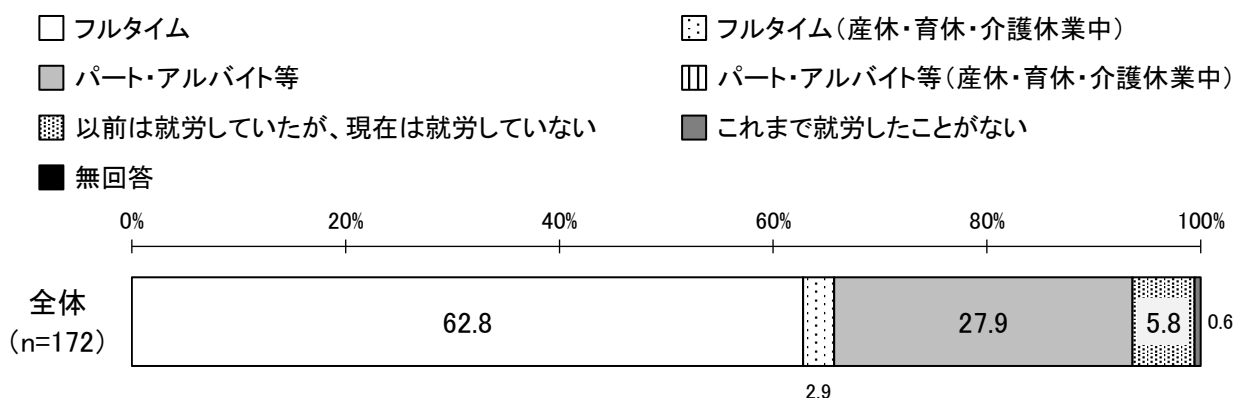
(7) 保護者の就労状況

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

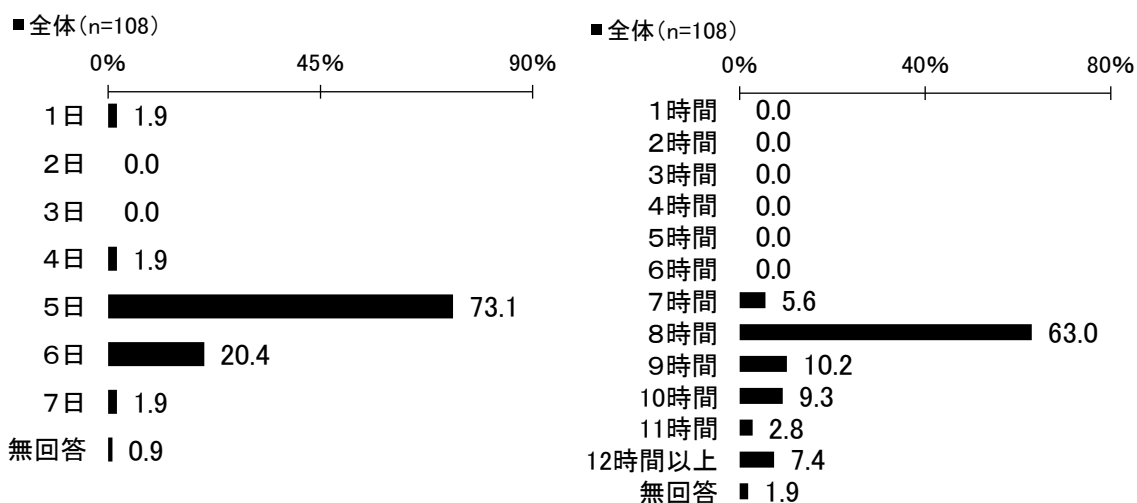
①母親

母親の就労状況については、「フルタイム」の割合が62.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等」(27.9%)が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」(5.8%)の順となっています。

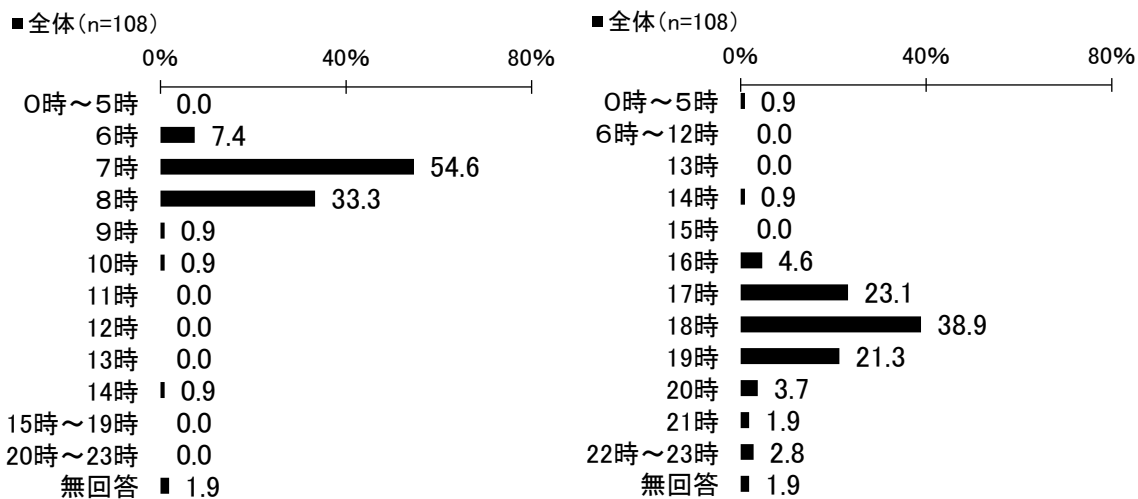
母親の就労状況



1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム



家を出る時間と帰宅時間／フルタイム



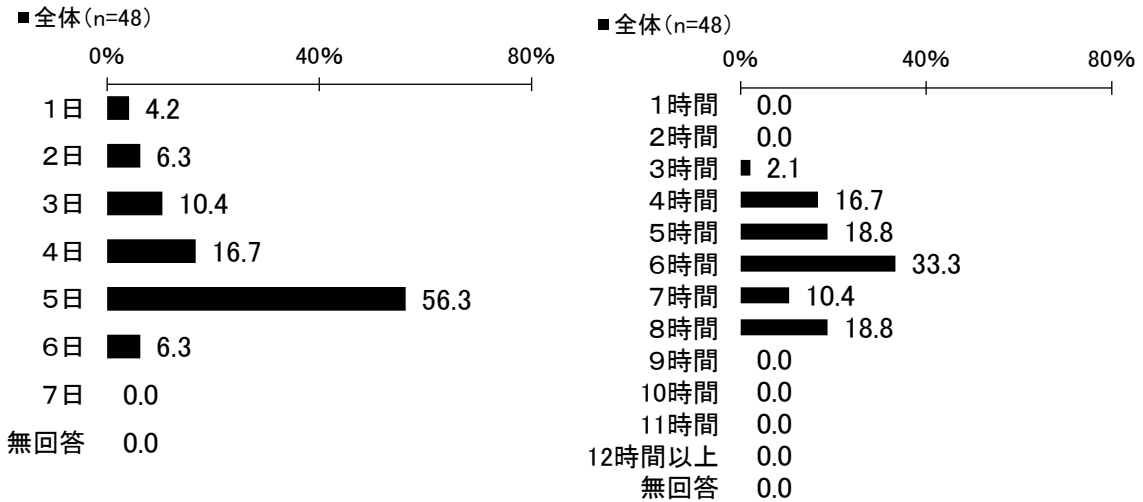
1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）

就労日数		就労時間	
5日	2人	7時間	1人
6日	2人	8時間	2人
無回答	1人	12時間以上	1人
		無回答	1人

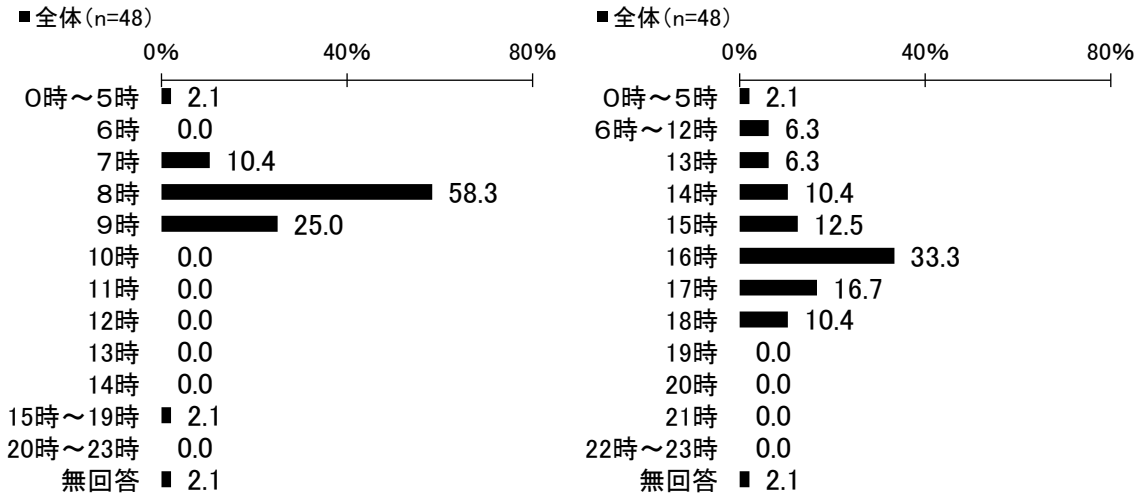
家を出る時間と帰宅時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）

家を出る時間		帰宅時間	
7時	3人	17時	2人
8時	1人	18時	1人
無回答	1人	20時	1人
		無回答	1人

1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等



家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等



1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）

…該当者なし

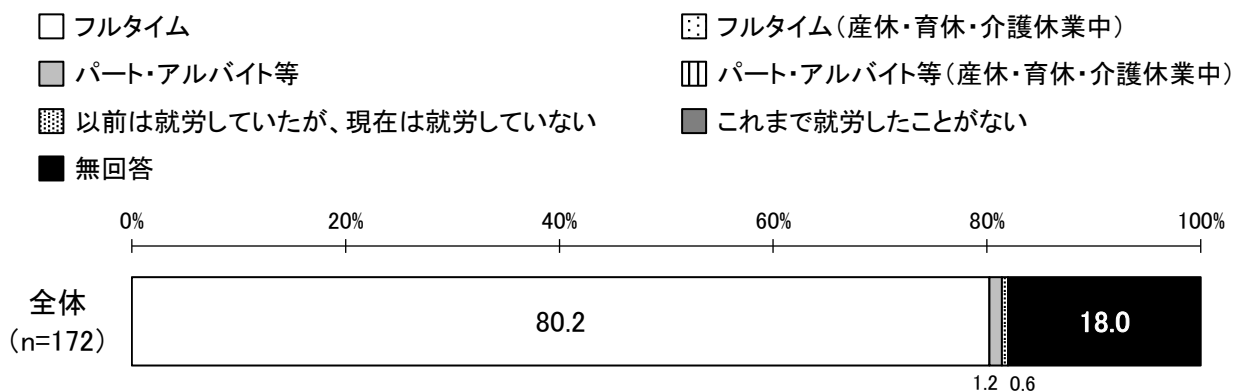
家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）

…該当者なし

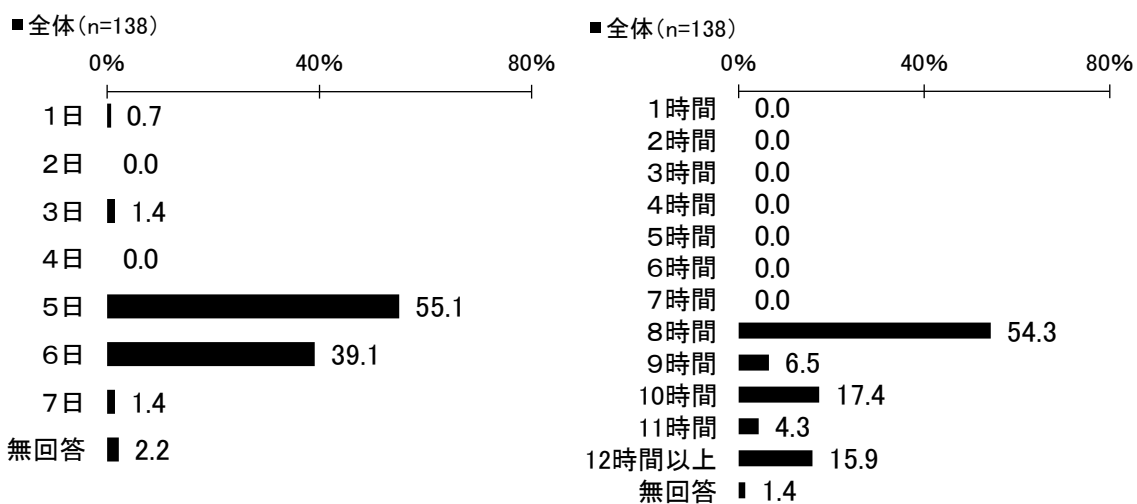
②父親

父親の就労状況については、「フルタイム」の割合が80.2%で最も高く、8割を占めます。

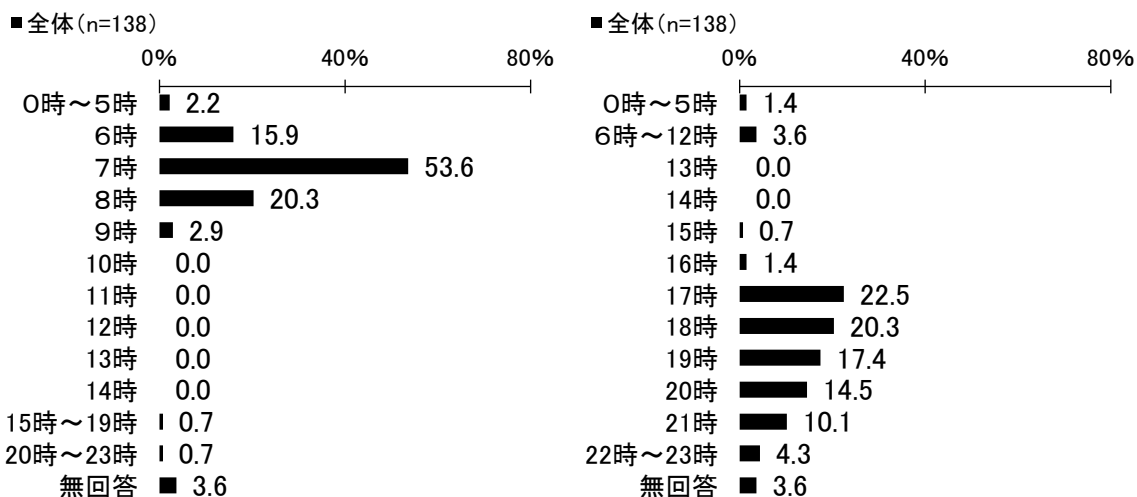
父親の就労状況



1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム



家を出る時間と帰宅時間／フルタイム



1週当たりの就労日数と就労時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）…該当者なし

家を出る時間と帰宅時間／フルタイム（産休・育休・介護休業中）…該当者なし

1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等

就労日数		就労時間	
1日	1人	4時間	1人
5日	1人	8時間	1人

家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等

家を出る時間		帰宅時間	
7時	2人	6時～12時	1人
		17時	1人

1週当たりの就労日数と就労時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）
…該当者なし

家を出る時間と帰宅時間／パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）
…該当者なし

(8) フルタイムへの転換希望

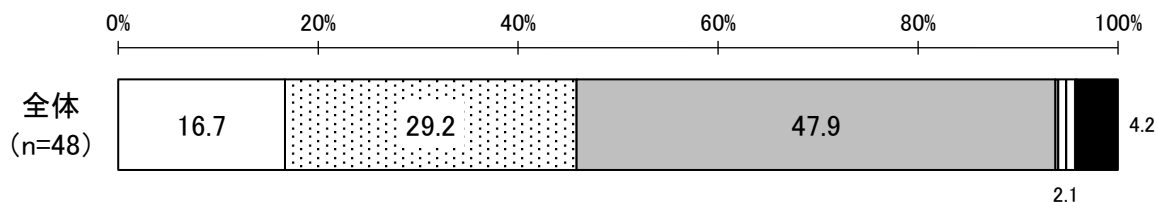
問7で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。
 問8 フルタイムへの転換希望はありますか。

①母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が47.9%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（29.2%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（16.7%）の順となっています。

母親のフルタイムへの転換希望

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



②父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が、ともに1人ずつとなっています。

父親のフルタイムへの転換希望

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1人
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	1人

(9) 就労希望

問7で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

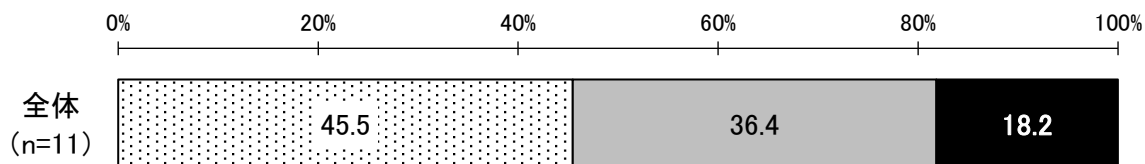
問9 就労したいという希望はありますか。

①母親

母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」の割合が45.5%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(36.4%)の順となっています。

母親の就労希望

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



母親が1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢

2歳	1人
3歳	1人
6歳	1人
13歳以上	2人

問9①母親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した4人の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」が3人となっています。

母親が希望する就労形態

パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）	3人
無回答	1人

フルタイム以外を希望／母親の1週当たりの希望勤務日数

3日	2人
5日	1人

フルタイム以外を希望／母親の1日あたりの希望勤務時間

3時間	1人
4時間	1人
5時間	1人

②父親

父親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人となっています。

就労希望

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1人
--------------------------	----

1年より先、就労を考えるころの一番下の子どもの年齢…該当者なし

父親が希望する就労形態…該当者なし

フルタイム以外を希望／父親の1週当たりの希望勤務日数…該当者なし

フルタイム以外を希望／父親の1日あたりの希望勤務時間…該当者なし

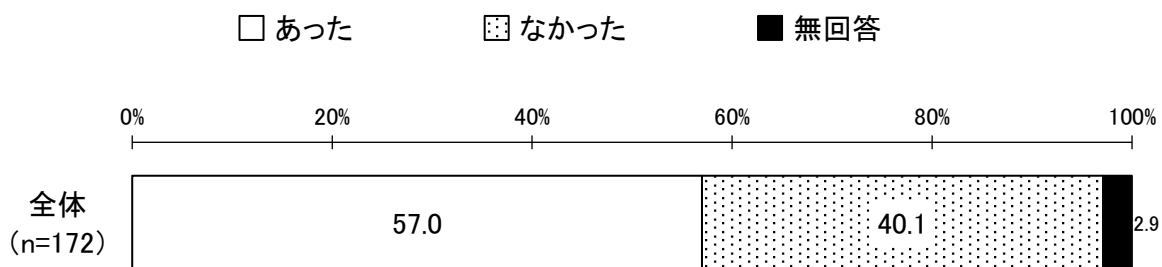
4 病気の際の対応について

(10) 病気やケガで学校を欠席した経験

問10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を欠席したことはありますか。

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が57.0%で、「なかった」(40.1%)の割合を上回ります。

病気やケガで学校を欠席した経験

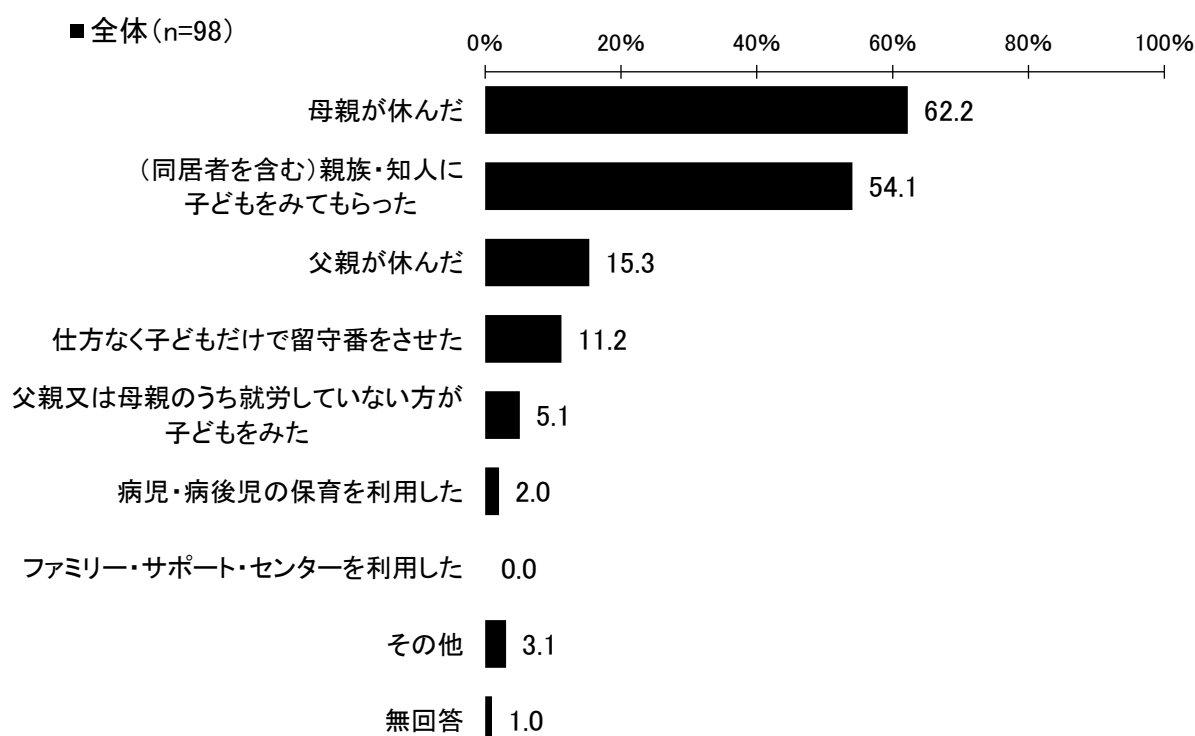


(11) 子どもが病気の際の対処方法

問10-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を欠席した場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。【複数回答】

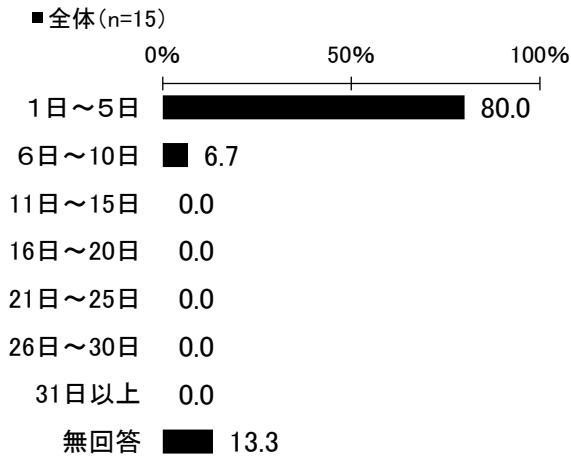
子どもが病気の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が62.2%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(54.1%)が続き、以下「父親が休んだ」(15.3%)の順となっています。

子どもが病気の際の対処方法【複数回答】

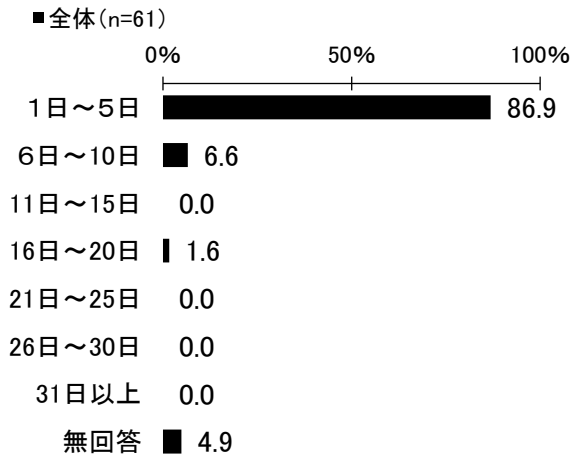


①対処した日数

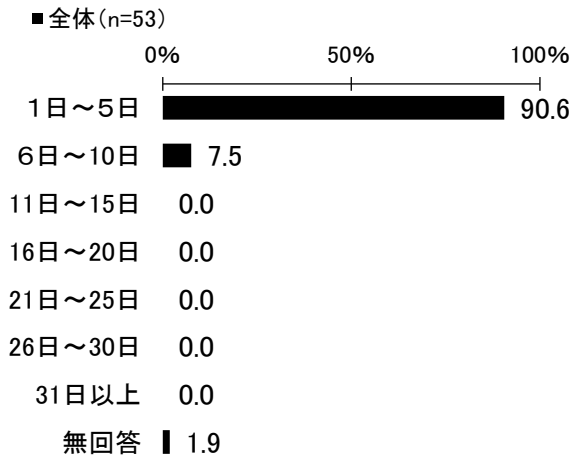
1. 父親が休んだ



2. 母親が休んだ



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもみてもらった



4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた

1日～5日 4人
無回答 1人

5. 病児・病後児の保育を利用した

1日～5日 1人
無回答 1人

6. ファミリー・サポート・センターを利用した

該当者なし

7. 仕方なく子どもだけで留守番させた

1日～5日 10人
無回答 1人

8. その他

1日～5日 2人
無回答 1人

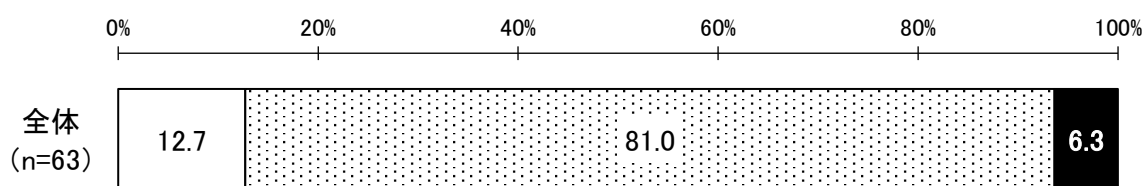
(12) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問10-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
問10-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

父親や母親が休んだときの病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」の割合が81.0%で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(12.7%)を上回ります。

病児・病後児保育施設等の利用希望

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 利用したいとは思わない 無回答



① できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

1日～5日	8人
-------	----

(13) 病児・病後児保育施設等を利用しない理由

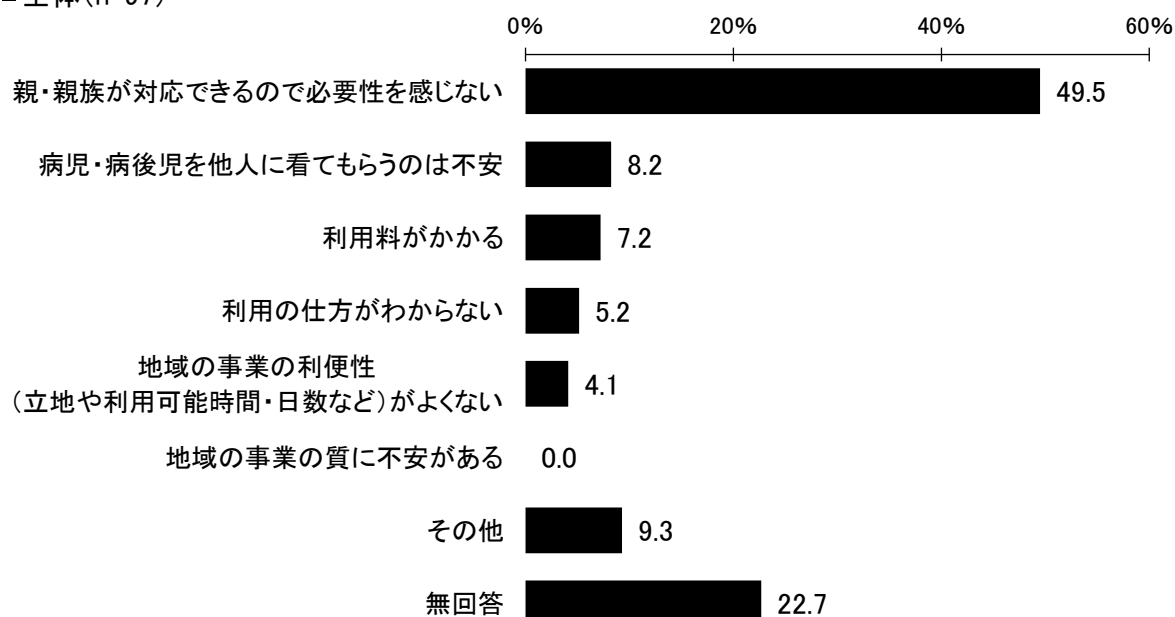
問10-1で「病児・病後児の保育を利用した」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問10-3 「病児・病後児のための保育施設等」を利用しない理由はなんですか。【複数回答】

「病児・病後児保育施設等」を利用しない理由については、「親・親族が対応できるので必要性を感じない」の割合が49.5%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(8.2%)が続き、以下「利用料がかかる」(7.2%)の順となっています。

病児・病後児保育施設等を利用しない理由【複数回答】

■全体(n=97)

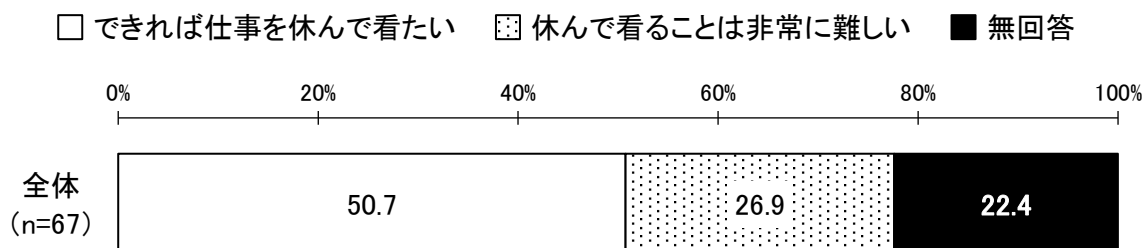


(14) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

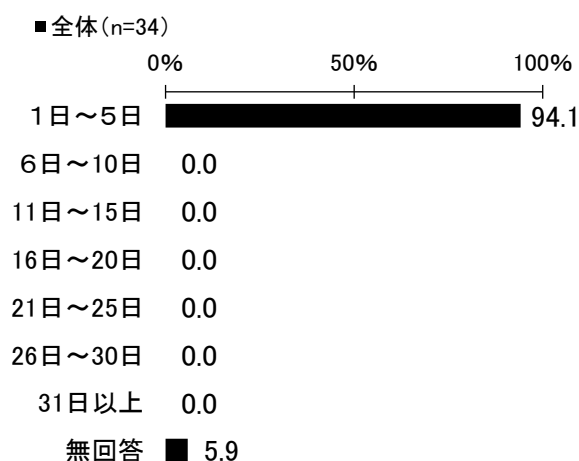
問10-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問10-4 その際、「できれば父母のいずれかが休んで看たい」と思われましたか。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が50.7%で、「休んで看ることは非常に難しい」(26.9%)の割合を上回ります。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか



①仕事を休んで見たかった日数



(15) 父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由

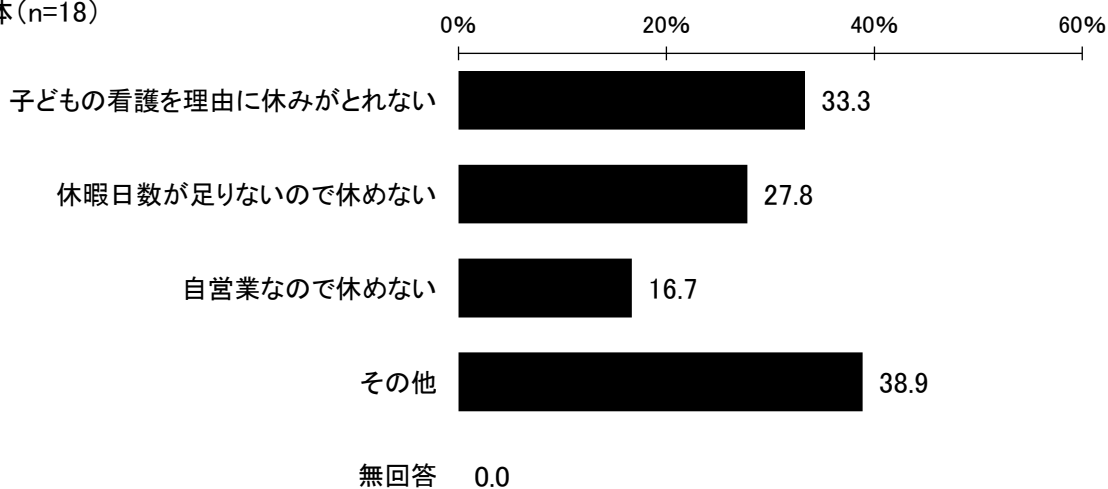
問10-4で「休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問10-5 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が33.3%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(27.8%)が続き、以下「自営業なので休めない」(16.7%)の順となっています。また、「その他」が44.0%となっています。

父母のいずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由【複数回答】

■全体(n=18)



5 お子さんの放課後の過ごし方について

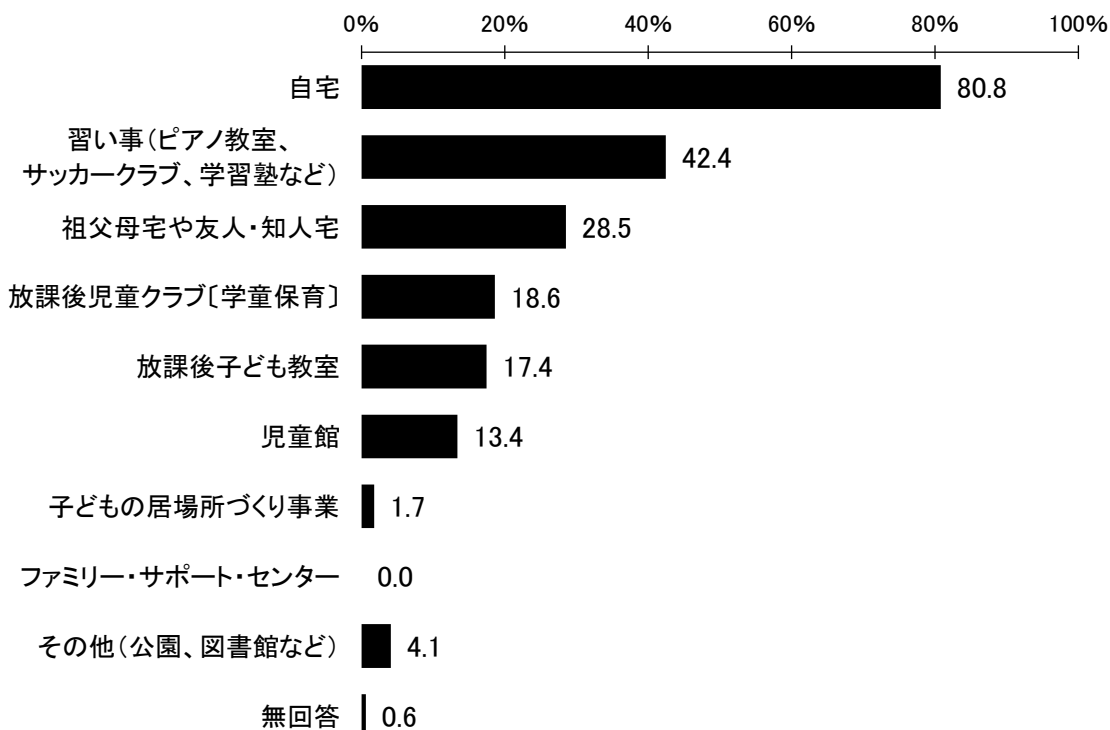
(16) 小学校の放課後過ごさせたい場所

問11 宛名のお子さんについて、小学校の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

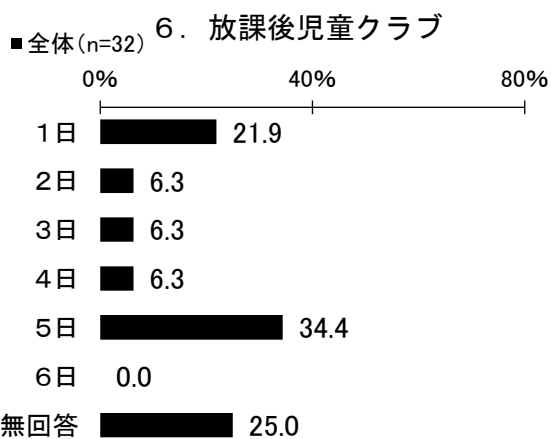
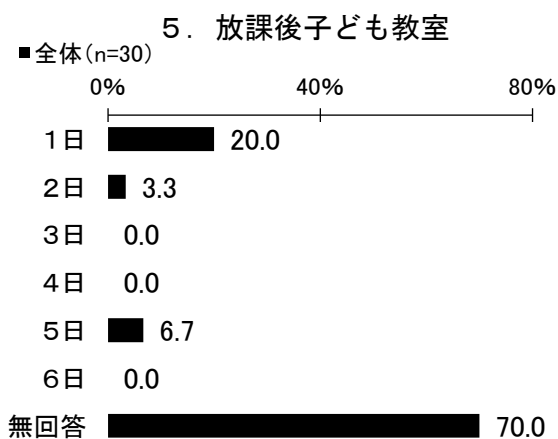
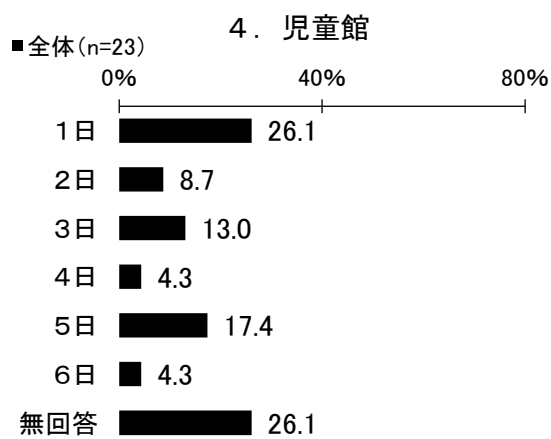
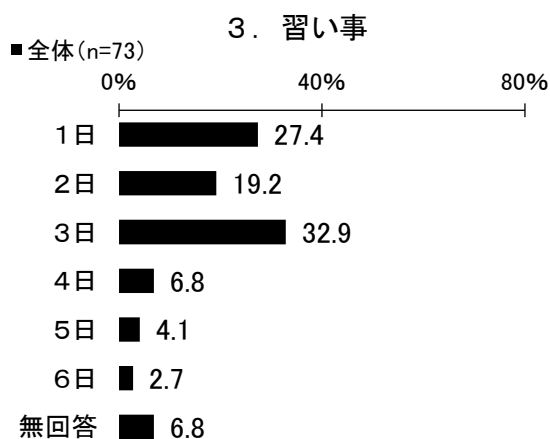
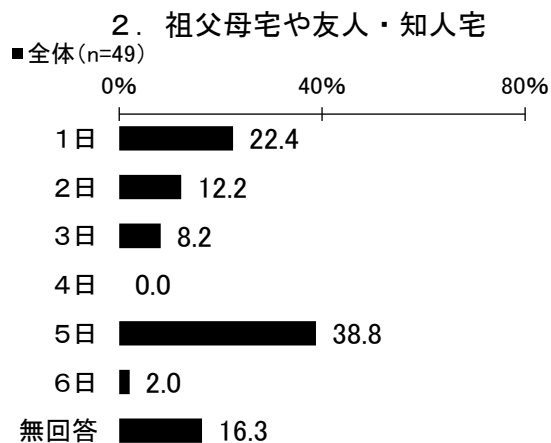
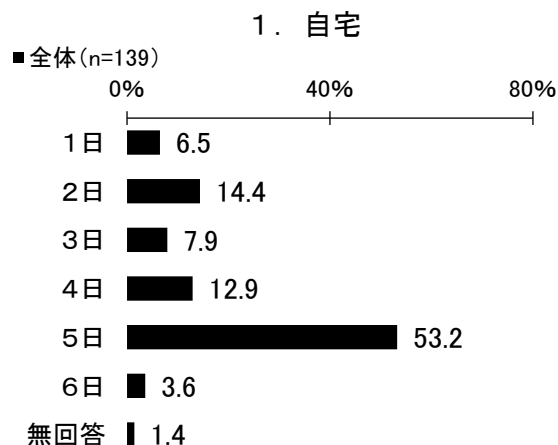
小学校のうちで放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が80.8%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（42.4%）が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」（28.5%）の順となっています。

小学校の放課後過ごさせたい場所【複数回答】

■全体(n=172)



A 現在の1週間の利用状況



7. 子どもの居場所づくり事業

無回答 3人

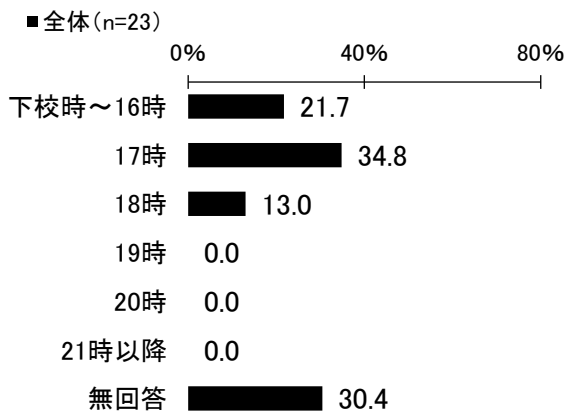
8. ファミリー・サポート・センター

該当者なし

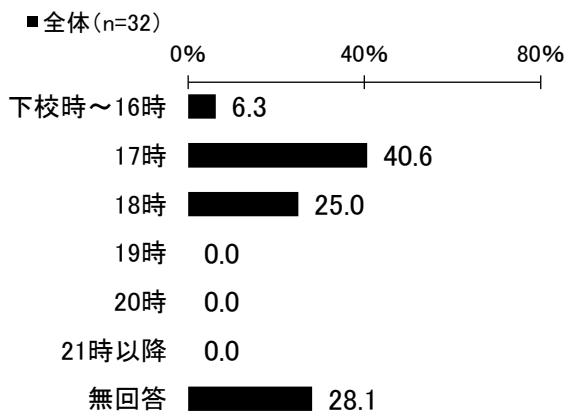
9. その他

2日 1人
 3日 1人
 5日 1人
 無回答 4人

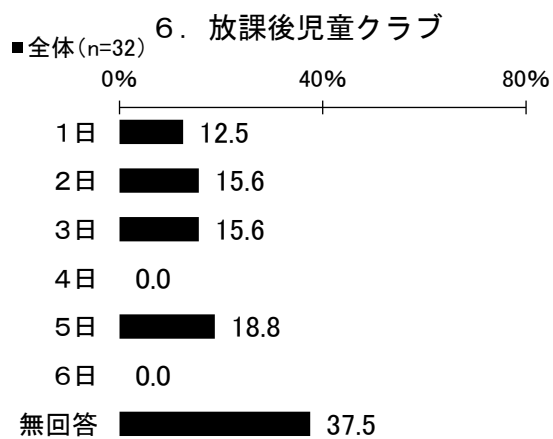
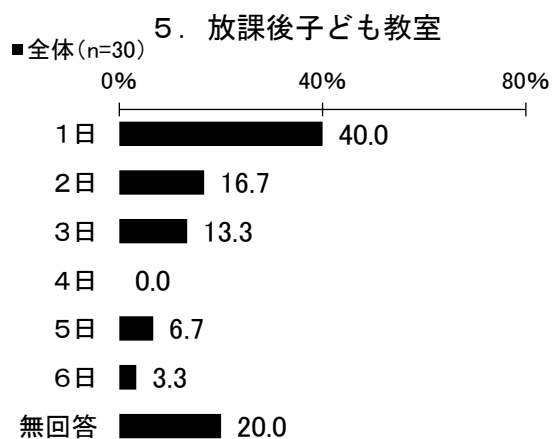
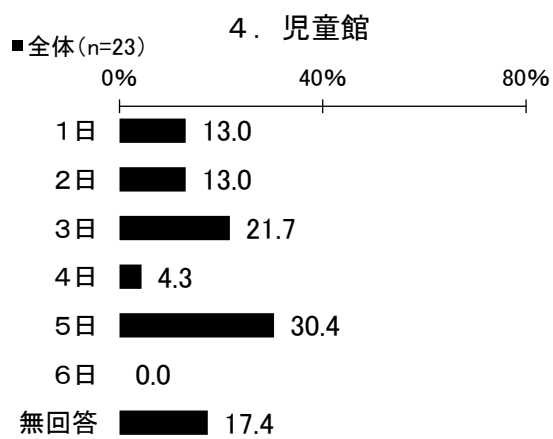
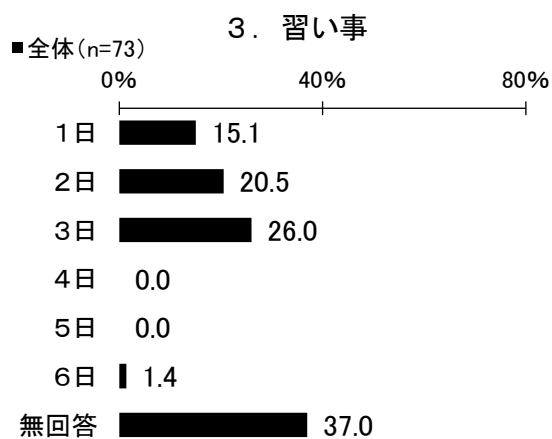
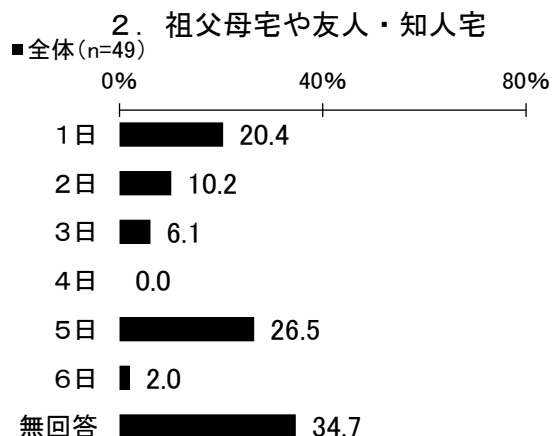
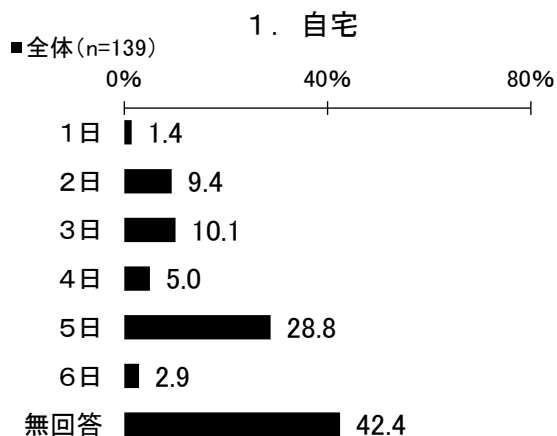
①児童館にいる時刻



②放課後児童クラブにいる時刻



B 希望する1週間の利用状況



7. 子どもの居場所づくり事業

2日 2人
3日 1人

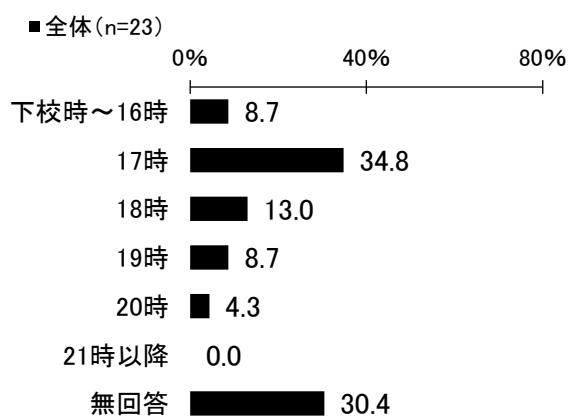
9. その他

1日 2人
2日 1人
3日 3人
5日 1人

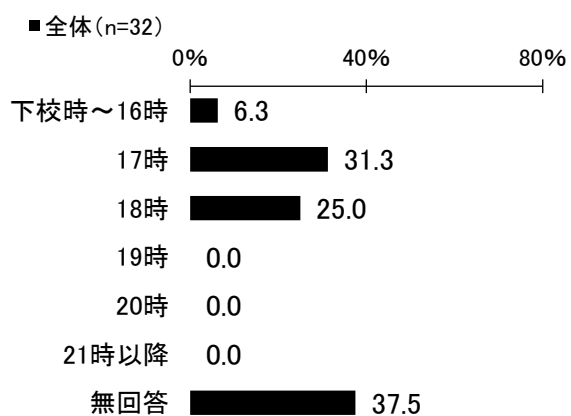
8. ファミリー・サポート・センター

該当者なし

①希望する児童館終了時刻



②希望する放課後児童クラブ終了時刻



(17) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望

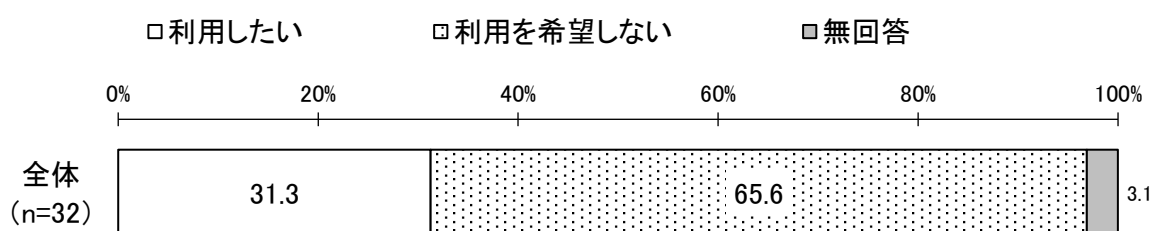
問11で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日

土曜日の放課後児童クラブ利用希望については、「利用を希望しない」の割合が65.6%で、「利用したい」(31.3%)を上回ります。

土曜日の放課後児童クラブ利用希望



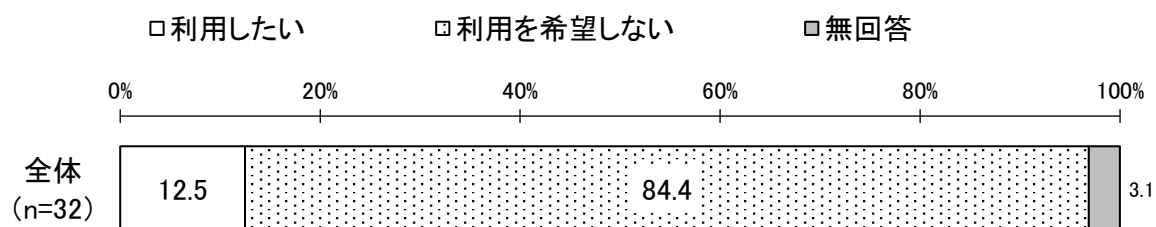
◆利用したい時間帯

開始時刻		終了時刻	
7時	3人	12時	1人
8時	4人	13時	2人
9時	3人	17時	3人
		18時	4人

②日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望については、「利用を希望しない」の割合が84.4%で「利用したい」(12.5%)を大きく上回ります。

日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用希望



◆利用したい時間帯

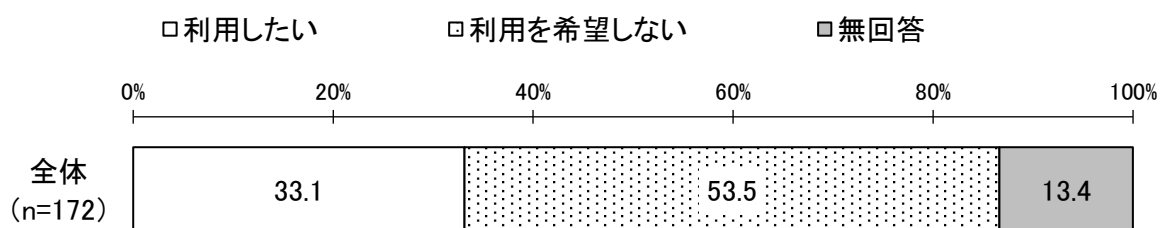
開始時刻		終了時刻	
7時	1人	17時	2人
8時	1人	18時	2人
9時	2人		

(18) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望

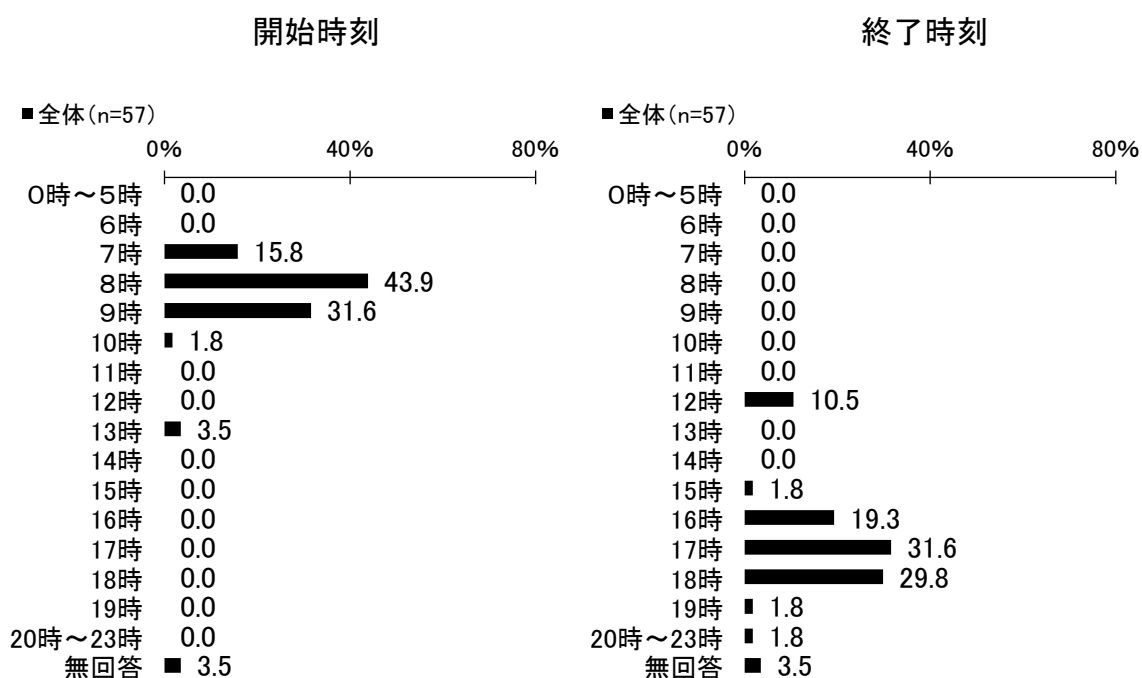
問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望については、「利用を希望しない」の割合が53.5%で、「利用したい」(33.1%)を上回ります。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望



◆利用したい時間帯



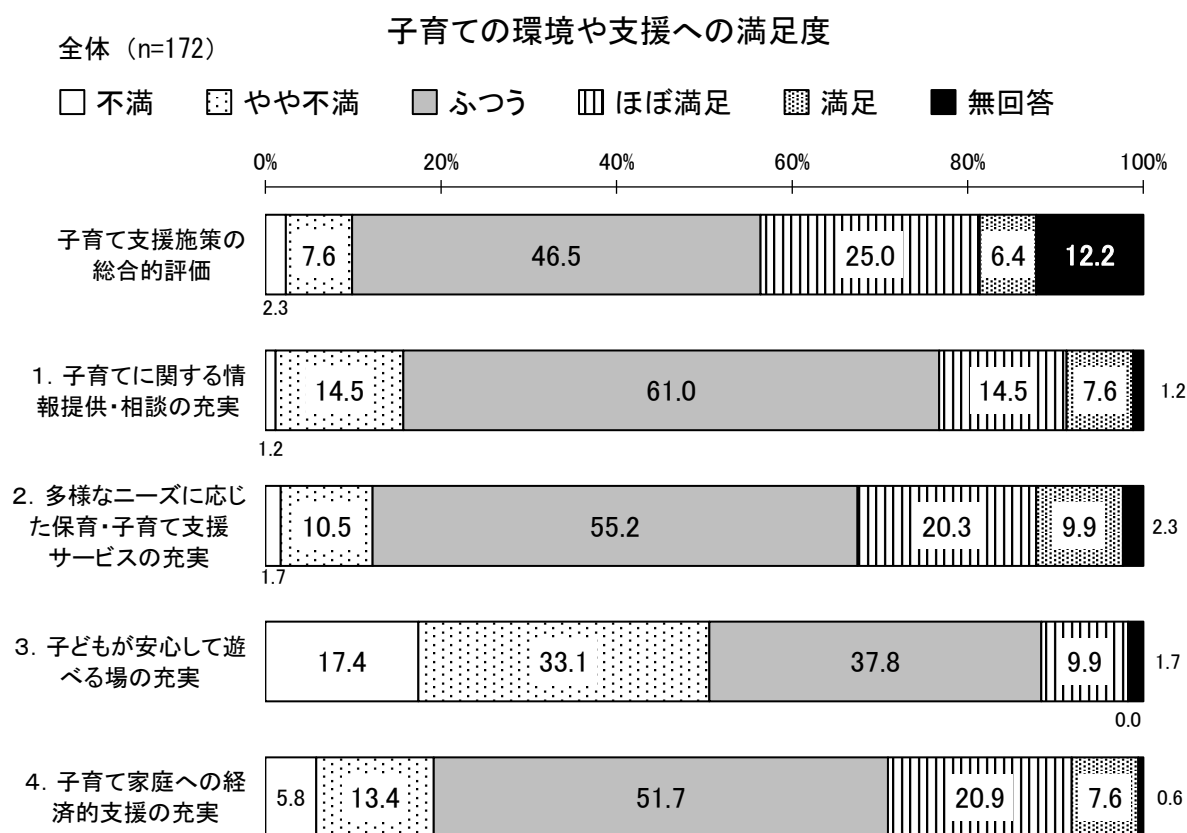
6 朝日町の子育て支援サービスについて

(19) 子育ての環境や支援への満足度

問14 朝日町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

町の子育ての環境や支援への満足度について、総合的評価では「ふつう」の割合が46.5%で最も高く、次いで“満足（ほぼ満足+満足）”（31.4%）となっています。

「1.」～「4.」をみると、「3.」以外については「ふつう」の割合が最も高く、次いで“満足”が高くなっていますが、「3. 子どもが安心して遊べる場の充実」のみ“不満（不満+やや不満）”の割合が50.5%で最も高くなっています。



(20) 子育て支援事業の認知とニーズについて

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

認知における「知らない」では、「10. 子どもの居場所づくり事業」の割合が65.7%で最も高くなっている以外は、どの事業も「知っている」割合が最も高くなっています。

ニーズにおける「利用したことはない」では、「5. ひとり親医療費助成」「6. 病児・病後児保育」が80%以上となっており、「今度利用したい」では「12. 中学校給食費助成」(33.1%)が最も高くなっています。

子育て支援事業の認知とニーズ

全体 (n=172)	A 認知について (%)				B ニーズについて (%)			
	知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	利用したことがある	利用したことはない	今後利用したい	無回答
1. あさひ子育てガイドブック	47.7	29.1	21.5	1.7	15.7	68.0	6.4	9.9
2. とやまっ子育て応援券	79.1	9.9	9.3	1.7	61.0	30.8	2.3	5.8
3. インフルエンザ予防接種助成	93.0	4.1	2.3	0.6	81.4	12.8	2.3	3.5
4. 子ども医療費助成	96.5	1.7	1.2	0.6	90.7	4.7	1.2	3.5
5. ひとり親医療費助成	43.6	27.9	28.5	0.0	11.6	81.4	0.6	6.4
6. 病児・病後児保育	70.9	18.0	10.5	0.6	8.7	80.8	7.0	3.5
7. 児童館	91.3	5.2	2.9	0.6	64.5	27.3	5.2	2.9
8. 放課後子ども教室	45.3	16.9	37.8	0.0	23.8	64.0	5.8	6.4
9. 放課後児童クラブ	47.1	19.2	33.7	0.0	26.7	64.0	2.3	7.0
10. 子どもの居場所づくり事業	18.6	15.1	65.7	0.6	6.4	79.1	4.7	9.9
11. 新1年生体操服の購入支援	82.6	5.2	11.6	0.6	77.9	15.7	3.5	2.9
12. 中学校給食費助成	70.9	8.7	20.3	0.0	30.2	31.4	33.1	5.2
13. 奨学資金制度	33.7	32.0	33.7	0.6	2.3	74.4	16.3	7.0

(21) 町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み

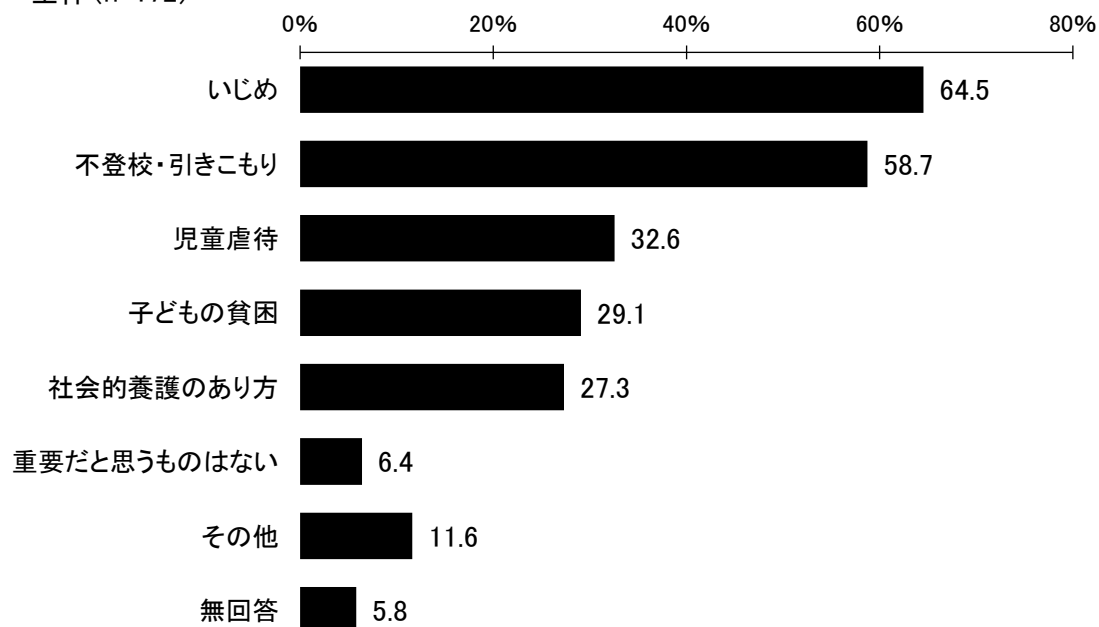
問16 朝日町の子ども・子育てに関する取組みとして重要だと思うものはなんですか。

【複数回答】

町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組みは、「いじめ」の割合が64.5%で最も高く、次いで「不登校・引きこもり」(58.7%)が続き、以下「児童虐待」(32.6%)の順となっています。

町の子ども・子育てに関する重要だと思う取組み【複数回答】

■全体(n=172)



(22) 町の子育て支援施策に重要だと思うサービス

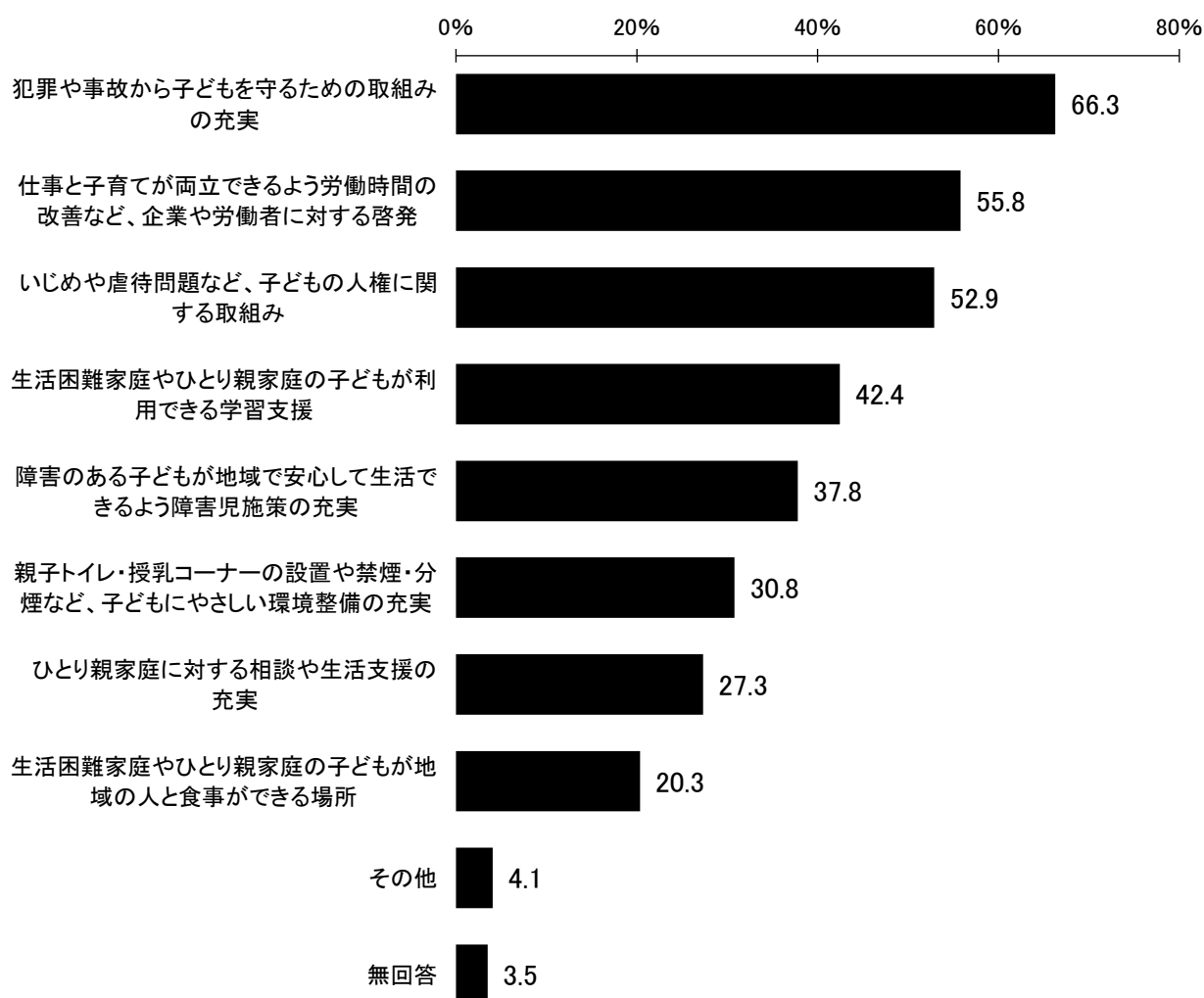
問17 朝日町の子育て支援施策に、次のような支援やサービスは重要だと思いますか。

【複数回答】

町の子育て支援施策に重要だと思うサービスは、「犯罪や事故から子どもを守るための取組みの充実」の割合が66.3%で最も高く、次いで「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」(55.8%)が続き、以下「いじめや虐待問題など、子どもの人権に関する取組み」(52.9%)の順となっています。

町の子育て支援施策に重要だと思うサービス【複数回答】

■全体(n=172)



IV. 調査結果からみた課題

(1) 育ちをめぐる環境について

子育てに日常的に関わる方が「保育所」(76.3%)と、「父母ともに」(68.8%)よりやや高くなっています。また、子育てにもっとも影響を与えると思う環境は、「家庭」(93.5%)の次に「保育所」(87.6%)となっていることから、家庭における育ちのほかに保育所における育ちも重要な環境となっていることがわかります。

そのため、家庭へ提供する子育て情報の充実や、保育所におけるスタッフの質の向上および保護者との連携等、より充実した環境の整備が重要となります。(問7、問8)

(2) 保護者の就労状況と教育・保育事業について

母親の17.0%と父親の44.4%は帰宅時間が19時以降であることや、パートタイムで働いている母親の20.8%はフルタイムへの転換が実現できる見込みがあり、また、希望する平日の教育・保育事業の終了時刻が19時以降の方が3.1%となっているほか、希望する延長保育の最長時刻は19時以降が44.1%となっています。日曜・祝日の教育・保育事業についても、15.1%が「月に1～2回は利用したい」と回答しています。

これらのことから、延長保育や休日保育の拡大について検討する必要があります。(問12、問13、問15-2、問15-3、問19)

(3) 子育て支援事業利用について

地域子育て支援事業の利用者は12.4%に留まっていますが、今後利用したい方も17.7%おり、また利用回数も月に「1回～5回」が半数を超えていることから、利用者の充実度を図りつつ、地域子育て支援事業自体の周知を徹底していく必要があります。(問17、問18)

(4) 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

平日の放課後過ごさせたい場所として放課後児童クラブと回答した方は、就学前児童アンケートの小学校低学年では22.9%、高学年では14.3%、就学児童アンケートでは18.6%と、「自宅」が半数以上となっていることに比べ、低くなっています。しかし、長期休暇中の利用については、就学前児童アンケートでは29.1%(低学年と高学年の合算)、就学児童アンケートでは33.1%と増えることから、ニーズに合わせた開設や内容等の整備を図りつつ、利用促進に向けた検討が必要です。(問25、問26、問28、就学児童問11、問13)

(5) 職場の両立支援制度について

育児休業を取得していない割合は母親では14.0%で、その理由として「子育てや家事に専念するため退職した」(38.5%)や「仕事が忙しかった」(15.4%)のほか、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「職場に育児休業の制度がなかった」がともに11.5%ずつとなっています。一方、父親で取得していない割合が83.9%で、その理由として「配偶者が育児休業

制度を利用した」(45.5%)のほか、「仕事が忙しかった」(32.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(25.6%)、「収入源となり、経済的に苦しくなる」(20.5%)等が挙げられています。

そのため、育児休業取得について、事業所への理解促進や制度の周知のほか、町民全体に両立支援に向けた意識の醸成を図っていく必要があります。(問29)

(6) 子育ての環境や支援への満足度について

子育ての環境や支援への満足度は、就学前児童・就学児童アンケートともに、「ふつう」と「満足(「ほぼ満足」と「満足」の合算)」の割合が高くなっていますが、「子どもが安心して遊べる場の充実」のみ「不満(「不満」と「やや不満」の合算)」が50%を超えています。

そのため、子どもが安心して遊べる場の充実に向け、取組を進める必要があります。(問30、就学児童問14)

(7) 子育て支援事業の認知とニーズについて

子育て支援事業の認知で「知らない」割合が高かった事業は、就学前児童アンケートでは、「マタニティパスサポート」(60.8%)と「チャイルドシートの無料貸出」(43.5%)、就学児童アンケートでは「子どもの居場所づくり事業」(65.7%)となっていることから、周知の強化が必要です。

同様に、子育て支援事業のニーズで「今後利用したい」割合をみると、就学前児童アンケートでは「病児・病後児保育」(17.7%)、「保育料の軽減」(14.0%)、就学児童アンケートでは「中学校給食費助成」(33.1%)となっていることから、周知の強化が必要です。(問31、就学児童問15)

(8) 今後重要だと思われる取組について

子ども・子育てに関する重要だと思ふ取組みについて、就学前児童・就学児童アンケートともに、「いじめ」、「不登校・引きこもり」、「児童虐待」、「子どもの貧困」、「社会的養護のあり方」、の順となっています。

また、子育て支援施策に重要だと思ふサービスについて、50%以上の回答があった項目は、就学前児童・就学児童アンケートともに、「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」、「犯罪や事故から子どもを守るための取組みの充実」、「いじめや虐待問題など、子どもの人権に関する取組み」となっています。さらに就学前児童アンケートでは、「親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実」も50%を超えています。

これらの取組みやサービスについて、着実に進めていくことが重要です。(問32、問33、就学児童問16、問17)

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

平成 31 年 3 月
朝日町

〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下 1133
TEL: 0765-83-1100 (代表)